

福島県公立学校 教職員現職教育計画

2023

福島県教育委員会

県教育委員会では、昨年度、福島の良さを大切にした「福島ならではの教育」とともに、一方通行の授業を、個別最適化された学び、協働的な学び、探究的な学びへと変革していく「学びの変革」を掲げた第7次福島県総合教育計画を策定しました。令和4年度からは、その運用が始まり、「学びの変革推進プラン」に基づいた取組を推進しております。令和5年度も、引き続き未来を担う本県の子どもたちが将来への希望や生きる喜びを実感できるよう、福島ならではの教育を推進してまいります。

さて、本県の現職教育につきましては、本計画の施策2「『学校の在り方の変革』 によって教員の力、学校の力を最大化する」取組において、教員研修の充実を位 置付けております。

子どもたちの学びの質を高めるためには、教職員が学習過程全体を見通して指導に当たることや、教職員自身が指導方法を不断に見直し、改善していくことが必要であり、教職員の主体的で個別最適な学びが実現できるように、この教職員現職教育計画を策定しました。この計画に基づき、教職員研修の一層の充実を図っていくと同時に、教育センター等の研修についても、より能動的なものへ充実、深化させたり、教職員支援機構や大学・教職大学院等との連携を図っていくことで、教職員研修の質的充実が一層図られるものと考えます。

また、令和5年4月より教育公務員特例法及び教育職員免許法の一部を改正する法律(令和4年法律第40号)が施行されることにより、教員の研修履歴の記録の作成と当該履歴を活用した資質向上に関する指導助言等の仕組みが導入されます。「令和の日本型学校教育」を担う新たな教員の姿に求められる資質能力が、「教職に必要な素養」「学習指導」「生徒指導」に「特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への対応」と「ICTや情報・教育データの利活用」を加え、5つに再整理されました。それらの資質能力を向上させるために、自身の学びを振り返りつつ、現状の把握と適切な目標設定を行うために研修履歴を作成し、対話による受講奨励を行っていきます。

各学校や関係機関においては、教職員の資質能力の向上や教育課題の解決を図るために、本計画に基づき現職教育を積極的に推進するとともに、本県教育のさらなる充実・発展のため、より一層尽力くださいますようお願いいたします。

令和5年3月

〈目次〉

Ι	教職員研修計画	
1	はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
2	教職員研修の構想 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
3	研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励・・・・・・・・・・	3
4	校長及び教員としての資質の向上に関する指標【第2版】	$4 \sim 1 0$
5	教職員研修の体系	
	(1) 基本研修 ************************************	1
	(2) 職能研修 ************************************	1
	(3) 専門研修 ・・・・・・・・・・・・・・ 1	2
	(4) 特別研修 ・・・・・・・・・・・・・・ 1	2
	(5) 校内現職研修 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 1	2
	(6) 研 究	2
	【福島県現職教育体系図】 ・・・・・・・・・・・・・・1	3
6	市町村教育委員会が行う研修 ・・・・・・・・・・・・・ 1	4
7	指標に基づく研修計画 ・・・・・・・・・・・・・ 1	$5 \sim 19$
8	研修事業計画	
	(1) 基本研修 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 2	$0 \sim 25$
	(2) 職能研修 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 2	$6 \sim 3 \ 1$
	(3) 専門研修 ・・・・・・・・・・・・・・・ 3	$2 \sim 4 3$
	(4) 特別研修 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4	$4 \sim 49$
Ⅱ 1 2 3	研究学校(地区)指定計画 はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	0
Ш	- · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	$2 \sim 53$
•	義 務 教 育 課 主 管 予定刊行物	
•	義務教育課・高校教育課主管 予定刊行物	
•	教育センター主管 予定刊行物	
•	特別支援教育センター主管 予定刊行物	
IV		$4 \sim 5 7$
	※ 教職員現職教育担当者会議設置要綱 ・・・・・・・・ 5	
	※ 研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励の内容・方法等・・ 6	$0 \sim 64$
	※ 参考資料 ・・・・・・・・ 6	5

I 教職員研修計画

1 はじめに

県教育委員会では、教職員の資質や指導力の向上を図るため、「校長及び教員としての資質の向上に関する指標」を踏まえて「福島県公立学校教職員現職教育計画」を策定し、体系的、計画的な研修を実施します。

研修体系においては、初任者研修を起点として、教職の全期間を通じて適切な時期に、基本研修・職能研修・専門研修・特別研修を、教職員の経験や職能に応じて、継続的かつ発展的に実施するとともに、各校の校内現職研修の充実を図り、教職員の資質や指導力の向上に努めることとしています。

基本研修においては、研修の効果的な運営を図り、教員としての高い倫理観や自律心など、資質の向上の内容を重視します。

また、職能研修や専門研修では、情報化に対応した各種研修、児童生徒理解を深める学校教育相談研修、組織マネジメント研修、特別支援教育コーディネーター研修などのように、今日的な教育課題に対応するとともに、より実践的な研修の創設や見直しに努め、現職教育の一層の充実を目指しています。

本計画では教職員研修計画のほか、研究学校(地区)指定計画、予定刊行物を掲載しています。研究学校(地区)指定計画は、創意ある教育活動の推進のために先導的な研究を行っている学校(地区)の紹介及びその研究成果の普及を図るものであり、予定刊行物は、令和4年度に関係課・教育センター・特別支援教育センターで発刊を予定している刊行物を掲載したものです。

2 教職員研修の構想

教職員研修計画は、教職員の資質や指導力の向上を目指し、教育公務員特例法第21条及び第22条に基づき、本県における公立学校教職員を対象として行う研修について、その体系的、効果的推進を図るため策定するものです。

研修計画の策定に当たっては、次に掲げる基本方針により構想するものです。

- (1) 教員自らが、豊かな人間性と魅力ある人格の陶冶を成し得るとともに、教育愛と使命感に裏付けられた深い専門性と優れた指導技術を習得し得る研修の機会を設けること。
- (2) すべての教職員が初任者研修、新規採用者研修を起点として、その後の教職歴における一定の時点ごとに必要とされる研修の機会を設けること。
- (3) 関係課・教育センター・特別支援教育センターが所管する各種研修会の相互の有機的な関連や自己研修・校内研修も含めた研修の一貫性を図ること。

3 研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励

教育公務員特例法及び教育職員免許法の一部を改正する法律の施行(令和5年4月1日)により、教員の研修履歴の記録作成と当該履歴を活用した資質向上に関する指導助言等の仕組みが導入されました。

本県では、教育公務員特例法第22条の5の規定に基づき、教員が自らの学びを振り返るとともに、学校管理職等が研修の奨励を含む適切な指導助言を行うための研修履歴の記録(下記参照。以下「研修履歴シート」)を作成することとします。(※今後、国の研修履歴システムが構築された場合、変更あり)

研修履歴シー		町村	立学	校】(校	長・副校	長・教頭	頁・主幹教諭・	教諭・養護教	対論・栄養教諭	涌用)			※1 記入	は、原則とし	て令和5年度か	らとするが	、さかの
職員番号			氏名				免許取得年月日		年 月	B			ぼって	記入してもより	L'o		
ステージ				I	期	1	ľ	1		時期					修・専門研修は、 いては、全てを		
今年度特に伸ばしたい	項目	,	容	資質	質向上のたる	めの							が、資	質向上に影響の	のあったものは	复数記入し	てもよい。
資質項目				5	受講予定研	修								作成日	年	月	В
														受講奨励者	職名 氏名		ED
	経験 年数	西暦	年齡	勤務校	主な校	內分掌	基本研修	職能研修	専門研修	その他	主催者	研修実施方法		振	り返り、成果等		
基礎形成期	1																
(概ね1~5年)	2																
教職に必要とされる 知識・技能を	3																
習得する時期	4																
	5																
	6																
資質成長期 (概ね6~10年)	7																
実践に基づき、知識	8													•			•
を深め、技能を 高める時期	9																

【研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励に関する基本的考え方】

10

1 研修履歴の記録は、指標や教員研修計画を踏まえて行う教育公務員特例法第22条の6の規 定による対話に基づく受講奨励において活用されることが基本です。その中で教員が学びの 成果を振り返ったり、自らの成長実感を得たりすることが一層可能になると考えられます。

また、これまで受けてきた研修履歴が可視化されることにより、無意識のうちに蓄積されてきた自らの学びを客観視した上で、さらに伸ばしていきたい分野・領域や新たに資質向上・能力開発をしたい分野・領域を見出すことができ、主体的・自律的な目標設定やこれに基づくキャリア形成につながることが期待されます。

- 2 対話に基づく受講奨励は、教員と学校管理職とが対話を繰り返す中で、教員が自らの研修 ニーズと、自分の強みや弱み、今後伸ばすべき力や学校で果たすべき役割などを踏まえなが ら、必要な学びを主体的に行っていくことが基本です。「新たな教員の学びの姿」が、変化の 激しい時代にあって、教員が探究心を持ちつつ、自律的に学ぶこと、主体的に学びをマネジ メントしていくことが前提であることを踏まえ、対話に基づく受講奨励は、教員の意欲・主 体性と調和したものとなるよう、当該教員の意向を十分にくみ取って行うことが望まれます。
- 3 研修履歴を活用して対話に基づく受講奨励を行うことにより、
 - 教員が今後どの分野の学びを深めるべきか
 - ・ 学校で果たすべき役割に応じてどのような学びが必要か

等について、学校管理職による効果的な指導助言等が可能となるとともに、個々の教員の 強みや専門性を把握した上で校務分掌を決定するなど効果的な学校運営を行うことも可能に なると考えられます。

なお、具体的な受講奨励の内容・方法等については、参考資料「研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励の内容・方法等」を御参照ください。

4 校長及び教員としての資質の向上に関する指標【第2版】

本指標は、教育公務員特例法の改正により、教員の任命権者に策定が義務づけられた「校長及び教員としての資質の向上に関する指標」であり、県教育委員会が関係大学との協議等を経て策定したものです。また、同法で定められた指標に基づく研修計画が、「福島県公立学校教職員現職研修計画」です。

本県では、教員等が高度専門職としての職責、経験及び適性に応じて身に付けるべき指標として、下記の4つの領域、13項目を設けています。また、それぞれの教員の個性やキャリアパスを生かして、継続的に資質の向上を図ることを求めるため、教員としての成長過程を示した4つのステージをおき、研修を通じて自己の取組を省察しながら、資質を高めるための見通しをもてるようにしています。校(園)長・副校長については、4つの領域に分けて別に定めています。

(1) 指標の領域(Ι~Ⅳ)及び項目(1~1	(1)	指標の領域	$(I \sim V)$	及び項目	(1~1
------------------------	-----	-------	--------------	------	------

Ⅰ 教員としての素養
1 使命感・情熱・向上心
2 幅広い教養や社会性・確固たる倫理観
3 本県の教育課題への理解と対応
Ⅱ 学びの創造
4 学びの構想と広がり
5 授業等の実践と評価・改善
(幼稚園等 指導計画の作成、保育実践、評価・改善)
Ⅲ 児童生徒の理解と指導
6 児童生徒理解
7 社会性の伸長と協働する力の育成
8 個に応じた対応
9 特別な支援を必要とする児童生徒への対応
Ⅳ 教職員の協働と学校づくり
10 同僚性の構築
11_ 学校組織の運営
12 学校と家庭・地域との連携

(2) ステージ

	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ4
福島県が水める	基礎形成期	資質成長期	資質充実期	深化発展期
着任時の姿	概ね1~5年	概ね6~10年	概ね11~15年	概ね16年~
			I	
校長・副校長	 1 ビジョンと実行力 	2 マネジメント力	3 リーダーシップ	4 育成と服務管理

校長及び教員としての資質の向上に関する指標【第2版】

令和4年4月福島県教育委員会

東日本大震災以降、複雑で多くの課題を抱える中で、本県の教員が日々子どもたちと真剣に向き合い取り組んできた教育実践の一つ一つは、今、「福島ならでは」の教育としての成果や財産となりつつあります。

課題に果敢に挑戦する心や粘り強さ、他者との違いを認め、助け合う精神などの「福島らしさ」が 醸成されました。また、課題に対して、対話と協働を通して解決を目指す探究学習によって、多様性 を力に変える教育が生まれています。これらは全国的にも誇るべきものです。

第7次福島県総合教育計画では、校長及び教員の皆さんには、社会が急激に変化し、学校を取り巻く課題や教育ニーズが多種多様な中にあっても、こうした「福島ならでは」の教育を推進することで、「自分の人生を切り拓くたくましさを持ち、多様な個性をいかし、対話と協働を通して、社会や地域を創造することができる人」を育てていくことが求められています。

全ての教員が、立場や役割は異なっても、「チーム福島」の一員として、変化をいとわず挑戦する 心を持ち、自らの長所や個性の伸長を図り、子どもに伴走しながら、継続的に学び続けることがで きるよう、新たに指標を策定しました。本指標を、各種研修受講時はもとより、自らの教育実践の省 察等に活用されることを期待します。

福島県が育成を目指す教員像

急激な社会の変化の中で、「自分の人生を切り拓くたくましさを持ち、多様な個性をいかし、対話と協働を通して、社会や地域を創造することができる児童生徒」を育成するために、学びの変革*1を実現し、

- 〇 「福島らしさ」^{※2}をいかした多様性を力に変える教育と、福島で学び福島に誇りを持つことがで きる「福島を生きる」教育(以下「福島ならでは」の教育という。)を実践する教員
- 〇 高い倫理観と教育に対する情熱・使命感を持ち、児童生徒に伴走しながら学び続ける教員
- 心身共に健康で、自らの強みや指導力をいかし、チームとして多様化・複雑化する教育ニーズに 対応する教員

(第7次福島県総合教育計画より)

- ※1 学びの変革とは
 - 全ての子どもに必要な力を育成するため、一方通行の画一的な授業から、個別最適化された学び、協働的な学び、探究的な学びへと変革すること
- ※2 「福島らしさ」とは
 - 「はま・なか・あいづ」に代表される広い県土だからこその多様性、それぞれの地域の文化と歴史、豊かな自然環境 といった独自性
 - 人と人との触れ合いや支え合いの精神など、人々の温かさや絆が息づいている県民性
 - O 東日本大震災及び原子力災害によって他の地域よりも複雑で多くの課題を抱える中で、地域等の人々が手を取り合って果敢に挑戦を続けていること

指標の趣旨

- 〇 養成、採用、研修を通じた学び続ける教員を支えるための目安として作成しています。
- 校長及び教員の資質向上のため、高度専門職としての職責、経験及び適性に応じて身に付けるべき資質について、教職生活全体を俯瞰的に捉え明確にしています。
- 画一的な教員像を求めるものではなく、校長及び教員に求められる基礎的、基本的な資質を身に付け、長所や個性の伸長を図るためのものです。

教員	研修る	を通じて	て目らの資質向上を図る際の目安
扒只	174k ±	₩ EV	ロンル 原材によりっしりさまれ り

職責、経験、長所や個性に応じてより高度な段階を目指すための手掛かり

本県教員を目指す者が身に付けるべき資質を示すことにより優秀な教員を採用

大学 指標に示す着任時の姿を目指して教員を養成

教職大学院等における教員の資質向上のための指針

指標の特徴

- 教員としての成長過程を示した4つのステージをおき、ステージごとに身に付けるべき資質を示しています。 横軸に、
- 横軸に、「福島県が求める着任時の姿」を加え、養成、採用、研修を通じた成長過程を意識したものとしています。 000
- 更に13項目に 児童生徒の理解と指導」、「IV 教職員の協働と学校づくり」の4つの領域をおき、 学びの創造」、「田 縦軸は、「I 教員としての素養」、「I
 - 区分することにより、分野ごとに身に付けるべき資質が分かるようにしています。 · 「福島県が育成を目指す教員像」、東日本大震災及び原子力災害の経験を踏まえた「福島らしさ」を示すとともに、それらの内容を本指標に反映させています。
 - 専門領域」として別に定めています。 養護教諭、栄養教諭・学校栄養職員については、「Ⅱ 学びの創造」を「Ⅱ 00
 - 校長・副校長については、身に付けるべき資質を4つの領域に分けて別に定めています

ステージ

- 本研修の受講年となっており、研修を通じて自己の 取組を省察しながら、資質を高めるための見通しを 各ステージの概ねの経験年数の始年は、本県の基 持てるようにしています。 0
 - 各ステージの概ねの経験年数は目安であり、それ ぞれの教員の個性や多様なキャリアパスをいかし て、継続的に資質の向上を図ることが求められてい 0

	@		
ステージ4 【深化発展期】 概ね16年~	【伝え・支える】 それぞれの立場でリ ダーシップを発揮し、 ぬ _{声短} オス時間	ス接りの時中核教諭。	り伸長・多様なキャリアパス
、テージ3 質充実期】 111~15年	分かち合う】 げ、同僚教職 を高める時期	質向上研修	個性の
ステージ3 【資質充実期 概ね11~15	【広げ・分九 視野を広げ、 員と協働性を1	中堅教諭等資	
	账		数-
	徴期		10
ージ2 成長期] 5~10年	かる (本) (本)		Ţ
う場け	高吉め	<u>₹//</u>	
ステージ2 【資質成長期】 概ね6~10年	深め · に基 ()	験者研	橖
ステ- 【資質 は 概ね6〜	【深め・ e践に基づ 技能を高	年経験者研	以続
ステー 【資質成 概ね6~	【深め・ 実践に基づめ、技能を高	経験者研	
	Lる知 実践に基づ時期	5年経験者研	ざ
	い・学ぶ】【深め・ 要とされる知実践に基づ 実践に基づ 留得する時期	5 年経験者研	ざ
ステージ1 ステー 【基礎形成期】 【資質成概わ1~5年	Lる知 実践に基づ時期	5 年経験者研	ざ

惐 调

尽	教育公務員としてその職責を遂行するための資質に関わること。 「福島ならでは」の教育を理解し、絶えず研究と修養に努め、自己の取組を省察しながら資質を高めるために学び続ける力が求められてい ます。	学びの構想や授業づくりに必要な資質に関わること。 「社会に開かれた教育課程」に基づき、主体的・対話的で深い学びを通して児童生	児童生徒の理解や多様な教育的ニーズへの対応に必要な資質に関わること。 特別な支援を必要とする児童生徒への対応を含め、多様な児童生徒を誰一人取り残さず健やかな学びを保障する力が求められています。	学校運営や同僚性の向上に必要な資質に関わること。 社会と連携・協力しながら、「チームとしての学校」を実現する力が求められています。
松	察しながら資質を高めるために学び続ける力が求めら	c関わること。 主体的・対話的で深い学びを通して児童生徒の資質・能力を高める力が求められています。	スリ残さず健やかな学びを保障する力が求められていま	ています。

校長及び教員としての資質の向上に関する指標【第2版】

1CTの有効活用を始めとした 新たな知見を統合し、学びの 変革を意識した研究・実践を 推進する組織体制の構築に努 めている。 評価の妥当性、信頼性を高め、次の学年や異校種に適切 に接続するための組織的・計画的な取組を推進している。 似 r 経験を基に意図的・ な保育の実施を推進 見的な環境構成や援助 り実情に応じた園内研 回・運営している。 :がら、幼児 関連性に留 園全体の保 1けた助言や 柔軟に対応 学校全体の 解決につ 試成、実 計画的に 協の・ 家庭や地域との連携・協による特色ある教育課程の成、実施、改善を組織的・画的に推進している。 多様なキャリアパス - た現か 向け、 が割をす 1る。 加 中核教諭研修等 [深化発展期])教育課題の無 (育課程の編) 育を組織的・言 7 一。 き性ににるなど、向。 の決のて向に役い 対話と協働を通し HU 福 動がで いる。 磨様も上 ののし行質解でし を多と向て Щ 県る改しの教善て 門験る質を性のと的し 4 るめ言て 育題と遂 個性の伸長 件 諸中務 数課核を な施推本が、進 専体すの応 4 事争 の意言対 令和 。 | る良職 | ・ | ・ | ・ | ・ 本県の教育課題への多面的 な理解に基づき、探究的・協 動的に課題解決に取り組む教 育活動を推進している。 ○ 達過程を見る○ 首結した具質計画を手順いて作成する○ 告問してい 、し信組と関われ 「 お だ イ イ 存を競渉 の的応て え いるでんを敏感に捉えるを りを身に付けている。 の数職員の模範となる ・服務規律に対する意 活効ジ用果メ 全で 教る 、イ学校、協働し ステージ3 【資質充実期】 概ね11~15年 堅教諭等資質向上研 ををネ 幼児の長期の発達 通し、幼児の姿に重 体的な短期の指導計 や形式等をエ夫して とともに、同僚に財 き通一視してしている。 源動マる 学校内外の資源 特色ある教育活動 実施するためので に取り組んでいる **め児期にふる 展開や遊びを道な指導、一人** じた指導を重れ いる。 كذيد 真通て 皿 乗効見、発活を教がまなり、な用な数でである。 状授の善 教見し 中広遂堅く行 社る他令会力の: 学的習の習な者改 教 な働育 有知 織学程 幅を p とるる 見方・考え方を働かせた学びの過程を充実させるとともに、ICTを含む教材・教具を効 集的に活用し、学びの変革のしる実現を図っている。 、実態や遊び、による具体的な、環境構成等計画を作成し き。対 様課育 5 63 保計者 16 4 5、変化に対応でき 子身に付けている。 5令・服務規律を近 多育教 、育い 5策を踏まえ、到 5を活用し、教育 1けた探究的な教 1組んでいる。 察をて 育し保て う理しと教解、し **±** 省カし ステージ2 [資質成長期] 概ね6~10年 学習の過程及び成果 て評価の場面や方法名 し、指導の改善や児童 学習意欲の向上につなる。 の努行 発達を理解し、写の展開の見通しによなわらいや内容、現を設定した指導計画ている。 践る遂 育高務実めを 験者研修 ちを法 教を職 通や境果 を向け、幅広い教養を持た に間関係を築くための力を して高い倫理観を持ち、 り専門性を主体的に開る。 づ 5年経 孙 指導方法やICTを含む教材・教具の活用を工夫し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に取り組んでいる。 、や内容を踏まえ、保 と割を意識しながら、 5動に寄り添って援助 5。 写実や教訓を継承・ 女育活動や、地域の そえた教育活動に取 いる。 うられる基本的な 子身に付け、 意欲 こ職務を遂行して 新す。 浬 うら を登りた。では、また、また、また、また、ことの。 をえな計 ステージ1 【基礎形成期】 概ね1~5年 * 研修 目指す資質・能力を し、学びを社会につな たな学びへの意欲を引 単元や授業を構想して 目いとを入し 初任者研修 新規採用教員研 め児教育にな した指導の重要 発達を意識し、 いや内容を設定 を作成している 数員に求め、 知識・技能を 的かつ確実に いる。 適切な観点 評価により、 本化を図り、 状況の把握と かしている。 ない いない に必必 にいる。 のる路で事教まい らののい。必然に くや育て 災すをん 育幼しな者児で 発 特 り 電信 色組 る。守広力教し r関する法令を理解すらに、一般的な教養やを身に付けている。 -基づき、 5むための学 7て理解して - 応じた | あった | の基本的は | 技能を習得 教、愛き職児情 成をろ 災すう 指導計画に基づく環境構成や個に応じた援助の大切さを理解し、幼児に進んで関わらったいる。 子目し力指よ しもしが、に、で 、震災及び原子 〔興・創生を 「課題を理解」 福島県が求める 着任時の姿 幼稚園教育要領等にき、幼児教育に関するめ児教育において育み質・能力及び「幼児期リリまでに育ってほしいて有りのまでに育ってほしいついて概ね理解している 覚と重と 数科等の特質に 質・能力、見方・ 解し、授業づくりの 知識を身に付け、 しようとしている。 領をつい 自と尊こ をつまる 弾力力を 割持権す 東日本大記書からの後期 本語の教育記としている。 にもを 指るり 育と性 教と会 る社 指導計画の作成 2 幅広い教養や社会性・ 確固たる倫理観 沙 使命感•情熱•向上心 4 学びの構想と広がり 3 本県の教育課題 への理解と対応 5 授業等の実践と 評価•改善 保育実践 スデ Ш 幼稚園等 酒 学びの創造 領域 教員としての素養 Ħ

	核	校長・副校長衛			申し仕けスペキ咨略		
	an W	1 - 2	 〇 第7次福島県総合教育計画の理念 〇 教育目標の達成に向け、適切に課題	に則り、児童生徒の実態や地域の実情を 題を見出し、課題の解決に向けた取組を	AND ONE MINION ONE M		向性の共有を図っている。
	i v	27ントカ	○ 多様な専門性を持った教職員を有格 ○ 人事評価や学校評価等を有効に活	機的に結び付け、保護者や地域等との連 用し適切な人材配置や労働安全衛生管理	携による学校内外の協働の文化を創りと 等に努める等、組織の活性化に向けた約	出している。 総合的なマネジメントに取り組んでいる	0
	<u>-</u>	3 一ダーシップ	○ リーダーシップを発揮し、複雑化 ○ 危機管理への対処について教職員。	・多様化した課題を抱える学校を牽引し と共有を図り、関係機関等と連携を深め	、学校の教育力を向上させている。 ることにより危機管理体制の整備を行い	、平素から危機管理意識を持った安全	対策を講じている。
	作	4 成と服務管理	○ 研修や人事評価等を通して教職員! ○ 教職員に高い服務倫理意識を定着 3	に対し指導助言を行うとともに、教職員させるとともに、風通しの良い職場づく	が探究心を持ち自ら学び続ける力をつい りを推進し、教職員の心身の充実に努め	けるための支援を行う等、教職員の資質 めている。	向上に努めている。
		養護教諭					
領域	一種	ステージ [目	福島県が求める 着任時の姿	ステージ1【基礎形成期】 概ね1~5年	ステージ2[資質成長期] 概ね6~10年	ステージ3[資質充実期] 概ね11~15年	ステージ4【深化発展期】 概ね16年~
		1保健管理	学校保健安全法に基づき、児童生徒 の健康に関する実態把握や基本的な保 健管理の方法について理解している。	児童生徒の発達段階に応じてみられる心身の疾病等について理解し、適切な保健管理を実施している。	保健情報の収集と活用に努め、個や 集団の健康状態や特性に応じた保健管理を評価・改善しながら効果的に進め ている。	保健情報を総合的に評価し、教職員 や関係機関と連携した組織的な保健管理を推進し、健康課題の解決につなげている。	保健情報の効果的な活用や関係機関 との連携に基づいた保健管理の体制整備に積極的に関わっている。
申申		2 保健教育	保健教育における養護教諭の役割と 基本的な指導方法について、学習指導 要領等を踏まえ理解している。	国及び県の施策等を理解し、それらを活用しながら学級担任等と連携して専門性をいかした保健教育を実施している。	児童生徒の実態や特性に応じた保健教育を計画的に実施し、評価・改善しながら効果的に推進している。	家庭や地域、専門機関等との連携に おけるコーディネーター的役割を担 い、組織的に保健教育を推進してい る。	- 地域の健康課題解決に向け、近隣学校 や地域と連携した保健教育を推進し、地域全体での保健教育の充実を図っている。
門領域		3 健康相談	学校保健安全法に基づき、健康相談 の位置付けや、健康課題に対する基本 的な支援の方法について理解してい る。	健康相談の基本的なプロセスに基づき、心身の発達段階や現代的な健康課 題を踏まえた健康相談を実施している。	心身の健康課題を総合的に捉え、教職員や保護者、関係機関と連携し、課題解決に向けて効果的に支援している。	健康課題や背景にある問題の早期発見に努め、関係機関との連携におけるコーディネーター的役割を担い、適切な支援につなげている。	学校全体の健康課題を捉えて教職員の意識を高め、専門性をいかした指導・助言や支援体制の整備をしている。
		4 保健室経営 保健組織活動	保健室経営・保健組織活動の意義 や、学校保健活動推進における連携・ 協働の重要性を理解している。	保健室経営方針を教職員や保護者に 周知し、保健主事と協力しながら開か れた保健室経営をしている。	児童生徒の主体性を育む視点で保健 室経営や保健組織活動の内容を工夫 し、適切な指標を用いて評価・改善し ている。	学校保健活動と他の教育活動を有機 的に関連付け、協働による健康課題の 解決を目指す保健室経営を推進してい る。	保健室経営の視点から学校教育目標 実現のための具体的な方策を提案し、保 健組織活動の充実を図っている。
胀	栄養教諭	諭·学校栄養職員					
領域		ステージ	福島県が求める 着任時の姿	ステージ1[基礎形成期] 概ね1~5年	ステージ2[資質成長期] 概ね6~10年	ステージ3[資質充実期] 概ね11~15年	ステージ4[深化発展期] 概ね16年~
	結食	1 栄養管理	学校給食実施基準に基づき、学校給食の栄養管理を適切に行うことを理解している。	児童生徒の実態把握の必要性について理解し、食品構成を考慮しながら、地場産物を活用した献立を作成している。	学校給食摂取基準に基づく栄養管理に加え、郷土食、地場産物を取り入れ、各教科等の食に関する指導と関連させながら献立を作成している。	児童生徒の体格や生活活動の実態を 考慮した摂取基準を作成し、地域の特性をいかした食品構成及び食育の観点 等を考慮した献立を作成している。	地域の健康課題を把握し、高度な専門知識をいかして、自校のみならず地域等において指導的な役割を果たしている。
= #	御理	2 衛生管理	学校給食衛生管理基準に基づき、学校給食の衛生管理を適切に行うことを理解している。	調理場(受配校)の施設・設備、食品の取扱い、調理作業、衛生管理体制の実態把握に努め、適切な衛生管理を実験施している。	調理従事者の衛生管理、関係諸帳簿の整備、施設設備の衛生等、衛生管理 責任者としての業務を遂行している。	学校給食衛生管理基準についての理解を深め、実践するとともに、所属の学校や受配校の衛生体制について評価し、課題の改善に努めている。	学校給食衛生管理基準に基づく衛生管理について評価と改善を行い、管理職等と連携を図りながら、事故の未然防止に努めている。
中門領域	食に関す	3 給食時間、教科等		食に関する指導に係る全体計画に沿い、学校給食の献立や使用食品を活用しながら、各学校・学級の食に関する課題を把握し、給食の時間や授業等で指導している。	給食と各教科等との関連を考慮し、 国及び県の施策等を活用しながら、児 童生徒の実態に基づいた食に関する指 導を実践し、評価及び改善を行ってい る。	食に関する課題の解決に向け、校種間の連携を図りながら、専門性をいかして指導し、組織的に取り組んでいる。	地域の食に関する健康課題を解決するために、食育の評価指標を考慮し、組織を活用した体制の確立に向け取り組んでいる。
	る指導	4個別的な相談指導	個別的な相談指導の基礎的な知識を身に付け、児童生徒の実態把握に基づき、個別的な相談指導を行う重要性について理解している。	食に関する健康課題を有する児童生徒の実態を把握し、教職員や保護者と 連携しながら専門性をいかして指導している。	個別的な相談指導に関する専門性を 高め、教職員や保護者と連携し、児童 生徒の実態に応じて指導している。	食に関する健康課題を有する児童生徒について、個に応じた指導計画を作成し、組織的に対応するとともに、評価、改善している。	専門的な知識を活用して、食に関する課題を総合的にとらえ、保護者や校内組織と連携した個別的な相談指導体制を整備している。

指標の対象

○ 本県公立学校の校長(園長を含む。以下同じ。)、副校長、教頭、主幹教諭、教諭、養護教諭、栄養 教諭、学校栄養職員、保育教諭

教育公務員特例法第2条に定める「校長」「教員」に加え、学校栄養職員が対象<u>(任用の期限を付されて</u> 採用されている方は除く)。

指標改訂の経緯

- 平成29年4月 教育公務員特例法の一部を改正する法律が施行され、校長及び教員の任命権者は関係 大学等とで構成する協議会を組織し、「校長及び教員としての資質の向上に関する指標」(以下、「指標」という。)に関する協議を行い、指標を策定するとともに、指標を 踏まえた研修計画を定めることとされた。
- 平成 29 年 12 月 「校長及び教員としての資質の向上に関する指標」(初版)が教育委員会会議において 決定した。
- 令和 3 年 2 月 「福島大学と福島県教育委員会による連携協議会」を開催し、その中に設けた「教員育成ワーキンググループ」において、第7次福島県総合教育計画を見据え、指標の改訂方針について協議を開始した。
- 令和 3 年 8 月 県内各市町村、校長会、教員養成課程を設置している大学に指標(案)について意見照会を行った。
- 令和 4 年 2 月 第 7 次福島県総合教育計画を踏まえ、「校長及び教員としての資質の向上に関する指標 【第 2 版】」が教育委員会会議において決定した。
 - ※ 本指標に基づく研修は、令和4年度を移行期間とし、令和5年度から全面実施とする。

【参考】教育公務員特例法(抜粋)

<u>校長及び教員としての資質の向上に関する指標の策定に関する指針</u>(第22条の2)

文部科学大臣は、公立の小学校等の校長及び教員の計画的かつ効果的な資質の向上を図るため、校長及び教員としての資質の向上に関する指標の策定に関する指針を定めなければならない。

校長及び教員としての資質の向上に関する指標 (第22条の3)

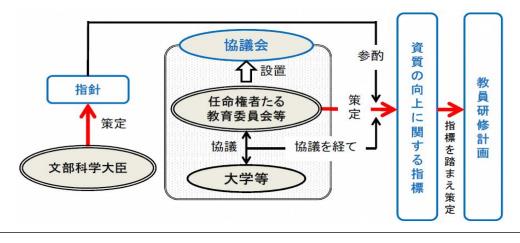
公立の小学校等の校長及び教員の任命権者は、指針を参酌し、その地域の実情に応じ、当該校長及び教員の職責、経験及び適性に応じて向上を図るべき校長及び教員としての資質に関する指標を定めるものとする。

教員研修計画 (第22条の4)

公立の小学校等の校長及び教員の任命権者は、指標を踏まえ、当該校長及び教員の研修について、毎年度、 体系的かつ効果的に実施するための計画を定めるものとする。

協議会 (第22条の5)

公立の小学校等の校長及び教員の任命権者は、指標の策定に関する協議並びに当該指標に基づく当該校長及び教員の資質の向上に関して必要な事項についての協議を行うための協議会を組織するものとする。



5 教職員研修の体系

(1) 基本研修

① 初任者研修について

現職研修の第一段階として、新任の教員に対し実践的指導力と使命感を養うとともに、幅 広い知見の習得を図るため、初任者研修を採用の日から1年間にわたり実施します。

なお、幼稚園教諭・養護教諭・学校栄養職員等の新採用時に行う研修も同様の趣旨に沿って、それぞれの計画に基づいて実施します。

② 2年次教員フォローアップ研修について

初任者研修を修了した教員に対して、初年度に培った基礎的な力を、日々の教育実践に生きる確かな資質・能力へと高めるため、その後1年間の研修を実施します。

③ 5年経験者研修について

2年次教員フォローアップ研修に引き続き、在職期間が5年に達した教職員に対して行う もので、5年の経験を基盤に、教科指導や生徒指導等の力量の向上を図るとともに、社会の 変化に対応した教育課題等について実践的な研修を進めます。

④ 中堅教諭等資質向上研修について

在職期間が10年に達した教職員は、校内外において学校教育活動の実践的な場で中核的立場を占める位置にあり、さらに、それまでの実績に裏打ちされた新たな視点、力量の向上、指導法の工夫改善が必要となる時期でもあります。そのため、10年の経験を基盤に、教科指導や生徒指導等、職責遂行上必要な専門的知識・技能等の資質・能力の向上を図るとともに、教科経営、学級・学年経営、校務分掌のリーダーとしての力量の向上を図ります。

⑤ 中核教諭研修について

初任者研修、2年次教員フォローアップ研修、5年経験者研修、中堅教諭等資質向上研修の内容を踏まえ、経験15年程度の実績等に留意し、教員個々の専門的知識・能力の深化や伸長を図るとともに、学級・学年経営等、全校的視野での教育活動の中核的立場として、広い視野に立った教育実践について力量の向上を図るため、各種の研修会等を中核教諭研修として位置付けて行います。

(2) 職能研修

① 職能研修 I について

職能研修 I は、新任の校長・副校長・教頭・主幹教諭・教務主任等に対して行う研修であり、学校経営等、教育活動の統括的役割について、その資質・能力の向上を図ります。

② 職能研修Ⅱについて

学校の実態に応じた教育課程や諸教育活動が展開されるよう、校内の個々の教職員の役割 分担や協力体制を築くため、個々の教職員の職責・職能に応じた教育活動に関する研修を職 能研修 II として組織的に行います。

また、その際、研修内容等について重複したり、同一教職員の多重参加等がないよう、実施方法、研修内容等について毎年度見直しを行い、研修の精選、重点化を図り、研修が発展的に行われるよう配慮します。

③ 職能研修Ⅲについて

現職の校長・教頭等に対して行う研修であり、役職として求められる資質・能力を高める ことを目的とします。

(3) 専門研修

専門研修 I について

専門研修 I として、教育課程の改善等、学校教育の基盤となる事項について研修を行い、教育課程実施上の諸問題に関する専門的な研修を中心に実施します。

② 専門研修Ⅱについて

専門研修Ⅱとして、実践を土台とした各種の研修・研究を行います。

また、個に即応した指導力の向上を図るほか、社会の変化に対応した教育活動の実践に資するため、各種の研修会の機会を充実させ、個々の教員の教育課題の解決を図るなど、多様な研修を設定します。

③ 専門研修Ⅲについて

専門研修Ⅲは、教科等の指導力の深化や専門的な研究のほか、全校的視野や経営的視点での学校教育の充実を図るための研修です。特に、学校教育の指導的立場にある者の力量の向上を図るものであり、研修成果の発表等を通して各学校の教育活動に資するよう配慮します。

(4) 特別研修

教員を大学及び大学院、文部科学省主催の研修、各種教育関係機関及び企業等の社会第一線の研究・開発等の機関、海外に派遣して行う研修です。

(5) 校内現職研修

教員研修の基盤として、各学校において計画的、実践的に行う研修です。校内研修の実施に あたっては、各学校の教育目標を十分踏まえ、かつ、地域や児童生徒の実態等を考慮しつつ、 組織的に計画、実施し、十分な評価を行うことが重要です。

校長及び教員は、校内研修が校内の課題の解決と教員個人の教育力を高める上で基盤となる ものであることに留意し、その活性化のため一層努力をする必要があります。

(6) 研 究

① 指定研究

県・各学校・地域の課題に応じ、研究テーマを設定し、総合的、先導的な実践・研究を深め、その成果を全県的に普及し、学校教育の充実・活性化に資するため、指定研究を行います。

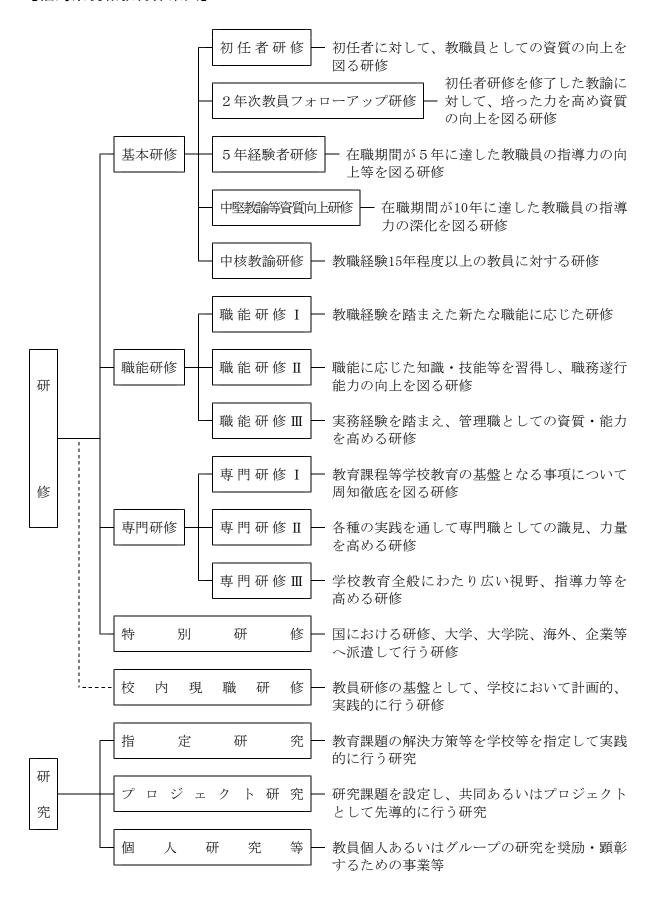
② プロジェクト研究

社会の変化や時代の要請等に対応した教育課題の解決に実践的、研究的に取り組むため、 教育センター等において、教育課題解決のための先導的研究等を行い、学校教育活動の充実 ・発展に資するため、プロジェクト研究を行います。

③ 個人研究等

教員の個人あるいはグループの研究及び課題解決の努力や取組を奨励し、顕彰するため、 教職員の研究論文の募集等を行い、実践的な教育研究を支援します。

【福島県現職教育体系図】



6 市町村教育委員会が行う研修

県教育委員会は、社会の変化や時代の要請等に対応し、教育の質的水準を高めるため、現職教育については、毎年度見直しを図り、各研修を組織的・体系的に実施しています。

市町村教育委員会においても、研修事業の見直し等により、研修体系の整備及び効果的推進を 図るとともに、地域の実態を踏まえた研修の積極的な推進に努めます。

14

7 指標に基づく研修計画

	1								◎特	に向.	上を目	_	_	・削			向上	を目指		₹質· V	能力	
					ス	テー	ジ		教	I 員として 事業	ての	I 学で 創:	ぶの	児童	⊈生徒⊄ 	の理解	₽と指	教職員	-	V 動と学材	さづくり	
				1	2	3	4		1	素養	3	A 4	垣 5	6	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	} 8	9	10	11	12	13	
				基	資	資	深	校	使		理本	学	授	児	協社	個	児特		学	と学		
				7林	Fi Fi	FF	11-	長		確広		びの	業等	童	働会	E	童 ^別 な	僚	校	校	校	所
分	·類	No.	研修名·講座名	礎	質	質	化			固い 教		1.44	の 実	生	す性		生支		組	のと	安	
				形	成	充	発	=.1	情熱	た ・ を る ・	と育	想	践 と		る の 力	じ	徒援を		織	家庭	全 へ	管
				成	長	実	展	副		命社			評価	徒	の伸	た	へ必の要		の	連.	の	
				13%	IX	*	胶	校		理会		がが	改	理	育長	対	と 対 す	構	運	地	対	
	1			期	期	期	期	長	心	観性	応の	IJ	善善	解	成と		応る	築	営	携域	応	
	初	1	幼稚園等新規採用教員研修	•					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	教
	任	2	小 学 校 初 任 者 研 修	•					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	育
	研	3	中 学 校 初 任 者 研 修	•					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	セ
		4	高 等 学 校 初 任 者 研 修	•					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ン
		5	新 規 採 用 養 護 教 諭 研 修	•					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	タ
	新	6	新規採用学校栄養職員研修	•					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	採	7		•					0	0	0	0	0	<u></u>	0	0	0	0	0	0	0	特セ
	研	8	新規採用職員研修						©	0	©							0	<u> </u>			義教
		9										@	<u></u>					_				教教
	2 年		小 学 校 2 年 次 教 員 フォロー アップ 研 修 	•					©	0	0	0	©	<u> </u>	0	0	0	0	0	0	0	教育セ
	次	10	中 学 校 2 年 次 教 員 フォロー アップ 研 修	•					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ンタ
	研	11	高等学校2年次教員フォローアップ研修	•					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
基	修	12	特別支援学校2年次教員フォローアップ研修	•					0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	特セ
	5	13	小 学 校 5 年 経 験 者 研 修		•				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
本	年	14	中学校5年経験者研修		•				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	教育
	経	15			•				0	0	0	0	0	©	0	0	0	0	0	0	0	ヨセン
研	験	16			•				0	0	0	0	0	<u> </u>	0	0	0	0	0	0	<u> </u>	ター
	者	17	学校荣養職員5年経験者研修		•				(i)	0	0	0	©	<u> </u>	0	<u></u>	0	©	0	©		
修	研修	18											-									肚子
			特別支援学校5年経験者研修		•				0	0	0	0	© 	0	0	0	0	©	0	0		特セ
	中	19	幼稚園等中堅教諭等資質向上研修			•			0	0	0	0	0	<u></u>	0	<u></u>	0	0	<u> </u>	0	<u> </u>	教
	堅 教	20	小学校中堅教諭等資質向上研修			•			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	育
	諭等	21	中学校中堅教諭等資質向上研修			•			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	セ
	資	22	高等学校中堅教諭等資質向上研修			•			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ン
	質向	23	養 護 教 諭 中 堅 教 諭 等 資 質 向 上 研 修			•			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	タ
	上研	24	学校栄養職員中堅教諭等資質向上研修						<u> </u>	 鬲年実	施台	令和5	年度(は実別	をしない	۸,	<u>. </u>					1
	修	25	特別支援学校中堅教諭等資質向上研修			•			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	特セ
		26					•		©	0	©	0	0	0	0	©	0	©	©	©	©	
	中核	27	県立学校中核教諭研修				•		©	0	©	0	0	0	0) (i)	0	©	<u> </u>) <l< th=""><th>OO</th><th>教 育</th></l<>	OO	教 育
	核教諭																	9	<u> </u>			セン
	研 修	28	中核養護教諭研修							幕年実 										_		ター
_		29	中 核 学 校 栄 養 職 員 研 修 				•		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
職	職	1	市町村立学校新任校長・副校長研修会					•	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	©	教
		2	県立学校新任校長・副校長研修会					•	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	セ
能	能	3	新 任 校 長 オンライン 集 合 ハイブリッド 研 修					•	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	、 特高
	研	4	市 町 村 立 学 校 新 任 教 頭 研 修 会				•		©	0	0	0	0	0	0	0	0	©	<u></u>	©	0	
研		5	県立学校新任教頭研修会				•		©	0	©	0	0	0	0	0	0	©		©	OO	教 育
	修												_				_					セン
修	Ι	6	新 任 主 幹 教 諭 研 修 会 ———————————————————————————————————	_			•		©	0	0	0	0	0	0	0	0	©	<u></u>	0	<u> </u>	ター
凹	1	7	新 任 教 務 主 任 研 修 会				•		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

ステージ 教員としての 学びの 児童生徒の理解と指 教職員の協働と学校づくり 素養 創造 2 2 3 7 | 8 | 9 10 | 11 | 12 | 13 3 4 5 6 4 基 資 資 深 校 使 ・幅理本 学 | 授 児 協社 個 児特 同 | 学 |と学 学 働会に単か 確広県 び 僚|校| 校校 等 童 な 固い解の の 礎 質 質 化 組しのとり安 す性応 の 分類 研修名·講座名 生支 No. 実 構 徒援 性 生る 家全 践 管 養と育 想 のじ 形 織 るや لح 徒 力 庭へ ^必 の 副 課 لح 評 の連! の伸をの要 倫社対題広 の 成 長 実|展 向 校 理 構 育長対対す 運 理会 が 地対 改 IJ 期 期 期 長 心 観性応の 解成と 応 築 営 プ \bigcirc \bigcirc 0 8 基 礎 力 ア 研 修 \bigcirc ツ \bigcirc \bigcirc 用 ア プ 研 修 \bigcirc \bigcirc 応 力 \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc 10 力 ア プ 研 \bigcirc 0 \bigcirc 0 11 修 12 学校安全指導者養成研修 \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc 会 \bigcirc \bigcirc \bigcirc 13 研 会 \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc 修 \bigcirc 康 \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc 0 \bigcirc \bigcirc 隔年実施 令和5年度は実施しない 栄養教諭中堅教諭等資質向上研修 17 育 推 進 研 修 会 \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc 職 18 0 \bigcirc \bigcirc 別 19 | 県立特別支援学校医療的ケア実施教員研修会 \bigcirc 職 能 20 | 県立特別支援学校生徒指導担当者連絡協議会 \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc 課 21 │複式指導(国語·算数)担当教員研修会 \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc 0 \bigcirc 能 0 \bigcirc 教 研 育 22 免 許 外 教 科 担 任 教 員 研 修 会 \bigcirc 0 0 \bigcirc セ 研 校長のためのマネジメント講座 \bigcirc \bigcirc \odot 0 \odot \bigcirc \bigcirc 修 24 | 教 頭 の た め の マ ネ ジ メ ン ト 講 座 \bigcirc \bigcirc \odot \bigcirc \bigcirc \bigcirc 0 \bigcirc \bigcirc 修 \bigcirc \odot \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc 0 \bigcirc 小・中 学 校 に お け る キ ャ リ ア 教 育 実 践 講 座 $lap{I}$ \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc 26 | 特 別 支 援 学 級 等 新 任 担 当 教 員 研 修 会 特 27 | 特 別 支 援 学 級 担 当 教 員 (経 験 三 年) 研 修 会 \bigcirc \bigcirc \odot 別 支 \bigcirc \bigcirc \bigcirc 28 | 小・中学校特別支援教育コーディネーター研修会 援 29 局等学校特別支援教育コーディネーター研修会 \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc 0 \bigcirc \bigcirc 30 |特別支援学校特別支援教育コーディネーター研修会 \bigcirc \odot \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc 31 | 特別支援学校養護教諭研修会 32 | 特別支援学校訪問教育・医療的ケア担当教員研修会 3年に一度実施 令和5年度は実施しない 3年に一度実施 令和5年度は実施しない 33 | 特別支援学校実習助手等研修会 \bigcirc \bigcirc 34 | 通 級 指 導 教 室 担 当 教 員 研 修 会 \bigcirc \bigcirc 0 0 \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc 35 | 特別支援学校教務主任・学部主事研修会 ◎ 義高 \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \odot \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc 36 | 福島県公立学校長研修会(地区別研修会) \bigcirc \bigcirc 1 幼稚園教育課程研究協議会 \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \odot \bigcirc \bigcirc 車 専 \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc 小学校教育課程研究協議会 課 \bigcirc \bigcirc \odot \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc 研 \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc 0 0 高教 高等学校教育課程講習会 研 修 \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc 特別支援学校教育課程運営改善講座 修 Ι 教育 \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc 特别支援学級教育課程研修会

◎特に向上を目指す資質・能力 ○向上を目指す資質・能力

 Π ステージ 学びの 教員としての 児童生徒の理解と指 教職員の協働と学校づくり 素養 創造 2 3 4 6 7 | 8 | 9 3 5 10 | 11 | 12 | 13 児 協社 個 児特 同 | 学 | と学 学 基 資 資 深 校 使 ・幅理本 学|授 確広県 び 働会に童 校校 校 僚 固い解の の 感 礎 質 質 化 ず性応り 組しのとり安 の 分類 研修名·講座名 生支 実 徒援 性 構 教教 生 家全 養と育 想 戍 充 発 のじ 形 るや 熱 徒 |力 庭へ |^必| の 副 の伸た と|評 課 の連! 倫社対題広 の要 の 価 長 実 展 成 向 育長対対対す 理 校 運 理会へ 地対 が 改 期 期 期 心観性応の 善 解成と 応応る 0 \bigcirc \bigcirc \bigcirc 幼 児 教 育 実 技 研 修 会 \bigcirc \bigcirc 特支 地域支援センター特別支援教育研修会 \bigcirc \odot \bigcirc \bigcirc \bigcirc 体育·保健体育指導力向上研修県中央研修 \bigcirc \bigcirc \bigcirc 10 │ 体 育・保 健 体 育 指 導 力 向 上 研 修 地 区 別 研 修 小・中・高学校体育担当者連絡協議会 \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc 課 「言葉による見方・考え方」を働かせ、深い学びを実現する 12 \bigcirc \bigcirc 語 「言葉による見方・考え方」を働かせ、深い学びを実現する 13 \bigcirc \bigcirc 校 国 語 授業改善に結び付く国語科の評価問題作成・研究講座 \bigcirc \odot 主体的・対話的で深い学びのための \bigcirc \bigcirc 言語活動を構想する国語科授業づくり講座 地域素材の教材化を通して 0 \bigcirc 授業が楽しくなる社会科講座 地理歴史科における地理総合・歴史総合の 17 \bigcirc \bigcirc 業 づくり 座 社会科・地理歴史科・公民科における社会に参画する力 \bigcirc 18 \bigcirc を育成する授業づくり講座 0 \bigcirc 算数科「数学的活動の充実を図る授業づくり」講座 教える授業から子どもが学ぶ授業に変わる \bigcirc \odot 観点別学習状況の評価に対応する \bigcirc \bigcirc 高等学校数学科単元・授業づくり講座 \bigcirc \bigcirc 22 | 新課程に対応した高等学校数学科統計授業づくり講座 尃 専 23 | 子どもが目を輝かせて学びを進める理科授業づくり講座 \odot \bigcirc \bigcirc \bigcirc 門 | 24 | 見方·考え方を豊かにする中学校理科教材づくり講座 教 25 科学的に探究する力を育成する理科授業づくり講座 \bigcirc \bigcirc 研 26 | 高 等 学 校 理 科 観 察 · 実 験 講 座 \bigcirc \bigcirc 育 研 修┃27│主体的に表現する児童を育てる小学校外国語講座 0 観点別学習状況の評価のための セ \bigcirc 28 \bigcirc 修 パフォーマンス評価実践講座 思考力、判断力、表現力を育成するための英語授業づくり \bigcirc 0 0 0 30 | 英語教員のための英語スキル向上研修| タ | | ○ ○ 下 で 変 わ る 音 楽 の 授 業 づくり 講 座 \bigcirc \bigcirc 31 (小 学 校 編 | C T で 変 わ る 音 楽 の 授 業 づくり 講 座 \bigcirc \bigcirc (中学・高等学校編) \bigcirc \bigcirc 33 │児童・生徒が音楽を好きになる!歌唱指導法講座 | ● | ● 思考力・判断力・表現力を育む 34 \bigcirc \bigcirc 器楽指導法講座(ギター編) \bigcirc 35 | 楽しみながら力を伸ばす図画工作科指導法講座 | ● \bigcirc 36 | 創造性を育む図画工作・美術の鑑賞指導法講座 | ● | ● \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc 37 | 創 造 性 を 育 む 美 術 の 表 現 指 導 法 講 座 | ● | ● 38 | 発 想 と 技 法 を 学 ぶ 書 道 実 技 講 座 | \bigcirc \bigcirc 0 0 39 | 運動が苦手な児童生徒のための体育指導講座 | ● | ● \bigcirc 1人1台端末を活用した保健体育の授業づくり講座┃●┃● \bigcirc \bigcirc 41 | 実践力を高める技術科講座(情報・エネルギー変換編) \bigcirc \bigcirc 42 家庭科の指導力向上をめざす基礎・基本講座(被服編) \bigcirc 43 | 保育に関する指導の充実をめざす家庭科講座 | \bigcirc 問題の発見・解決に向かうプログラミング指導講座 \bigcirc \bigcirc 0 Python · JavaScript 編)

◎特に向上を目指す資質・能力 ○向上を目指す資質・能力

 \blacksquare ステージ 学びの 教員としての 児童生徒の理解と指 教職員の協働と学校づくり 素養 創造 導 10 | 11 | 12 | 13 2 3 4 6 7 | 8 | 9 2 3 4 5 基 資 資 深 児 協社 個 児特 同 校 使 ・幅理本 学 |学||と学||学 確広県 び 校校 働会に単 校 僚 固の解の の 感 礎 質 質 化 ず性応 組のと安 \mathcal{O} 生支 分類 研修名·講座名 実 構 徒援 教 教 生 性 家全 養と育 想 戍 充 発 のじ 形 を るや 熱 徒 |力 庭へ ^必 の 副 課 لح 評 の連. 伸た 倫社対題広 の要 の の 価 長 実 展 成 向 育長対対対す 校 理 運 理会 地 対 へが 改 期 期 期 解 0 \bigcirc \bigcirc \bigcirc 学校教育相談基本講座 \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \odot \odot \bigcirc \bigcirc 学校が変わる!解決志向で取り組む教育相談実践講座 \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc 人間関係づくりに生かす予防・開発的教育相談講座 \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc スマホ時代のいじめの理解と対応講座 \odot \odot \bigcirc \bigcirc 0 不登校の理解と対応講座 \bigcirc \bigcirc \odot \bigcirc \bigcirc 教 50 | 校務処理に生かす表計算活用講座 \bigcirc \bigcirc \bigcirc 授業力向上のためのICT活用実践講座(義務系) \bigcirc \bigcirc \bigcirc 育 授業力向上のためのICT活用実践講座(高等学校系) \bigcirc \bigcirc 0 セ グループウェアで活用するクラウドサービス実践講座 \bigcirc \bigcirc 子どもたちが支え合い、高め合う学級をつくる \bigcirc 54 \bigcirc 級 活 動 座 放射線·防災教育指導力向上講座 0 \bigcirc \bigcirc \bigcirc 児童・生徒が自己の生き方を考えていく総合的な学習・探 \bigcirc \bigcirc 56 \bigcirc 究の時間授業づくり講座 \bigcirc \bigcirc 小学校プログラミング教育を取り入れた授業づくり講座 適切で責任ある行動力の育成を目指した情報モラル教育 \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc 専 子どもの成長を見取り評価に生かす小学校道徳科講座 \bigcirc \odot \bigcirc 子どもの成長を見取り評価に生かす中学校道徳科講座 \bigcirc \odot \bigcirc 門 専 \bigcirc \bigcirc 0 61|養護教諭のための指導力向上講座(救急処置編) \bigcirc 0 養護教諭のための指導力向上講座(保健教育編) 門一研 発達障がいのある幼児児童生徒の基礎的な理解と対応 \bigcirc \odot ~「 気 づ く 」か ら 始 め よ う ~ 発達障がいのある幼児・児童のライフステージに応じた支援 \bigcirc ~ 今 日 の 「 できた 」を 未 来 (あした) へ つ な げ る ~ 修 研 発障がいのある生徒のライフステージに応じた支援 65 \bigcirc \bigcirc ~ 豊かな現在(いま)が未来を拓く~ 相談(基礎編 0 \bigcirc 66 \bigcirc ~ わかり合うところがスタートライン~ 教育相談(応用編 \bigcirc \bigcirc \odot ~ チームでつくる笑顔の相談~ 特 指導に活かすアセスメント 0 0 0 0 0 68 もっと知りたい子どもたちのこと~ 早期からの一貫した教育支援 \bigcirc 0 0 支 ~教育的ニーズの整理と学びの充実~ 特別支援学級の授業の充実 援 \bigcirc 0 ~主体的に学べる授業を考えよう~ 教 自立活動の指導の充実(小学校、中学校、高等学校編) 71 \bigcirc \bigcirc \bigcirc 0 ~実態把握と具体的な指導内容の設定~ 育 自立活動の指導の充実(特別支援学校編) セ \bigcirc \bigcirc ~ 指 導 事 例 か ら 学 ぶ ~ 特別支援学校における教科指導の充実 73 \bigcirc \bigcirc 0 ~ 知 的 障 が い 国 語 編 ~ 重度・重複障がいのある子どもの学びを支える \bigcirc \bigcirc \bigcirc ~伝わる・伝えたい関係づくり~ 特別支援学校における授業の充実 \bigcirc \odot 0 75 ~確かな学びに向かう授業づくり~ 児童生徒の可能性や個性を伸ばす進路指導 0 \odot 76 ~ 一人一人の多様な幸せと進路実現に向けて~ 授業におけるICTの活用(基礎編) \bigcirc 0 ~ やってみよう!写真・動画を使った授業~ 授業におけるICTの活用(応用編) \bigcirc \bigcirc ~主体的な学びを支える実践の共有~ 専 79 指導担当者研究協議会 \bigcirc \bigcirc 0 \bigcirc \bigcirc \odot \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc 0 \bigcirc ◎ 義高 門 福島県小・中学校教育課程研究協議会 \bigcirc \bigcirc 0 \bigcirc \bigcirc \bigcirc 80 \bigcirc \bigcirc 義教

◎特に向上を目指す資質・能力 ○向上を目指す資質・能力

18

各教科等担当指導主事事前協議会

 \blacksquare

◎特に向上を目指す資質・能力 ○向上を目指す資質・能力 \blacksquare Π ステージ 学びの 教員としての 児童生徒の理解と指 教職員の協働と学校づくり 創造 導 素養 4 | 5 3 7 | 8 | 9 2 3 4 2 6 10 | 11 | 12 | 13 深 児 協社 個 児特 同 基 資 資 校 使 ・幅理本 学 学 と学 学 確広 働会に産った 県 び 校校 校 僚 童 固の解の の 長 感 組のと安 礎 質 質 化 す性応り の 分類 研修名·講座名 生支 実 教教 構 徒援 性 生 家全 情 管 践 養と育 想 発 のじ 形 成 充| るや 徒力 庭へ |^必| の 副 課 ٢ 、伸 た の要 評 の 連 . の 倫社対題広 の 価 実 展 戍 長 向 校 理 育長対対対す 運 地対 理会 が 改 期期 期 期 長 心観性応の 解 成と 応 応る 築 営 携域 応 全国へき地教育研究大会 \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc 義 外国人児童生徒等に対する日本語指導 \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc 成 小学校における外国 語 務 \bigcirc \bigcirc 成 \bigcirc \bigcirc \odot \bigcirc \bigcirc \odot \bigcirc 公立義務教育諸学校教員長期研修 \bigcirc \odot \bigcirc \odot 教 \bigcirc 教 育 進 研 \bigcirc \bigcirc \odot \bigcirc \odot 推 教 相 談 基 幹 研 修 \bigcirc \bigcirc 0 \odot \bigcirc \odot \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc 育 指 導 研 修 \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc 徒 基 幹 \bigcirc 生 徒 指 導 研 究 \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc 推進 協 議 \bigcirc \bigcirc 0 0 \bigcirc 幼 児 教 育 指 導 者 養 成 研 Ε \bigcirc 10 Ν 玉 大 会 \bigcirc \bigcirc 全 義 11 全国キャリア教育・進路指導担当者等研究協議会 \bigcirc \bigcirc \odot \odot \bigcirc \odot \bigcirc \bigcirc \bigcirc \odot \bigcirc \bigcirc 12 1 \bigcirc 0 \bigcirc \bigcirc \bigcirc \odot 教 教 員 研 \bigcirc \bigcirc 育 13 中 央 研 2 \bigcirc \bigcirc \bigcirc 課 \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc 14 | 産 業 · 情 報 技 術 等 指 導 者 養 成 事 業 \bigcirc 特 \bigcirc \bigcirc \odot \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc 15 キャリア教育指導者養成研修 \bigcirc 高 \bigcirc \bigcirc \bigcirc 伝 統 音 楽 指 導 者 研 16 校 別 \bigcirc \bigcirc 教 17 \bigcirc 美術館を活用した鑑賞教育の充実のための指導者研修 育 \bigcirc \bigcirc \bigcirc 0 \bigcirc \odot 18 学校組織マネジメント研 \bigcirc \odot \bigcirc \odot \bigcirc 研 課 \bigcirc \bigcirc \bigcirc 19 20 | 全国高等学校家庭クラブ指導者養成講座 \bigcirc 21 全国高等学校農業クラブ指導者養成講座 \bigcirc 課 22 | 通級による指導実施校研修会 \bigcirc \bigcirc \bigcirc \odot \bigcirc \bigcirc \bigcirc \odot \odot \bigcirc \bigcirc \bigcirc 体育、保健体育指導力向上研修 0 0 \bigcirc \circ 24 体力向上マネジメント指導者養成研修 康 25 食 育 指 導 者 養 成 研 修 \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc 教 健康教育指導者養成研 \bigcirc \bigcirc \circ \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc 27 学校安全指導者養成研 \circ \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc 課 28 | 学校給食の衛生管理に関する指導者講習会 0 \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc 0 0 29 | 国立特別支援教育総合研究所専門研修 \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc 特 30 | 交流及び共同学習推進指導者研究協議会 \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc 別 特別支援教育におけるICT活用に関わる 支 31 \bigcirc \bigcirc \bigcirc 指導者研究協議会 援 高等学校における通級による指導に関わる \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc 32 指 導 者 協 議 教 特別支援学校「体育・スポーツ」 育 令和4年度から休止 33 践 指 導 者 課 \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc \bigcirc 34 就 業 支 援 実 践 修

19

8 研修事業計画

(1)基本研修

① 初任者研修・新規採用者研修

		 研修名·講座名		(校種)		ı.	予定人数)			名
No.	п ->			S1 基礎形成期		63 資質充実期	S4 深化発		長·副校县	Ė
-	場所	期日・日数	目	的 (校種)	<u></u> 幼・こ	容	 予定人数)		·能力	Þ
1	幼稚園	<mark>圆等新規採用教員研</mark>	开修	() () () () () () () () () ()		(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1			k(まか25) k長・副校長	-
	(園内における研修)	10日		01 圣妮///从州	●各幼稚園等(7社会性	
	(園外における研修)	10日	 幼稚園等の新規採	用数員に対し	●日初作四社	<u>ы Бисог</u>	2.9112		8個の対	
	○集合研修	10 д	て、現職教育の一切	環として1年間					9特別支	-
	〈教育センター	7/5,8/17,8/18(3日)	の研修を実施し、 本的な心構え、幼児		●幼児教育の	甘7株 (4.1日:			10 同僚	
	オンライン〉 ○参観研修	3日	指導計画の作成と	展開、指導方	内容と方法、指	導計画の作	成、日日		11組織運	
			法等について講義、 行い、幼稚園等の教			拿方法、保育	育奓觀、			
	○地区別研修	3日	を含む)としての資		夫仅 守		6 9	三徒 埋 解	12地域連	_
+/_ 1	○選択研修	1日	る。						13学校安	全
教セ				/14.TZ\	d.	(TT 167	27 1 1 1 1 1	0.0	20	_
2	/J	<mark>\学校初任者研修</mark>		(校種) S1 基礎形成期	小 S2 資質成長期	(予定人数》 84 深化発		30 : : : : : : : : : : : : : : : : : : :	名
				(校種)	中		予定人数)			名
3	4	中学校初任者研修		S1 基礎形成期		33 資質充実期	S4 深化発力		· 長· 副校長	_
					●①教員の資	質向上 ②	· 授業参 ^{1 億}	上 命感等	7社会性	等
	(校内における研修)	120時間			観 ③研究授業	纟 ④生徒指	導。		8個の対	
					⑤教材·教具等 理 ⑦学校教育			、県課題	9 特 別 支	援
	 (校外における研修)	22日	-				4 =	が構想	10 同僚	件
	○地区別研修A	(7日)			●教師の心構	え、域内学	校教育 5.#	多業宝践	11組織運	一
	○地区別研修B	(9日)			の重点、カウン教育、特別支		き地校			
		(34)	新任教員に対して	現職教育の	育委員会の努	力目標、社		上处在州	13学校安	
			一環として1年間の)研修を実施		圖参観 等			13子仪女	±
	○ VINTE INT		し、基本的な心構え 方法等の基本的事							
	○一次研修		解を深め、実践的	指導力と使命						
	1・2日目 〈オンライン〉,3日目 〈磐梯青少年交流の家〉1班 2	5/16,5/17,5/30(3日) 5/16,5/17,5/31(3日)	感を養うとともに幅り得と、教員としての		●学校教育上	○○ 計 日日 日百 :	#A FB/r □			
	班	5/10,5/17,5/51(5 H)	図る。	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	●子校教育上の服務・勤務、					
	○二次研修				導の基礎・基本 放射線・防災勢	、特別支援	教育、			
	•小1班	7/21,8/1,9/14(3日)			放射線・防災勢法と実際、教員		期の万			
	·小2班 ·小3班	7/21,8/2,9/19(3日) 7/21,8/3,9/26(3日)			●新任教員に 研修、教員自	望むこと、教	科指導			
	〈教育センター オンライン〉				ス、情報教育		/ / / / / /			
教セ	·中1班	7/26,7/27,9/6(3日)								
教化	・中2班 〈教育センター オンライン〉	7/26,7/28,9/7(3日)								
4	宣	等学校初任者研修		(校種)	高	(研修	予定人数)	4	.5	名
'	IBJ			S1 基礎形成期		33 資質充実期	S4 深化発		表·副校县	
					●①教員の資 観 ③研究授業		道 ⑤			
	(校内における研修)	150時間			教材等の活用		理 ⑦		8個の対	
					学校教育全般		3 2	見課題	9特別支	援
	(校外における研修)	22日	to be tel .	with might short of the			4 ≒	どび構想	10 同僚	性
	○教育センター研修		新任教員に対して 一環として1年間の				5 担	受業実践	11組織運	堂
	〈教育センター オンライン〉	4/4-4/5(2日)	し、基本的な心構え	、教育内容•	●教員としての	心構え、教	職員の6生	E 徒 理 解	12地域連	携
	•基本研修 •一次研修	4/4-4/5(2日) 4/18,4/19,4/26(3日)	方法等の基本的事解を深め、実践的	指導力と使命	導、生徒指導、	教員自身∅	りメンタ		13学校安	全
	•二次研修	1/31,2/7,2/8(3日)	感を養うとともに幅り	ない知見の習	ルヘルス、情報	3教育、放射	†線・防			
	○教科別研修		得と、教員としての図る。	貝負の同上を	●授業参観、持	受業研究				
	•1班	8/30-9/1(3日)			●社会奉仕等グ、特別活動、					
	•2班	9/11-9/13(3日)			ク、特別活動、における授業参		凹仪性			
	○地区別研修A	(7日)								
教セ	○地区別研修B	(4日)								
J,	- 1-44000	\- F /	1		l					

N-		研修名·講座名		(校種)	00 7555 15 5 45	(研修予		名
No.	場 所	期日・日数	B	S1 基礎形成期 的	S2 資質成長期 内	S3 資質充実期 S 容	4 深化発展期	_{校長・副校長} 質・能力
	,. ,	274.7 . 22.2	1.	(校種)	小・中・高・特式			18 名
5	新規	見採用養護教諭研修	*	S1 基礎形成期			4 深化発展期	校長·副校長
	(校内における研修)	15日			●各学校の計画	画による研修	1使命感	等7社会性等
	(校外における研修)	14日					2 教 養	等8個の対応
	○地区別研修A(小・中)(高)	(6日)			●一般研修(基 リング研修、特			題 9 特 別 支 援
	○地区別研修B(小·中)(高)	(2日)	der 10 to 10 to 24 day	-A	企業等体験・社	上会奉仕等体	験研 4字 5 情	想 10 同 僚 性
	○特別支援教育センター研修(特)	(5日)	新規採用の養護教基本的な心構え、着		修、学校訪問研	F修 等	*********	践 11組織運営
	○地区別研修(特)	(3日)	務の基本的事項に				6生徒理:	解 12地域連携
	○一次研修(小·中·高·特)	(3日)	深め、専門的知識・ 及び使命感を養うと	ともに、幅広	●学校教育上の	諸問題、教職員	の服	13学校安全
	1・2日目 〈各所属校〉,3日目 〈磐梯青少年交流の家〉	5/16,5/17,5/31(3日)	い知見の習得と、養の資質の向上を図る	護教諭として	務·勤務、教科指 基本、特別支援	導・生徒指導の	基礎・	
	○専門領域研修(小・中・高・特支)	(2日)	の負負の同工を囚る	0	育、体験活動、教	(員の心構え		
	〈教育センター・オンライン〉	8月3日・4日(2日)			●専門領域研修 課題、児童生徒	の疾病理解、学	:校に	
	〇二次研修(小·中·高·特支)	(1日)			おける救急処置、ヘルスの理解と対		/タル	
教セ	〈教育センター〉	2月6日						
6	新規技	<mark>采用学校栄養職員研</mark>	开修	(校種) S1 基礎形成期	小·中·市立特		定人数)	3 名 校長·副校長
	(学校等内研修)	15日		PATE	●各学校等の計			等7社会性等
	(学校等外研修)	13日			●指導の重点・力		0 # #	等8個の対応
	○地区別研修A	(4日)			問題、特別支援	学校研修、他校	園参 3本県課	題 9特別支援
	○地区別研修B	(3日)		V	観研修、企業等 業務、給食指導	業務、食事環境	の整 4 学び構	想 10 同 僚 性
			新規採用の学校栄養の実施を表現で、職務を円滑に遂	養職員に対し 行するため採	備・工夫、個別指 庭・地域との連携	音導の実際、学校 、衛生管理体制	交・家 の在 ^{5 授業実}	践 11組織運営
			用年度に研修を行	ハ、専門的知				解 12地域連携
	〇一次研修	(3日)	識・実践的指導力及 養うとともに、幅広い		●学校教育上の	接問題 <u></u>	の眼	13学校安全
	1・2日目〈各所属校〉,3日目	5/16,5/17,5/31(3日)	と、学校栄養職員と向上を図る。	しての資質の	務·勤務、教科指	導・生徒指導の	基礎・	
	〈磐梯青少年交流の家〉	5/10,5/17,5/51(5 H)	円上を囚る。		基本、特別支援教育、体験活動、教	職員の心構え		
	○専門領域研修	(3日)			●専門領域研修 実際、学校栄養!			
	〈教育センター・各所属校〉	8月29日-31日(3日)			学校給食の衛生職員自身のメンタ	管理·栄養管理	里、教	
教セ					19024 11 21 22 4 7			
				(+ ;, 14.)	4+-	(TII 164 V		40 7
7	特別	支援学校初任者研	<u>修</u>	(校種) S1 基礎形成期	特支 \$2 資質成長期	(研修予) 83 資質充実期 S		40 名 校長·副校長
	特別 (校内における研修)	支援学校初任者研 150時間以上	 <mark>修 </mark>		S2 資質成長期 ●各学校の計画	33 資質充実期 S 画による。	定人数) 64 深化発展期 1 使命感	40 名 校長·副校長 等 7社会性等
			<mark>修</mark>		S2 資質成長期	33 資質充実期 S 画による。 心点校指導教	定人数) 4 深化発展期 1 使命感	校長·副校長
	(校内における研修)	150時間以上	 <mark>修</mark> 		\$2 資質成長期●各学校の計画※指導教員、	33 資質充実期 S 画による。 処点校指導教」 童生徒の障が	定人数) 4 深化発展期 1 使命感 員等 いの	校長・副校長 7社会性等
	(校内における研修) (校外における研修)	150時間以上	6		S2 資質成長期 ●各学校の計画 ※指導教員、担 による指導(児	33 資質充実期 S 画による。 処点校指導教」 童生徒の障が	定人数) 44深化発展期 1使命感 員等 いの 3本県課	校長·副校長 等7社会性等 8個の対応
	(校内における研修) (校外における研修) ○宿泊研修 ・一次研修〈初任者配置特別支援学校・特別支援教育セン	150時間以上 22日	新任教員に対して、	現職研修の	S2 資質成長期 ●各学校の計画 ※指導教員、地 による指導(児 理解、授業参額	3 責質充実期 S 画による。 処点校指導教 童生徒の障が 礼、研究授業等	定人数) 4 深化発展期 1 使命感 2 教養 3 本県課 4 学び構 5 授業実	校長・副校長 等 7社会性等 等 8個の対応 題 9特別支援
	(校内における研修) (校外における研修) (校外における研修) (宿泊研修 ・一次研修(初任者配置特別支援学校・特別支援教育センター・磐梯青少年交流の家) ・二次研修(初任者配置特別支援学校・特別支援教育セン	150時間以上 22日 7/25-7/27(3日) 1/31-2/2(3日)	新任教員に対して、 一環として1年間の し、教育公務員とし	・現職研修の の研修を実施 ての心構え、	82 資質成長期 ●各学校の計『 ※指導教員、技による指導(児理解、授業参観 ●教員としての ※ 倫本知知 た た た た た た た た た た た た た た か た た れ れ れ れ	33 責策実期 8 国による。 型点校指導教 童生徒の障が は、研究授業等	定人数) 4 深化発展期 1 使命感 2 教養 3 本県課 4 学び構 5 授業実	校長·副校長 等 7社会性等 等 8個の対応 題 9特別支援 想 10 同僚性 践 11組織運営
	(校内における研修) (校外における研修) (校外における研修) ○宿泊研修 ・一次研修〈初任者配置特別支援学校・特別支援教育センター・磐梯青少年交流の家〉・二次研修〈初任者配置特別支援学校・特別支援教育センター〉	150時間以上 22日 7/25-7/27(3日) 1/31-2/2(3日)	新任教員に対して、 一環として1年間の し、教育公務員とし 特別支援学校の教	現職研修の施 の研修を構え、 育内容・方法	82 資質成長期 ●各学校の計削 ※指導教員、技 による指導 理解、授業参 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	33 責質充実期 S 国による。 処点校指導教が 電上徒の障が 電上徒の職業等 の心構え、服務 特別支援教育課程	定人数) 4 深化発展期 1 使命感 2 教 養 3 本 県課 4 学 び 構 5 授業 5 授業 のの現	校長·副校長 等 7社会性等 等 8個の対応 題 9特別支援 想 10 同僚性 践 11組織運営
	(校内における研修) (校外における研修) (校外における研修) (宿泊研修 ・一次研修〈初任者配置特別支援学校・特別支援教育センター・磐梯青少年交流の家〉・二次研修〈初任者配置特別支援学校・特別支援教育センター)	150時間以上 22日 7/25-7/27(3日) 1/31-2/2(3日) 一等における研修	新任教員に対して、 一環として1年間の し、教育公務員とし 特別支援学校の教 等に関する実践的 感を養うとともに幅広	S1 基礎形成期 現職 研修を構 のでの一次で で ので で り ので の で り で の で の で り で り で の り で り で	82 資質成長期 ●各学校の計『 ※指導教員、技による指導を担解、授業を ●教員としての 務、一学習理解、が 以上ので、特別では、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	33 責 元 表 期 8 国による。 動による。 動点を指 道 教 が 記 。 研 究 授 業 等 の 心 構 え 、 教 育 限	定人数) 4 深化発展期 1 使命 整 2 教 集課 4 学 び 構 5 授 業 理 シの 別児 保・福	校長·副校長 等 7 社会性等 等 8 個の対応 題 9 特別支援 想 10 同 僚性 践 11組織運営 解 12地域連携
	(校内における研修) (校外における研修) ○宿泊研修 ・一次研修〈初任者配置特別支援学校・特別支援教育センター・磐梯青少年交流の家〉・二次研修〈初任者配置特別支援学校・特別支援教育センター〉 ○特別支援教育センター・一般研修	150時間以上 22日 7/25-7/27(3日) 1/31-2/2(3日) 一等における研修	新任教員に対して、 一環として1年間の し、教育公務員とし 特別支援学校の教 等に関する実践的	S1 基礎形成期 現職 研修を構 のでの一次で で ので で り ので の で り で の で の で り で り で の り で り で	82 資質成長期 ● 各学校の計『 ※指導な過剰を対しての ・ おります。 ・ おります。 ・ おります。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	高貴氏実期 国による。 連点を指の障業 連点を指ので変 を が、 が、 が、 が、 が、 が、 を を を が、 が、 を を を を を を を を を を を を を	定人数) 4 深化発展期 1 使命感 2 教養 3 本県課 4 学び構 5 授業 理 6 生 徒 理 で 4 様 年 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1 を 1	校長·副校長 等 7 社会性等 等 8 個の対応 題 9 特別支援 想 10 同 僚性 践 11組織運営 解 12地域連携
	(校内における研修) (校外における研修) ○宿泊研修 ・一次研修〈初任者配置特別支援学校・特別支援教育センター・磐梯青少年交流の家)・二次研修〈初任者配置特別支援学校・特別支援教育センター) ○特別支援教育センター・一般研修 〈コミュタン福島〉	150時間以上 22日 7/25-7/27(3日) 1/31-2/2(3日) 一等における研修 4/12-4/13(2日)	新任教員に対して、 一環として1年目の し、教育公務員とし 特別支援学校の教 等に関する実践的 感を養うとともに幅広 せ、教員としての資	S1 基礎形成期 現職 研修を構 のでの一次で で ので で り ので の で り で の で の で り で り で の り で り で	S2 資質成長期 ●各学校の計形 (別様の) (別様	高貴荒実期 国による。 型にはを指り障業 型にを指りで ででででで、 ででででで、 がは、 を持りいと教育にできる。 ではいい。 の心構え、、 を持りいと教育にできる。 でいたと関すい、 といいのでは、 といいのでは、 ではいいのでは、 といいのでは、 といいのでは、 ではいいのではいいのでは、 ではいいのでは	定人数) 4 深化発展期	校長·副校長 等 7 社会性等 等 8 個の対応 題 9 特別支援 想 10 同 僚性 践 11組織運営 解 12地域連携
	(校内における研修) (校外における研修) ○宿泊研修 ・一次研修〈初任者配置特別支援学校・特別支援教育センター・磐梯青少年交流の家〉・二次研修〈初任者配置特別支援教育センター) ○特別支援教育センター・一般研修 〈コミュタン福島〉・カウンセリング研修	150時間以上 22日 7/25-7/27(3日) 1/31-2/2(3日) 一等における研修 4/12-4/13(2日)	新任教員に対して、 一環として1年目の し、教育公務員とし 特別支援学校の教 等に関する実践的 感を養うとともに幅広 せ、教員としての資	S1 基礎形成期 現職 研修を構 のでの一次で で ので で り ので の で り で の で の で り で り で の り で り で	82 資質成長期 ● 各学校の計形 ※ 1 ※ 1 ※ 1 ※ 1 ※ 1 ※ 1 ※ 2 ※ 1 ※ 2 ※ 1 ※ 2 ※ 1 ※ 2 ※ 1 ※ 2 ※ 1 ※ 2 ※ 1 ※ 2 ※ 1 ※ 2 ※ 1 ※ 2 ※ 1 ※ 2 ※ 2	高貴荒実期 国による。 型にはを指り障業 型にを指りで ででででで、 ででででで、 がは、 を持りいと教育にできる。 ではいい。 の心構え、、 を持りいと教育にできる。 でいたと関すい、 といいのでは、 といいのでは、 ではいいのでは、 といいのでは、 といいのでは、 ではいいのではいいのでは、 ではいいのでは	定人数) 4 深化発展期	校長·副校長 等 7 社会性等 等 8 個の対応 題 9 特別支援 想 10 同 僚性 践 11組織運営 解 12地域連携
	(校内における研修) (校外における研修) (校外における研修) ○宿泊研修 ・一次研修〈初任者配置特別支援学校・特別支援教育センター・磐梯青少年交流の家〉・二次研修〈初任者配置特別支援教育センター〉 ○特別支援教育センター・一般研修 〈コミュタン福島〉・カウンセリング研修 〈特別支援教育センター〉・教育課程別研修 (初任者配置当番校)	150時間以上 22日 7/25-7/27(3日) 1/31-2/2(3日) 一等における研修 4/12-4/13(2日) 6/7-6/8(2日) 9/6(1日)	新任教員に対して、 一環として1年目の し、教育公務員とし 特別支援学校の教 等に関する実践的 感を養うとともに幅広 せ、教員としての資	S1 基礎形成期 現職 研修を構 のでの一次で で ので で り ので の で り で の で の で り で り で の り で り で	S2 責質成長期 ●各学校の計1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1	高貴荒実期 国による。 型にはを指り障業 型にを指りで ででででで、 ででででで、 がは、 を持りいと教育にできる。 ではいい。 の心構え、、 を持りいと教育にできる。 でいたと関すい、 といいのでは、 といいのでは、 ではいいのでは、 といいのでは、 といいのでは、 ではいいのではいいのでは、 ではいいのでは	定人数) 4 深化発展期	校長·副校長 等 7 社会性等 等 8 個の対応 題 9 特別支援 想 10 同 僚性 践 11組織運営 解 12地域連携
	(校内における研修) (校外における研修) ○宿泊研修 ・一次研修(初任者配置特別支援学校・特別支援教育センター・磐梯青少年交流の家) ・二次研修(初任者配置特別支援学校・特別支援教育センター) ○特別支援教育センター・一般研修 〈コミュタン福島〉 ・カウンセリング研修 〈特別支援教育センター〉 ・教育課程別研修 (初任者配置当番校) ・学部別研修	150時間以上 22日 7/25-7/27(3日) 1/31-2/2(3日) 一等における研修 4/12-4/13(2日) 6/7-6/8(2日)	新任教員に対して、 一環として1年目の し、教育公務員とし 特別支援学校の教 等に関する実践的 感を養うとともに幅広 せ、教員としての資	S1 基礎形成期 現職 研修を構 のでの一次で で ので で り ので の で り で の で の で り で り で の り で り で	S2 責質成長期 ●各学校の計1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1	高貴荒実期 国による。 型にはを指り障業 型にを指りで ででででで、 ででででで、 がは、 を持りいと教育にできる。 ではいい。 の心構え、、 を持りいと教育にできる。 でいたと関すい、 といいのでは、 といいのでは、 ではいいのでは、 といいのでは、 といいのでは、 ではいいのではいいのでは、 ではいいのでは	定人数) 4 深化発展期	校長·副校長 等 7 社会性等 等 8 個の対応 題 9 特別支援 想 10 同 僚性 践 11組織運営 解 12地域連携
7	(校内における研修) (校外における研修) ○宿泊研修 ・一次研修〈初任者配置特別支援学校・特別支援教育センター・磐梯青少年交流の家〉・二次研修〈初任者配置特別支援学校・特別支援教育センター) ○特別支援教育センター・一般研修 〈コミュタン福島〉・カウンセリング研修 〈特別支援教育センター〉・教育課程別研修 (初任者配置当番校)・学部別研修 (初任者配置当番校)	150時間以上 22日 7/25-7/27(3日) 1/31-2/2(3日) 一等における研修 4/12-4/13(2日) 6/7-6/8(2日) 9/6(1日) 11/8(1日)	新任教員に対して、 一環として1年目の し、教育公務員とし 特別支援学校の教 等に関する実践的 感を養うとともに幅広 せ、教員としての資	S1 基礎形成期 現職 研修を構 のでの一次で で ので で り ので の で り で の で の で り で り で の り で り で	S2 責質成長期 ●各学校の計1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1	高貴荒実期 国による。 型にはを指り障業 型にを指りで ででででで、 ででででで、 がは、 を持りいと教育にできる。 ではいい。 の心構え、、 を持りいと教育にできる。 でいたと関すい、 といいのでは、 といいのでは、 ではいいのでは、 といいのでは、 といいのでは、 ではいいのではいいのでは、 ではいいのでは	定人数) 4 深化発展期	校長·副校長 等 7 社会性等 等 8 個の対応 題 9 特別支援 想 10 同 僚性 践 11組織運営 解 12地域連携
7	(校内における研修) (校外における研修) ○宿泊研修 ・一次研修(初任者配置特別支援学校・特別支援教育センター・磐梯青少年交流の家) ・二次研修(初任者配置特別支援学校・特別支援教育センター) ○特別支援教育センター・一般研修 〈コミュタン福島〉 ・カウンセリング研修 〈特別支援教育センター〉 ・教育課程別研修 (初任者配置当番校) ・学部別研修 (初任者配置当番校) ・地区別研修	150時間以上 22日 7/25-7/27(3日) 1/31-2/2(3日) 一等における研修 4/12-4/13(2日) 6/7-6/8(2日) 9/6(1日) 11/8(1日) 4月~3月(10日)	新任教員に対して、 一環として1年目の し、教育公務員とし 特別支援学校の教 等に関する実践的 感を養うとともに幅広 せ、教員としての資	S1 基礎形成期 現職修を構成のでで で ので ので ので の で り で り で り で り で り で り	S2 資質成長期 ●各学校の員に理解、授業を持る指授業 ●教・学・教・学・教・学・教・学・教・学・教・学・教・教・教・学・教・教・教・教	高 責 充実期 国による。 型 に は で で で で で で で で で で で で で で で で で で	定人数 4 深心発展期 感	校長・副校長 等 7 社会性等 第 8 個の対応 題 9 特別支援 想 10 同僚性 践 11組織運営 解 12地域連携 13学校安全
7	(校内における研修) (校外における研修) ○宿泊研修 ・一次研修(初任者配置特別支援学校・特別支援教育センター・磐梯青少年交流の家) ・二次研修(初任者配置特別支援学校・特別支援教育センター) ○特別支援教育センター・一般研修 〈コミュタン福島〉 ・カウンセリング研修 〈特別支援教育センター〉 ・教育課程別研修 (初任者配置当番校) ・学部別研修 (初任者配置当番校) ・地区別研修	150時間以上 22日 7/25-7/27(3日) 1/31-2/2(3日) 一等における研修 4/12-4/13(2日) 6/7-6/8(2日) 9/6(1日) 11/8(1日)	新任教員に対して、 一環として1年目の し、教育公務員とし 特別支援学校の教 等に関する実践的 感を養うとともに幅広 せ、教員としての資	S1 基礎形成期 現職 研修を構 のでの一次で で ので で り ので の で り で の で の で り で り で の り で り で	82 資質成長期 ●各 (高音質充実期 国による。導等 動に を 地点 生徒 の 地点 生徒 の で で を が に の に と の に の に	定人数 4 深心発展期 感	校長·副校長 等 7 社会性等 等 8 個の対応 題 9 特別支援 想 10 同 僚 性 践 11組織運営 解 12地域連携
7	(校内における研修) (校外における研修) ○宿泊研修 ・一次研修(初任者配置特別支援学校・特別支援教育センター・磐梯青少年交流の家) ・二次研修(初任者配置特別支援学校・特別支援教育センター) ○特別支援教育センター・一般研修 〈コミュタン福島〉 ・カウンセリング研修 〈特別支援教育センター〉 ・教育課程別研修 (初任者配置当番校) ・学部別研修 (初任者配置当番校) ・地区別研修	150時間以上 22日 7/25-7/27(3日) 1/31-2/2(3日) 一等における研修 4/12-4/13(2日) 6/7-6/8(2日) 9/6(1日) 11/8(1日) 4月~3月(10日)	新任教員に対して、 一環として1年目の し、教育公務員とし 特別支援学校の教 等に関する実践的 感を養うとともに幅広 せ、教員としての資	明職研 の研修を構 のので の内の の で の の で の の で り で り で り で り で り で り	82 資質成長期 ●各 (高音質充実期 国による。導等 動に を 地点 生徒 の 地点 生徒 の で で を が に の に と の に の に	定人数) 4 深化発展期 感 養 課 1 使 教 県 県	校長・副校長 等 7 社会性等 第 8 個の対支援 想 10 同僚性 践 11組織運営 解 12地域連携 13学校安全
7	(校内における研修) (校外における研修) ○宿泊研修 ・一次研修(初任者配置特別支援学校・特別支援教育センター・磐梯青少年交流の家) ・二次研修(初任者配置特別支援教育センター) ○特別支援教育センター・一般研修 〈コミュタン福島〉 ・カウンセリング研修 〈特別支援教育センター〉 ・教育課程別研修 (初任者配置当番校) ・学部別研修 (初任者配置当番校) ・地区別研修	150時間以上 22日 7/25-7/27(3日) 1/31-2/2(3日) 一等における研修 4/12-4/13(2日) 6/7-6/8(2日) 9/6(1日) 11/8(1日) 4月~3月(10日)	新任教員に対して、 一環として1年目の し、教育公務員とし 特別支援学校の教 等に関する実践的 感を養うとともに幅広 せ、教員としての資	明職研 の研修を構 のので の内の の で の の で の の で り で り で り で り で り で り	S2 資質成長期 ● 各	3 責責充実期 S	定人 4 深化発展期 感 養 課 名 学 の 3 本 学 が 第 集 報 集 生 を の 1 を 変 ま ま で の 1 を を 変 ま で の 1 を を 変 ま で の 1 を を 変 ま で の 1 を を 変 ま で の 1 を を 変 か 見 順 命 を 養 ま で の 1 を 変 か 見 順 命 を 養 ま で の 1 を 変 か 見 順 命 を 養 で な で の 1 を 変 か 見 順 命 を 養 で な で の 1 を 変 か 見 順 命 を 養 で の 1 を 変 か 見 順 命 を 養 で の 1 を 変 か り 見 に を 変 か り 見 に な で の 1 を 変 か り 見 に な で の 1 を 変 か り 見 に な で の 1 を 変 か り 見 に な で の 1 を 変 か り 見 に な で の 1 を 変 か り 見 に な で の 1 を 変 か り 見 に な で の 1 を 変 か り 見 に な で の 1 を 変 か り 見 に な で の 1 を 変 か り 見 に な で の 1 を 変 か り 見 に な か り し に な か り 見 に な か り 見 に な か り し に な か り 見 に な か り し に な か り し に な か り し に な か り し に な か り 見 に な か り し に な か り し に な か り し に な か り し に な か り し に な か り に な な か り に な か り に な な か り に な か り に な か り に な か	校長・副校長 等 7 社会性等 7 社会性等 8 個の対支援 想 10 同僚性 践 11組織運営 解 12地域連携 13学校安全 14 名 校長・副校長 7 社会性等
7	(校内における研修) (校外における研修) (校外における研修) ○宿泊研修 ・一次研修〈初任者配置特別支援学校・特別支援教育センター・磐梯青少年交流の家〉・二次研修〈初任者配置特別支援学校・特別支援教育センター)・粉別支援教育センター・一般研修 〈コミュタン福島〉・カウンセリング研修 〈特別支援教育センター〉・教育課程別研修 〈特別支援教育センター〉・教育課程別研修 (初任者配置当番校)・学部別研修 (初任者配置当番校)・地区別研修	150時間以上 22日 7/25-7/27(3日) 1/31-2/2(3日) 一等における研修 4/12-4/13(2日) 6/7-6/8(2日) 9/6(1日) 11/8(1日) 4月~3月(10日) 示規採用職員研修 前期と後期両方受講	新任教員に対して、 一環として1年員の し、教育公務長とし、 特に関する実践に関する実践に対して、 の資子といる。	S1 基礎形成期 現職を本構方使得知の の施ったを表 の施ったををを の施ったををを の施ったををを の施ったををを の施ったををを の施ったををを の施ったををを の施ったををを の施ったををを の施ったををを の施ったとををを のがでのない。 のがでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでので	S2 責質成長期 ● 務	3 責責充実期 S	定人 (本深化発 (等の) (3本) (3本) (4) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4	校長・副校長 等 7 社会性等 7 社会性等 8 個の対支援 想 10 同僚性 践 11組織運営 解 12地域連携 13学校安全 14 名 校長・副校長 7 社会性等
7	(校内における研修) (校外における研修) (校外における研修) ○宿泊研修 ・一次研修(初任者配置特別支援学校・特別支援教育センター・磐梯青少年交流の家) ・二次研修(初任者配置特別支援教育センター) ○特別支援教育センター・一般研修 〈コミュタン 福島〉 ・カウンセリング研修 〈特別支援教育センター〉 ・教育課程別研修 (初任者配置当番校) ・学部別研修 (初任者配置当番校) ・地区別研修 (校外における研修) ○ふくしま	150時間以上 22日 7/25-7/27(3日) 1/31-2/2(3日) 一等における研修 4/12-4/13(2日) 6/7-6/8(2日) 9/6(1日) 11/8(1日) 4月~3月(10日) 5規採用職員研修 前期と後期両方受講 前期(4/上旬~5/下旬)	新任教員に対しての 一では、教育として1年した。教育接として1年間とし、教育接合を変をを表しての 等に養うとともにの資 感を教員としての資 る。 自治し、の る。 自他立、発 る。	S1 基礎形成期 現職修を構方使得知の向で、法命されて育者が質の方式を構力見上をををををををををををををををををををしている。 「なり、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは	S2 責質成長期 計1. 児 報	国 責	大	校長・副校長 等 7 社会性等 等 8 個の対応 題 9 特別支援 想 10 同僚性 践 11組織運営 解 12地域連携 13学校安全 14 会 校長・副校長 等 7 社会性等 等 8 個の対応
7	(校内における研修) (校外における研修) (校外における研修) ○宿泊研修 ・一次研修(初任者配置特別支援学校・特別支援教育センター・磐梯青少年交流の家) ・二次研修(初任者配置特別支援教育センター) ○特別支援教育センター・一般研修 〈コミュタン 福島〉 ・カウンセリング研修 〈特別支援教育センター〉 ・教育課程別研修 (初任者配置当番校) ・学部別研修 (初任者配置当番校) ・地区別研修 (校外における研修) ○ふくしま	150時間以上 22日 7/25-7/27(3日) 1/31-2/2(3日) 一等における研修 4/12-4/13(2日) 6/7-6/8(2日) 9/6(1日) 11/8(1日) 4月~3月(10日) 5規採用職員研修 前期と後期両方受講 前期(4/上旬~5/下旬)	新任教員に対しての 対して1年間と 教育援として3等接受を表する。 自確立、教育ととしての は、別財関・としての である。 を教員としての は、別関・などもしての である。 を教員としての は、別が、の は、といってる。 である。 のの関係を である。 ののである。	S1 基礎形成期 現職修を構方使得知の向で、法命されて育者が質の方式を構力見上をををををををををををををををををををしている。 「なり、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは	S2 責質が成長期 計1.児 報 ●務状童社教●授●修	3 責充表別 責充表別 責充表別 通になせた。 道になせたで、 一体では、 一は、 一は、 一は、 一は、 一は、 一は、 一は、 一	定 2 3 4 5 7 7 7 7 7 7 7 7 7	校長・副校長 等 7 社会性等 第 8個の対支援 想 10 同僚性 践 11組織運営 解 12地域連携 13学校安全 14 校長・副校長等 7 社会の対支援 類 9 特別 僚性 週 9 特別 僚性 週 9 特別 僚性
7	(校内における研修) (校外における研修) (校外における研修) ○宿泊研修 ・一次研修(初任者配置特別支援学校・特別支援教育センター・磐梯青少年交流の家) ・二次研修(初任者配置特別支援教育センター) ○特別支援教育センター・一般研修 〈コミュタン 福島〉 ・カウンセリング研修 〈特別支援教育センター〉 ・教育課程別研修 (初任者配置当番校) ・学部別研修 (初任者配置当番校) ・地区別研修 (校外における研修) ○ふくしま	150時間以上 22日 7/25-7/27(3日) 1/31-2/2(3日) 一等における研修 4/12-4/13(2日) 6/7-6/8(2日) 9/6(1日) 11/8(1日) 4月~3月(10日) 5規採用職員研修 前期と後期両方受講 前期(4/上旬~5/下旬) 3日間	新任教員に対しての 一では、教育として1年した。教育接として1年間とし、教育接合を変をを表しての 等に養うとともにの資 感を教員としての資 る。 自治し、の る。 自他立、発 る。	S1 基礎形成期 現職修を構方使得知の向で、法命されて育者が質の方式を構力見上をををををををををををををををををををしている。 「なり、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは	S2 資質成長期 計1. 児 報 ● 務 状 童 社 教 ● 授 ● 修	国 章 記 記 章 記 記 章 記 章 記 記 章 記 記 章 記 記 記 章 記 記 記 主 研 書 記 記 記 主 研 書 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記	定 本 本 本 本 本 本 本 本 本	校長・副校長 等 7 社会性等 第 8個の対支援 想 10 同僚性 践 11組織運営 解 12地域連携 13学校安全 14 校長・副校長 7 社会の対支援 7 社会の対支援 9 特別 僚性 10 同僚性
7	(校内における研修) (校外における研修) (校外における研修) ○宿泊研修 ・一次研修(初任者配置特別支援学校・特別支援教育センター・磐梯青少年交流の家) ・二次研修(初任者配置特別支援教育センター) ○特別支援教育センター・一般研修 〈コミュタン 福島〉 ・カウンセリング研修 〈特別支援教育センター〉 ・教育課程別研修 (初任者配置当番校) ・学部別研修 (初任者配置当番校) ・地区別研修 (校外における研修) ○ふくしま	150時間以上 22日 7/25-7/27(3日) 1/31-2/2(3日) 一等における研修 4/12-4/13(2日) 6/7-6/8(2日) 9/6(1日) 11/8(1日) 4月~3月(10日) 5規採用職員研修 前期と後期両方受講 前期(4/上旬~5/下旬) 3日間 後期(期間未定)	新任教員に対しての 対して1年間と 教育援として3等接受を表する。 自確立、教育ととしての は、別財関・としての である。 を教員としての は、別関・などもしての である。 を教員としての は、別が、の は、といってる。 である。 のの関係を である。 ののである。	S1 基礎形成期 現職修を構方使得知の向で、法命されて育者が質の方式を構力見上をををををををををををををををををををしている。 「なり、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは	S2 責負 (大)	国 章 記 記 章 記 記 章 記 章 記 記 章 記 記 章 記 記 記 章 記 記 記 主 研 書 記 記 記 主 研 書 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記 記	定 本 本 本 本 本 本 本 本 本	校長・副校長 等 8 個 の 別支援 想 10 同 條 財 11組織域域 13学校安全 14 (1) 日本 14 (1) 日本 15 (1) 日本 16 (1) 日本 17 (1) 日本 10 (1) 日本 11 (1) 日本 12 (2) 日本 13 (2) 日本 14 (2) 日本 15 (3) 日本 16 (4) 日本 17 (2) 日本 18 (1) 日本 11 (1) 日本 12 (1) 日本 12 (1) 日本 13 (1) 日本 14 (2) 日本 15 (3) 日本 16 (3) 日本 17 (4) 日本 18 (1) 日本 19 (2) 日本 10 (3) 日本 11 (4) 日本 12 (4) 日本 12 (4) 日本 13 (4) 日本 14 (4) 日本 15 (4) 日本 16 (4) 日本 17 (4) 日本 18 (4) 日本 19 (4) 日本 10 (4)

② 2年次教員フォローアップ研修

		研修名·講座名		(校種)		(研修	予定人数	数)	名
No.				S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化	発展期	交長·副校長
	場所	期日・日数	目	的	内				·能力
9	小学校2年	F次教員フォローアッ	ップ研修	(校種)	/]\		予定人数		20 名
	(校内における研修)	30時間		S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	\$4 深化		交長·副校長 7社会性等
		71.7	<u> </u> -						1
	(校外における研修)	3日	初任者研修を修了			質向上			8個の対応
	〇地区別研修	(2目)	して、現職教育の一間の研修を実施し、		②課題研究				9特別支援
	○教科等指導研修	- 4 4 >	た基礎的な力を、同	日々の教育実	③研究授業	等	-		10 同僚性
	•1班	6/14(1日)	践に生きる確かな資 高める。	負や肥力へと	① 企業寺体				11組織運営
+/ .	•2班	6/30(1日)			②教科等指	等別形 守		6生徒理解	12地域連携
教セ	〈教育センター〉			(1+17)		(TT 16	L 1 N	<i>(</i>) .	13学校安全
10	中学校2年	F次教員フォローア <mark>:</mark>	ップ研修	(校種) S1 基礎形成期	中 S2 資質成長期	S3 資質充実期	予定人数 ■ S4 深化	-	70 名 _{校長·副校長}
	 (校内における研修)	30時間		01 季啶形成粉	02 复复风政州	00 貝貝儿天物			7社会性等
	(校外における研修)	3日			●校内研修		-		8個の対応
	○地区別研修	(2日)	初任者研修を修了して、現職教育の-		①舞号の次	質向上			9特別支援
	○ 教科等指導研修	6/29(1日)	間の研修を実施し、	初年度に培っ	②研究授業	<u>~~</u>	-		10 同僚性
	(教育センター)	0/29(1 H)	た基礎的な力を、F 践に生きる確かな資		●校外研修				11組織運営
	(教育ピングー/		高める。	g (11127) C	①企業等体 ②教科等指		-		12地域連携
教セ					947111111	4-9/15 1		0 土 促 垤 酢	13学校安全
狄ビ				(校種)	高	(研修	予定人数	∜	10 ^{子校女主} 40 名
11	高等学校2	年次教員フォローア	ツプ研修	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化		交長·副校長
	(校内における研修)	30時間					•	1 使命感等	7社会性等
	(校外における研修)	3日		1 . b +V.=A) = ±1	●校内研修		:	2 教 養 等	8個の対応
	○地区別研修	(2日)	初任者研修を修了 して、現職教育の-			質向上	:	3本県課題	9特別支援
	○教科等指導研修	7/3(1日)	間の研修を実施し、 た基礎的な力を、F		②研究授業:	等		4 学 び 構 想	10 同僚性
	〈教育センター〉		践に生きる確かな資			蛤莊修	!	5 授 業 実 践	11組織運営
			高める。		②教科等指			6生徒理解	12地域連携
教セ							-		13学校安全
12	柱则士松兴县	の左をお言って口	7	(校種)	特支	(研修	予定人数	数) :	35 名
12	特別又拨字校	を2年次教員フォロー	アツノ研修	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化	発展期	交長·副校長
	(校内における研修)	30時間以上			●各学校、各	自の計画によ	る。	1 使命感等	7社会性等
					※教員の資質			2 教養等	8個の対応
			初任者研修を修了 して、現職教育の-					3本県課題	9特別支援
	(校外における研修)	3日	間の研修を実施し、	初年度に培っ		<u></u>		4 学 び 構 想	10 同僚性
	○社会奉仕等体験研修	(2日)	た基礎的な力を、F 践に生きる確かな資	日々の教育実質や能力へよ	●各学校 各	自の計画によ		5 授 業 実 践	11組織運営
	○特別支援教育センター	ーにおける研修	高める。	₹ / 1E/J) *C	※教員の資質	向上、課題研	f究、	6 生 徒 理 解	12地域連携
	•教科等指導研修	8/17(1日)			研究授業等				13学校安全
特セ	〈特別支援教育センター〉								•
_	•				•				

③ 5年経験者研修

		研修名·講座名		(校種)		(研修-	予定人数)		名
No.		班修石 神座石		S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発	展期 村	校長·副校長
	場所	期日・日数	目	的	ď	マママ マママ マママ マママ マママ マママ マママ ママ ママ ママ ママ		資質	·能力
13	/ \±	学校5年経験者研修	ζ	(校種)	/]\	(研修 ·	予定人数)	Ç	95 名
13	\1\- -	FIXO 平性联合 训修	*	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発	展期 村	校長·副校長
	(校内における研修)	5 ⊞	在職期間が5年に達	こと数念に対			1 億	も 命感等	7社会性等
	(仅円における別形)	Эμ	して 現職教育の-	-環として1年	●校長・副校	長及び教頭に	よる講 ²	教 養 等	8個の対応
	(校外における研修)		間の研修を実施し、る授業の改善や道	各教科におけ 徳教育、総合	義、授業研究加	咒、研修会等。	への参 3 2	、県課題	9特別支援
	○教科指導研修		的な学習の時間及	び特別活動の	●教職員の			ዸび構想	10 同僚性
	•1班 •2班		指導などの研修を深 教職員の服務と勤					受業実践	11組織運営
	〈教育センター・オン		修を行い、その資気	質の向上を図	放射線•防災	教育 等	6 4	E 徒 理 解	12地域連携
教セ	ライン〉		న <u>.</u>						13学校安全

		—————— 研修名·講座名		(校種)		(研修予定)	人数)	名
No.				S1 基礎形成期			化発展期	校長·副校長
	場所	期日・日数	目	的	内	容		質·能力
14	中等	<mark>学校5年経験者研修</mark>		(校種) S1 基礎形成期	中 S2 資質成長期	(研修予定) 63 資質充実期 S4 %	人数) R化発展期	60 名 校長·副校長
	(校内における研修)	5日		01	32 貝貝风交别	10 貝貝兀夫州 10年 月		等7社会性
	(IXI 11C401). (IXI)	9 H	(1.3/14)-(3.3)			T - 1041 = T 1 - 1 - 2 - 3	0 */- **	等8個の対
	(校外における研修)		(小学校に同じ) 特に教育センターの	の研修におい		·及び教頭による詞 研修会等への	件	題 9 特 別 支
	○教科指導研修•1班	9/8, 10/4, 10/18	ては、国・社・数・理技・家・英について			ない 勤 な 数 利 は		想 10 同僚
	OTT	(3日)	た教科の指導力を	高めるため、	導の方法と授美	業の改善、教員日	1	践 11組織運
	・2班 〈教育センター・オン	9/15, 10/17, 10/18 (3日)	中・高合同の教科研る。	修の場を設け	身のメンタルイ 等	トルス、生徒指導	手	解 12地域連
教セ	ライン〉						<u> </u>	13学校安:
-				(校種)	高	(研修予定)		50 4
15	高等	学校5年経験者研	修	S1 基礎形成期	r		化発展期	校長·副校長
	(校内における研修)	5日	在職期間が5年に達	した教諭に対	,	•	1使命感	等7社会性等
			して、現職教育の一	-環として1年			2 教 養	等8個の対り
			間の研修を実施し、 徒指導、服務と勤え	务等について	●教科指導、物		Ħ	題 9特別支持
	(校外における研修) ○教科指導研修		研修を行い、教科担 門的な知見を深める				舌 4学び構	想 10 同 僚 1
	•1班	9/8, 10/4, 10/18	資質の向上を図る。		●教職員の服	務と勤務、教科技		践 11組織運
	•2班	(3日) 9/15, 10/17, 10/18	特に教育センターのては、国・地歴・公・					解 12地域連
	〈教育センター・オン ライン〉	(3日)	保体・家・英につい した教科の指導力を		ルヘルス 等			13学校安全
	, , ,		中・高合同の教科					
教セ			ける。					
16	養護	教諭5年経験者研	修	(校種)	小・中・高・特支			25 名 校長·副校長
				S1 基礎形成期	S2 資質成長期 S	33 資質充実期 S4 深	1 伸 命 咸	等7社会性
	(校内における研修)	3日	在職期間が5年に			:及び教頭による記 等、研修会等への	冓	等 8 個の対 月
			諭に対して、現職教 て1年間の研修を実		参加		3本県課	題9特別支
			な課題に対応する	ため、健康課	●健康教育の芸	見状と課題、5年紀 こ望むこと、健康村	圣	想 10 同 僚 (
	(校外における研修) ○専門領域研修	11/8-11/10	題をとらえる力や課の指導力・実践力を		談の実際、学校	交における救急ダ		践 11組織運
	〈教育センター・オンライン〉	(3日)	門職としての能力をるよう資質の向上を			組織活動、保健教 青報モラル教育、	义	解 12地域連
教セ			のより負負の同土で	⊲ ′∿。	ンタルヘルス	等		13学校安全
17	学	養職員5年経験者	正 校	(校種)	小·中·市立特克	支 (研修予定)	人数)	15 名
' /	子校木		HOLLIS.	S1 基礎形成期	S2 資質成長期 S	33 資質充実期 S4 深	化発展期	校長·副校長
	(校内における研修)	2日						等7社会性等
			在職期間が5年に	法1 た学坛学		な栄養職員としての	±.	
			養職員に対して、よ	り高度な専門	別活動の進め力	<u> </u>	3 平 宗 誄	題 9 特別支持
	(校外における研修)	9/20-9/21	的知識・技能を高い、教育的指導力				7	
	○専門領域研修 〈教育センター・オンライン〉	(2日)	上を図る。			進め方、食育の持	É 5授業実	践 11組織運
+/_ 1					進に回りて、旧	報教育 等	6生徒理	解 12地域連
教セ				(校種)	特支	(研修予定)	l */+)	13学校安:
18	特別支	援学校5年経験者	研修	S1 基礎形成期			化発展期	校長·副校長
	(校内における研修)	5日			●各学校、各自	の計画による。	1使命感	等7社会性等
	(校外における研修)	6日	在職期間が5年に達して、現職教育の一			かしまず /ATH 年	2 教 養	等8個の対
	5年経験者研修全体研修	1班 6/9,12,13(3日)	間の研修を実施し	、専門的な知	教師論、児童生	务と勤務、倫理観 生徒理解、授業等	度3本県課	題 9 特別支
	(各校/特支セ)	2班 6/14,15,16(3日)	識・能力の深化を図 教科、道徳科、外国	語活動、総合		題研究、研究授美	巻 4学び構	想 10 同 僚 9
	①中学校·高等学校5年経験者 研修教科指導研修		的な学習(探究)の 動、自立活動の指導	時間、特別活算及び学級経	●授業の改善・	充実、学習指導男		践 11組織運
	(教育センター)		営、生徒指導並びり	こ関係諸機関	解、特別支援教	、発達障がいの5 な育と医療、社会		解 12地域連
	②研修会等参加研修	①②どちらか(3日)	等との連携についい、職務遂行能力の)向上を図る。	● 基礎学力の	向上を図る教科技		13学校安:
			特に、教科の指導め、教科研修を行う	力を高めるた	導(各教科)の	充実に関する研修		
			等学校5年経験者		4	表会、講習会、		
特セ			(希望者))		科指導研修参加	加等		
		1	l .		I .		ı	

4 中堅教諭等資質向上研修

		 研修名·講座名		(校種)		(研修	予定人数)		名
No.				S1 基礎形成期	S2 資質成長期		S4 深化発展		交長・副校長
	場所	期日・日数	目	的	P				·能力
19	幼稚園等	<mark>中堅教諭等資質向</mark>	上研修	(校種)	幼·こ		§予定人数) ■		20 名
	(国由)、加州(西)	7.0.1		S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期			を長・副校長 7社会性等
	(園内における研修)	7日以上	在職期間が10年に			4 Гили			
	(園外における研修)	5日以上	等の教諭(保育教諭 して、現職教育の-				トた 宝比		
	○共通研修	(1日)	間の研修を実施し、	個々の能力、	に関する研修	🖲 ③パイオニ	-ア研修		9特別支援
	○社会体験研修	(1日)	適性等に応じて実施向上を図るとともに、			11多)			10 同僚性
	○選択研修	(1日以上)	豊かな社会性を得さ	せ、併せて園	①共通研修		ント研修		11組織運営
+/_ 1	○マネジメント研修	(2日)	組織マネジメントに育成を図る。	貸する能力の	③社会体験 等	付修 ④選	択研修6生	. 徒 理 解	
教セ	〈教育センター・オンライン〉	6/22,6/23(2日)	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	(++1 x)	- 1		77 1 1 1 1 1 1 1		13学校安全
20	小学校中	P堅教諭等 <mark>資質向</mark> 」	上研修	(校種) 81 基礎形成期	小 S2 資質成長期	事務職員 (研修 ■ S3 資質充実期	§予定人数) ■ S4 深化発展		80 名 校長・副校長
				(校種)	中		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		60 名
21	中学校中	P堅教諭等資質向」	上研修	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
	(校内における研修)	15日以上					1 使	命感等	7社会性等
	(校外における研修)	10日以上	 在職期間が10年に	達した教論に	●校内研修			女養 等	8個の対応
	○共通研修	(1日)	対して、現職教育の	つ一環として1	粉杏細類の	向上に関る研 解決に向けた		県課題	9特別支援
	○生徒指導研修	(1日)	年間の研修を実施力、適性等に応じて	し、個々の能 C宝践的指導	関する研修	③パイオニ	ア研修 4学	び構想	10 同僚性
	○社会体験研修	(2日)	力の深化を図るとと	もに、幅広い	●校从研修	修)	5 授	業実践	11組織運営
	○選択研修	(3日以上)	識見と豊かな社会性せて学校組織マネジ		①共通研修	②マネジメン			12地域連携
	○教科指導研修	小 6/19,6/20,10/3(3日)	る能力の育成を図る		③生徒指導4	研修 ④社会 F修 筌	体験研		13学校安全
教セ	〈教育センター・オンライン〉	中 6/27,9/28,9/29(3日)			OZ1(1)	1119 1			
22	古体兴林	中国共享全次统 力	L 7π <i>l/</i> σ	(校種)	高	(研修	多子定人数)	7	'5 名
22	尚寺学校	中堅教諭等資質向	上研修	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展	長期 杉	^{校長・} 副校長
	(校内における研修)	15日以上					1 使	命感等	7社会性等
	(校外における研修)	10日以上			• Ide 1 . TT 160		2 孝	女 養 等	8個の対応
	○社会体験研修	(2日)	 在職期間が10年に	達した教諭に	●校内研修 ①授業力の	向上に関るの	开修 ② 3本	県課題	9特別支援
	○選択研修	(3日以上)	対して、現職教育の	ワー環として1	教育課題の角	解決に向けた	実践に 4学	び構想	10 同僚性
	•共通研修	4/12	年間の研修を実施力、適性等に応じて				ア研修 5授	業実践	11組織運営
	•生徒指導研修	7/4	力の深化を図るとと	もに、幅広い	●校外研修			徒理解	12学校安全
	·教科指導 I	7/10	識見と豊かな社会性 せて学校組織マネジ			②教科指導 研修 ④マネ			13学校安全
	•教科指導Ⅱ	2/2	る能力の育成を図る		研修 ⑤社会	会体験研修	⑥選択		
	マネジメント研修	6/16			研修 等				
教セ	〈教育センター〉								
0.0	÷=±±.	→ EV *L=A *F *Ø ## ←	L TTI ME	(校種)	小·中·高·特	支 (研修	 §予定人数)	2	!0 名
23	養護教訓	中堅教諭等資質向	上研修	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展	長期 杉	^{校長・} 副校長
	(校内における研修)	4日以上		-			1 使	命感等	7社会性等
	(校外における研修)	6日以上	+ min +10 HB 2 2 4 0 fr) =)+)			2 孝	女養 等	8個の対応
	○共通研修	(1日)	在職期間が10年に 論に対して、現職教		●校内研修	o Arrive in the in-		県課題	9特別支援
	·(小·中)各地区		て1年間の研修を実	を施し、個々の	に関する研修	の解決に向け 多 ②パイオニ		:び構想	10 同僚性
	・(高・特)教育センター	4/12	能力、適性等に応導力の深化を図る		(特定課題研			業実践	11組織運営
	○社会体験研修(小·中·高·特)	(1日)	い識見と豊かな社会	会性を習得し、	● (文字) 研修① # 通研修	②宿泊研修	多 ③社 6生	徒理解	12地域連携
	○選択研修(小·中·高·特)	(1日以上)	組織的に学校保健きる能力の育成を図		会体験研修	④選択研修	等		13学校安全
	○専門領域研修(小·中·高·特)	7/31-8/2(3日)	2 3 12 3 4 17 7 7 2 1						
教セ	〈教育センター・オンライン〉	7/31-6/2(3 H)							
24	学校栄養職	員中堅教諭等資質	向上研修	(校種)	小·中·市立特	寺支 (研修	予定人数)		名
_ '				S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期			交長·副校長
	(校内における研修)	4日以上	Lord Herman	<u></u>					7社会性等
	(校外における研修)	6目以上	在職期間が10年に養職員に対して、ま			の解決に向け	トた宝味		8個の対応
	〇共通研修	(1日)	養職員に対して、野野の日本		ア門ナスなん		- ア研修		9特別支援
	○社会体験研修		※ 令和5年度	は実施しな	にい				10 同僚性
	○選択研修	(1日以上)	に、幅広い識見と豊	かな社会性を			》③社		11組織運営
1,1	○宿泊研修	(3日)	得させる。		会体験研修	④選択研修	等 6生	. 徒理解	12地域連携
教セ	〈教育センター〉	7/27-7/29(3日)							13学校安全

		 研修名·講座名		(校種)		(研修 -	予定人	数)	名
No.		训修石 讲座石		S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	\$4 深化	2発展期	校長·副校長
	場所	期日・日数	E	的	卢	容		資質	質·能力
25	特别支援学	校中堅教諭等資質	向上研修	(校種)	特支	(研修	予定人	数)	47 名
	10.00 🔀 🖰	以一生於關守其其		S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	\$4 深化	2発展期	校長·副校長
	(校内における研修)	15日以上			●各学校、各	自の計画によ	る。	1使命感	等7社会性等
	(校外における研修)	10日						2 教 養	等8個の対応
	1 共通研修					服務と勤務ペ 特別支援教育		3本県課	題 9 特 別 支 援
	①共通研修	1班6/20-6/22(3日)			状、教育的か	かわりの視点	、学習		
	〈各校/特別支援教育センター〉	2班6/27-6/29(3目)	在職期間が10年に対して、現職教育の	達した教諭にカー環として1	10 日本出仕	理解、発達障	がいの	5授業実	践 11組織運営
	2 教科指導		年間の 供修を実施	1. 個々(/)能	★// ★// ☆★ ↓ ★/	尊の実際、個別		6生徒理	解 12地域連携
	①教科等指導研修	1班1/10-1/11(2日)	力、適性等に応じ 力の深化を図るとと	て実践的指導 もに、幅広い	道計画レ粉系	斗等指導、指導	尊案の		13学校安全
	〈特別支援教育センター〉	2班1/18-1/19(2日)	識見と豊かな社会性 せて学校組織マネ	生を得させ、併	●企業・社会		での研		
	3 社会体験		る能力の育成を図る		115	教育センター	、教育		
	①社会体験研修	(2日)				門研修講座の 服務と勤務、			
					徒の行動の理	里解とかかわり	方、授		
	4 選択					·研究、課題研 に関する研修:			
特セ	①専門研修	(3日)			PP 7 ////	1-12,7 0 9/19	.,		

⑤ 中核教諭研修

<u> </u>	中核教訓研修								
		研修名·講座名		(校種)			予定人数)		名
No.	(B) ===		-	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展		交長·副校長
	場所	期日・日数	目	的	<u></u>	•	LW		能力
26	市町村	<mark>寸立学校中核教諭研</mark>	开修	(校種)	小・中・市立特		予定人数)		32 名
			<u> </u>	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展		交長・副校長
			 市町村立学校で推	産」た数終立					7社会性等
			任、学年主任、生徒	走指導主事等	●本県の学		状と課——		8個の対応
		10/11-10/13	の中堅教員(学校運職にある者)に対し				淮 / 也		9特別支援
	教育センター	(3日)	営上の諸問題につ	いて研修を行	導、管理)、	学校組織マネ	:ジメン ^{4 9}	び構想	10 同僚性
			い、教員のリーダー 視野に立った指導			る気を引き出	すコー 5授	業実践	11組織運営
			る。	// W L E D	7 7 4		6 生	徒理解	12地域連携
教セ									13学校安全
27	但 才	Σ学校中核教諭研修		(校種)	高·特支	(研修	予定人数)	-	70 名
21	水 工			S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展	期	交長·副校長
							1 使	命感等	7社会性等
			県立学校の教務	主任、学年主	●本県の教育	育の現状と課	題、教 2 教	養 等	8個の対応
			任、学部主事等の中運営上、主要な職員					県課題	9特別支援
	教育センター	10/25-10/27 (3日)	し、学校管理運営」	上の諸問題に	研究協議(指導	尊、管理)、キャ	アリア教 4学	び構想	10 同僚性
		(01)	ついて研修を行い ダーとして全校的視					業実践	11組織運営
			導力の深化を図る。	27 (27-11	を引き出すコ			徒理解	12地域連携
教セ									13学校安全
00				(校種)	小·中·高·特	支 (研修	予定人数)		名
28	٩	中核養護教諭研修		S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展	期	交長·副校長
				•			1 使	命感等	7社会性等
					●健康教育の	カ羽 坐し細 豚	2 拳	女 養 等	8個の対応
			在職期間が15年に	達した養護教	生徒のメンタ	ルヘルスの理	解と対 3本	県課題	9特別支援
	教育センター・各所属 校	**	《 令和5年度	は実施しな	い	ジメ	ント、こ 、健康 4学	び構想	10 同僚性
	1X		い、資質の向上を図	ククサロシと1.1 ス	課題を解決す	るための取組	L、現代 5授	業実践	11組織運営
			、東東の同工で区	1.∙70	的健康課題に	における対応	等 6生	徒理解	12地域連携
教セ									13学校安全
00	4.1	LW4 W ## 8 77 1		(校種)	小·中	(研修	予定人数)		5 名
29	甲科	核学校栄養職員研修	*	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展	期	交長·副校長
							1 使	命感等	7社会性等
			在職期間が15年に	7凄] た学坊	●食に関す	る指導の実際	際、R- 2 教	女養 等	8個の対応
			栄養職員に対し、	より高度な専	PDCAサイク/	レを活用した。	食育の3本	県課題	9特別支援
	教育センター	9/12-9/14	門的知識•技能等	を高め、地域	推進、字校系			び構想	10 同僚性
	オンライン	(3日)	の食育推進のリー を果たすために必		育の進め方、	学校栄養職	員に期		11組織運営
			向上を図る。		待すること、当 携した食育				12地域連携
教セ						•			13学校安全
37.					1				

(2) 職能研修

① 職能研修 I

				(校種)		(研修	予定人数)	名
No.		研修名·講座名		S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展	
	場所	期日(日数)	目	(校種)	内		Z 🗇 1 # 1	資質·能力
1	市町村立学	·校新任校長·副校	長研修会	S1 基礎形成期	小·中·特支 S2 資質成長期	. (研修 S3 資質充実期	予定人数)	110 名 期 校長·副校長
教セ	教育センター オンライン	小学校 4/24-4/25 中·義務教育·特別支援学校 4/24,4/26 (2日)	新任校長・副校長に 理運営等の諸問題 を行い、管理職とし 上を図る。	対し、学校管に関する研修	●校長の役割 活用についての細類 労び	と責務、学校 、学校管理・ の変革に向け 援教育、新任	1 使 2 教 評価の 上 を情報 を長に を長に 5 授	命感等 7 社会性等 な 養 等 8 個の対応 県課題 9 特別支援 び構想 10 同 僚 性 業実践 11 組織運営 徒理解 12 地域連携 13 学校安全
	10 1- 34.11		T 16- A	(校種)	∟ 高·特支	(研修	_ 予定人数)	20 名
2	県立学校	E新任校長·副校長在	计修会	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展	期 校長·副校長
教セ	教育センター	5/9-5/10 (2日)	新任校長・副校長に理、学習指導、生徒る諸問題についての教職員のリーダーと野に立つ指導力の済	指導等に関す)研修を行い、 して全校的視	人事評価制 組、学校管理	度、校長とし ・運営上の諸	2 教 評価と 3 本 での取、 4 学 に期待 5 授	命感等 7 社会性等 2 養等 8 個の対応 県課題 9 特別支援 び構想 10 同僚性 業実践 11組織運営 徒理解 12地域連携
	**	·····································		(校種)	小·中·特支	(研修	予定人数)	130 名
3	新 <u></u> 新仕校長才	ンライン集合ハイブロ	リツト研修	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展	期 校長·副校長
義高特	独立行政法人 教職員支援機構 (オンライン)	未定	新任校長を対象としる働き方改革」等の記した実践プログラムで、新任校長のマネ向上を図る。各校種に即した研修をオンることで自校のマネッ。	果題を切り口との実施を通じ ジメント能力の における課題 ライン視聴す	の計画による。	ラム	授機構 3本 4学 5授	命感等 7 社会性等 2 養 等 8 個の対応 県課題 9 特別支援 び構想 10 同僚性 業実践 11 組織運営 徒理解 12 地域連携 13 学校安全
4	古町村	立学校新任教頭研	体 合	(校種)	小·中·特支	(研修	予定人数)	100 名
4	ነ በ ሀገ ጣን	立子校制任教與斯		S1 基礎形成期	S2 資質成長期	83 資質充実期	S4 深化発展	期 校長·副校長
	教育センター オンライン	小学校 4/27-4/28 (2日)	新任教頭に対し、学の諸問題に関するの理職としての資質の	F修を行い、管	校運営上の調 の充実につい	の活用につい 界題、特別支持	2 教 するこ。 で、学 受教育 4 学	命感等 7 社会性等 な養等 8 個の対応 県課題 9 特別支援 び構想 10 同僚性 業実践 11 組織運賞
+/_ 1		中·義務教育·特別支援学校 4/27,5/12 (2日)			メント 等		6 生	徒理解 12地域連携
教セ		(2 1.7)		/+ <u>\</u> I T \	÷ +++	(TII 147	Z - 1 # 1	13学校安全
5	県立	<mark>学校新任教頭研修</mark>	会	(校種) S1 基礎形成期	高·特支 S2 資質成長期	S3 資質充実期	予定人数)	22 名 期 校長·副校長
教セ	教育センター	5/11-5/12 (2日)	新任教頭に対し、学 指導及び生徒指導 修を行い、管理職と 向上を図る。	校管理、学習 等に関する研	●教頭に期待 務、学校評価	手すること、教: と人事評価制 題、教育の情	1 使 2 教 頭の職 3本 度、学 報化、 5 授	命感等 7 社会性等 な養等 8 個の対応
				(校種)		支(研修		25 名
6	新	任主幹教諭研修会		S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展	
教セ	教育センター	5/23 (1日)	新任主幹教諭に対し 学校組織マネジメン 上の課題等に関する その資質の向上を図	ト、校務運営 研修を行い、	組織マネジメン	小、主幹教諭 の課題への対	2 教 2 教 の実務 か た、教 5 授	命感等 7 社会性等な養等 8 個の対応 県課題 9 特別支援 び構想 10 同僚性 業実践 11組織運営 徒理解 12地域連携
狄で								コス字校安全

② 職能研修Ⅱ

	2	400 月12 14 17 17 19 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11			(校種)		(研修	予定人	坐 析)		名
1	No.		研修名·講座名			S2 資質成長期				校長·副	
おけた教育主任は特殊会		場所	期日・日数	Ħ	的			*	資	質·能	力
************************************	7	新	任教務主任研修会		(校種)	小·中·高·特	支 (研修	予定人	数)	120	名
全地区 1日	,	राष्ट्र।		I	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	\$4 深化	比発展期	校長·副	副校長
おおおいけ										-	
各地区				limite to me.	W (●学校教育の	現状と課題	学校運			
おおい		# 101. PA				営と教務主任	の役割、学校	管理上	3 年 宗 は		
		各地区 	1	の資質の向上及び		の諸問題、教理、教育課程	育課程の編 と生徒指導、	版と官 校内研		-	
(技権)				上化を図る。							
10 10 10 10 10 10 10 10	数カ								0 生 使 坦		
10 大名の	教で				(払猛) //	\	MER (III MS	조宁 시	*\h \		
おいて、	8	į	基礎カアップ研修		(1711227						
全・マリア・デジン 2 日本 1 日本 2 日本					01 圣诞形成州	02 貝貝以政州	00 負負几天物	0年/末日			
本人しま 日本の日本 日本											
日治研修センター (2 日)								解する		-	
(2日)				れる役割や能力を理	!解する。	とともに、ワー	クライフバラン		-		
		目治研修センター	(2日)	_ , , _ , _ , _ , _ , ,	1.42 - 1 4 7 -						
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				必要な知識等の習作 	を図る。	- 2 - 7 1 - 7 7 7					
1	義務									13学	单校安全
1					(校種) 🗇	│ ··中·特支事務職員採用	18年目 (研修	予定人	<u>数</u>)	22	名
公人しま 日治研修センター (2月)	9	J	応用カアップ研修		S1 基礎形成期	S2 資質成長期		_		校長·副	副校長
公司									1使命感	等 7 社	会性等
は、チームをまとめる調整力について学ぶ。				○効変のとい仕事を	にたみ としい				2 教 養	等 8 個	の対応
### 10 日 度 性				に、チームをまとめる		●生産歴点し	し業数の効素	3.1L	3本県調	!題 9 特	別支援
● 京都 (大き) (大き) (大き) (大き) (大き) (大き) (大き) (大き)				て学ぶ。		●サポート力の)育成	-16	4 学 び 構	想 10 同	司僚性
10 実行力アップ研修		日1日4月1号 C 2 7	(2 11)			●不祥事防止			5授業集	践 11組	1織運営
10 実行力アップ研修				必要な知識等の習得	身を図る。				6生徒理	解 12地	域 連携
10 実行力アップ研修	義務									13学	校安全
3 基礎的成果 3 資産成果期 3 現在食服部 2 表 部 表	10	,	主行力アップ研修		(校種)					2	名
公人しま 自治研修センター (2日)	10	•			S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	\$4 深化	比発展期	校長·副	副校長
### 10 日									1使命感	等 7 社	会性等
A									-		
1		まけん	未定		役割や能力を						
必要な知識等の習得を図る。					BB 3%)/ }	ション能力養成	Ž				
11 新任係長研修 (校種)						●个件事防止					
####################################	主效								b生徒坦		
11 新任係長研修 S1 基礎形成期 S2 資質成長期 S3 資質充実期 S4 深化発展期 校長 副校長 校長 副校長 公主性主査としての心構えや部下 「存成の基本的な考え方等、チーム 方を見に付けるとともに、組織と人 大を主とめるため。基本的なマネジメント能力の向上 「存成の基本的なマネジメント能力の向上 「存成の基本的なマネジメント能力の向上 「存成の基本的なマネジメント能力の向上 「存成の基本的なマネジメント能力の向上 「存成の基本的なマネジメント能力の向上 「存成の基本的なマネジメント能力の向上 「存成の基本的なマネジメント能力の向上 「存成の基本的なマネジメントを表えるため、基本的なマネジメントを表えるため、基本的なマネジメントを表えるため、基本的なマネジメントに力 「存成の方式を動かすコミュニケーション、生産性 「生物・大学が、 「本学が表の効率化等について 「表表実践 「日報 運営学ぶ。 「本学で表の 「本学で表表を表表を表表を表表に表表に表表に表表に表表に表表に表表に表表に表表に表表に表	我伤				(小・中・特支	(Σπ IA	· 조 ㅡ 1	*+ /		
1 使命感等 7 社会性等 1 使命感等 7 社会性等 2 教 養 等 8 個の対応 2 教 表 書 を	11		新任係長研修			1		1			
全任主査の在り方や心構え					01 圣诞形戏册	02 貝貝以政州	00 員員几天物	0年/末日		_	
本定 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本								え			
まといるための基本的なマネジメント能力の向上に向けて必要な知識等の習得を図る。 大変						- 核毛に⇒め		メント能		-	
表務						力を身に付け	るとともに、糸	1織と人	A 224 7 7 100		
養務		目治研修センター	(2日)	ント能力の向上に向		を動かりコミニ				践 11組	1織運営
13 学校安全				職等の省得を図る。			77. 1 1 - 1		6生徒理	解 12地	也域 連携
10月13日 学校安全指導者養成研修 (校種) 小中・高・特支 会津・南会津・県中 (研修予定人数) 悉皆 329 名 S1 基礎形成期 S2 資質成長期 S3 資質充実期 S4 深化発展期 校長・副校長 公津 10月13日 学校安全担当教員に対し生活安全に関する計画策定等を身に付ける研修を行い、学校における安全教育の充実を図る。 県中 10月5日 ●講演、講義・演習等 10月24日 日本の	義務					●小件爭防止				13学	- 校安全
S1 基礎形成期 S2 資質成長期 S3 資質充実期 S4 深化発展期 校長・副校長 会津 10月13日 学校安全担当教員に対し生活安全に関する計画策定等を身に付ける研修を行い、学校における安全教育の充実を図る。 県中 10月5日 日の月5日 日		214	5	bkr	(校種) 小	└ 中·高·特支 会津·南会	^{注·県中} (研修	予定人	数) 悉	皆 32	9 名
会津 10月13日	12	字校	女全指導有養成研	16	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	\$4 深化	比発展期	校長·副	副校長
南会津 10月24日 学校安全担当教員に対し生活安全に関する計画策定等を身に付ける研修を行い、学校における安全教育の充実を図る。		人油	10 = 10 =		•			-	1使命感	等 7 社	会性等
南会津 10月24日 全に関する計画策定等を身に付ける研修を行い、学校における安全 本学の表実を図る。		云 律	10月13日						2 教 養	等 8 個	の対応
本語		古今净	10 日 24 日						3本県課	題 9 特	別支援
製育の充実を図る。 5授業実践 11組織運営 県中 10月5日 6生徒理解 12地域連携		用云伴	10万 24 日				演習等		4 学 び 構	想 10 同	司僚性
					, •,,1				5授業集	践 11組	1織運営
健康 13学校安全		県中	10月5日						6生徒理	解 12地	1域連携
	健康									13学	校安全

				(校種)			(研修·	予定人	数)	名
No.				S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質		\$4 深化		校長・副校長
	場所	期日・日数	目	的	Þ		字			:能力
13	健身	<mark>表教育推進者研修会</mark>	<u>></u>	(校種) 小··	中·高·特支 県北·相 S2 資質成長期	双·いわき S3 資質	1.71.12			· 407 名 校長·副校長
				31 基礎形成别	02 貝貝瓜衣州	30 貝貝	兀夫州	34 /木11		7社会性等
	県中	8月8日								8個の対応
	211.1	-2,4 - 1.	各学校において健康 中心的役割を担う養							19特別支援
			作心的役割を担り後 修を行い、学校にお			協議等	Ş F		4 学 び 構 想	10 同僚性
	県南	8月3日	推進の中心となる教と健康教育の充実を						5授業実践	11組織運営
	会津・南会津	8月21日	こ健康教育の元美を	凶 る。					6生徒理解	12地域連携
健康	云伴 用云伴	0月21日								13学校安全
14	*	近任栄養教諭研修		(校種)				予定人		名
	*13			S1 基礎形成期	S2 資質成長期	\$3 資質	充実期	\$4 深化		校長·副校長
		第1回 4月中(1日)	 新任の栄養教諭に対	出 坐養粉論	●学校におけ	トス合合	の推進	レ学業		7社会性等
	教育センター	第2回 6月中(1日)	としての職務を円滑	に遂行するた	教諭の役割					
			め、基礎的・専門的: 的指導力並びに使			の栄養領	管理と行	衛生管		19特別支援
	協力校所属校	第3回11月~12月(1日) (栄養教諭食育推進研修会兼)	もに、幅広い知見を	習得させ、栄	●教科等にお				5 授 業 宇 跬	
			養教諭としての資質る。	質の向上を図	●教育公務 務、生徒指導		この服	務と勤		12地域連携
健康		第4回 1月中(1日)	్ ఎం		75、工作11号	- 寸				13学校安全
	,,, <u></u>	- LI = A F L	-	(校種)		寺支	(研修·	予定人	数)	5 名
15	宋 養	教諭5年経験者研		S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質	充実期	\$4 深作	上発展期 柞	校長·副校長
									1使命感等	7 社会性等
					●5年経験栄				2 教 養 等	8個の対応
	(校外における研修)		学校栄養職員採用期間が5年に達した			勤務と	服務、	特別活	3本県課題	9特別支援
	○専門領域研修〈各所属校・教育セン	9/20-9/21 (2日)	して、より高度な専門	引的知識·技能	●学校給食(10 同僚性
	ター〉	(2 11)	を高める研修を行い 力及び資質の向上を		理、食に関す				5授業実践	11組織運営
			77次0負負の同工で	- M-20	等	m 17) C	\ IFI +	N 4X H	6生徒理解	12地域連携
健康										
~,										13学校安全
	企株 義公	山 取	上研修	(校種)	 小·中·市立特	寺支	(研修·	予定人	数)	13学校安全
16	栄養教諭	中堅教諭等資質向	上研修	(校種) S1 基礎形成期	小·中·市立特 82 資質成長期	寺支 S3 資質				
	栄養教諭	中堅教諭等資質向	上 <mark>上研修</mark>						上発展期 村	5 名
	栄養教諭	中堅教諭等資質向		S1 基礎形成期	S2 資質成長期				上発展期 村 1 使命感等	5 名
			学校栄養職員採用	S1 基礎形成期から数え在職	S2 資質成長期				1 使命感等 2 教 養 等 3 本県課題	5 名 交長·副校長 7 社会性等 8 個の対応 9 特別支援
	栄養教諭 (校外における研修) (教育センター)		学校栄養職員採用 令和5年度は	S1 基礎形成期 から数え在職 実施しなし	S2 資質成長期				発展期 1 使命感等 2 教養等 3 本県課題 4 学び構想	5 名 交長・副校長 7 社会性等 8 個の対応 9 特別支援 10 同僚性
	(校外における研修)(教		学校栄養職員採用 令和5年度は ともに、幅広い識見	S1 基礎形成期 から数え在職 実施しなし	S2 資質成長期		充実期		2 教養等 3本県課題 4 学び構想 5 授業実践	5 名 交長・副校長 7 社会性等 8 個の対応 9 特別支援 10 同僚性 11組織運営
16	(校外における研修)(教		学校栄養職員採用 令和5年度は	S1 基礎形成期 から数え在職 実施しなし	S2 資質成長期		充実期		2 教養等 3本県課題 4 学び構想 5 授業実践	5 名 交長·副校長 7 社会性等 8個の対応 9 特別支援 10 同僚性 11組織運営 12地域連携
	(校外における研修)(教		学校栄養職員採用 令和5年度は ともに、幅広い識見	S1 基礎形成期 から数え在職 実施しなし と豊かな社会	S2 資質成長期		充実期	84 深信	2 教 養 等 2 教 養 等 3 本 県 課 題 4 学 び 構 想 5 授 業 実 践 6 生 徒 理 解	5 名 交長·副校長 7 社会性等 8 個の対応 9 特別支援 10 同僚性 11組織運営 12地域連携 13学校安全
16	(校外における研修) (教育センター)		学校栄養職員採用 令和5年度は ともに、幅広い識見 性を得させる。	から数え在職 実施しなし と豊かな社会	S2 資質成長期	\$3 資質	充実期	多年人	1 使命感 等 2 教 養 等 3 本 県 課 題 4 学 び 構 想 5 授 業 実 践 6 生 徒 理 解	5 名 交長·副校長 7 社会性等 8 個の対応 9 特別支援 10 同僚性 11組織運営 12地域連携 13学校安全 70 名
16	(校外における研修) (教育センター)	*	学校栄養職員採用 令和5年度は ともに、幅広い識見 性を得させる。	S1 基礎形成期 から数え在職 実施しなし と豊かな社会	S2 資質成長期		充実期	多年人	1 使命感等 2 教養等 3 本県課題 4 学び構想 5 授業実践 6 生徒理解 数)	5 名 交長·副校長 7 社会性等 8 個の対応 9 特別支援 10 同僚性 11組織運携 13学校安全 70 名 交長·副校長
16	(校外における研修) (教 育センター) 栄養 県北	*	学校栄養職員採用 (令和5年度は ともに、幅広い識見性を得させる。	S1 基礎形成期 から数え在職 実 施しなし と豊かな社会 (校種) S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質 S3 資質	充実期 修 (研修	予定人 S4 深信	1 使命	5 名 交長·副校長 7 社会性等 8個の対応援 10 同僚性 11組織運連携 12地域速速全 70 名 交長·副校長 7 社会 等
16	(校外における研修) (教 育センター) 栄養	教諭食育推進研修	学校栄養職員採用 会	から数え在職 実 施しなし と豊かな社会 (校種) S1 基礎形成期	S2 資質成長期 S2 資質成長期 ● 栄養教諭を	S3 資質 S3 資質	充実期 修 (研修	予定人 S4 深信	1 使命	5 名 交長·副校長 7 社会性等 8個の対応援 10 同僚性 11組織運連携 12地域速速 70 名 交長·副校長 7 社会の対応
16	(校外における研修) (教育センター) 栄養 県北県中県南相双・いわき	*	学校栄養職員採用	から数え在職 実 施しなし と豊かな社会 (校種) S1 基礎形成期 けるために、栄践 感を養うととも	S2 資質成長期 S2 資質成長期 ●栄養教諭を進 ●教科等によ	S3 資質 S3 資質 シート・中核と	充実期	予定人 S4 深信 育の推	2 教 集 類 1 使命 義 課題 2 教 県 び 書 5 授 業 理 6 生 徒 理 2 教 県 様 3 本 県 様 4 学 び 業 異 解 4 学 3 本 県 様 4 学 3 本 県 様 4 学 3 本 県 様	5 名 交長·副校長 7 社会性等 8個の対策性 10同僚性 11組織連携 12地域域域 12地域域域 13学校安名 交長·副校長 7 社会性等 8個の対援 10同僚性
16	(校外における研修) (教 育センター) 栄養 県北 県中 県南	教諭食育推進研修 10月~12月中	学校栄養職員採用 会	から数え在職 実 施しなし と豊かな社会 (校種) S1 基礎形成期 けるために、栄践 感を養うととも	S2 資質成長期 S2 資質成長期 ● 栄養教諭を ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	S3 資質 S3 資質 シート・中核と	充実期	予定人 S4 深信 育の推	1 使命 2 教養 2 教果 4 学び業 4 学び業 4 学び業 6 生徒理解 2 教果 4 学数 2 教果 4 学数 3 本学業 5 授業 4 学数 4 学数 3 本学業 5 授業 5 授業 5 授業	5 名 交長·副校長 7 社会性等 8個の対表援性 10 同僚運運携 12地域速度全 70 名 交長·副校長 7 社会の対支援性 3 特別別僚運営 10 同機運営
健康 17	(校外における研修) (教育センター) 栄養 県北県中県南相双・いわき	教諭食育推進研修 10月~12月中	学校栄養職員採用	から数え在職 実 施しなし と豊かな社会 (校種) S1 基礎形成期 けるために、栄践 感を養うととも	S2 資質成長期 S2 資質成長期 ●栄養教諭を進 ●教科等によ	S3 資質 S3 資質 シート・中核と	充実期	予定人 S4 深信 育の推	2 教 集 類 1 使命 義 課題 2 教 県 び 書 5 授 業 理 6 生 徒 理 2 教 県 様 3 本 県 様 4 学 び 業 異 解 4 学 3 本 県 様 4 学 3 本 県 様 4 学 3 本 県 様	5 名 交長·副校長 7 社会性等 8 個の対域 10 同僚性 11組織運連接 12地域较全 70 名 交長·副校長 7 社会 所別支援性 10 同僚 質
健康 17	(校外における研修)(教育センター) 栄養 県北 県中 県南 相双・いわき 会津 の協力校所属校	教 諭食育推進研修 10月~12月中 (未定)	学校栄養職員採用	S1 基礎形成期 から数え在職 実施しなし と豊かな社会 (校種) S1 基礎形成期 けるために、実とも向 があるためで、実践も向 があるためである。	S2 資質成長期 S2 資質成長期 ●栄養教諭を進 ●教科等によ	S3 資質 S3 資質 S3 資質 S3 資質 S3 資質 S3 対る食	充実期を	予定人 S4 深信 育の推	1 使命 4 2 教果 3本學業 4 学業 6生 5 授業 6 2 教果 7 6 生 2 教展 3 本果 7 2 教果 8 3 本果 7 4 学業 9 3 本果 7 5 授業 9 6 生 4 6 生 5 6 生 5 7 6 6 生 6 7 6 7 7 8 7 9 8 9 8 9 8 9 9 <	5 名 交長·副校長 7 社会性等 8 個の対援 10 同僚性 11 組織運連携 12 地域较安全 7 社会 0 名 交長・副校長 7 社会 9 特別 京僚性 13 学校安全 8 個の対援 10 同億運連携 11 組織運連携
健康 17	(校外における研修)(教育センター) 栄養 県北 県中 県南 相双・いわき 会津 の協力校所属校	教諭食育推進研修 10月~12月中	学校栄養職員採用	S1 基礎形成期 から数え在職 実施しなし と豊かな社会 (校種) S1 基礎形成期 けるために、実とも向 があるためで、実践も向 があるためである。	S2 資質成長期 S2 資質成長期 ●栄養教諭を進 ●教科等によ 等	S3 資質 S3 資質 S3 資質 S3 資質 S3 資質 S3 対る食	充実期を	予定人 (54 深(1) (54 深(1) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7	1 使 数 異 課 2 教 県 課 3 本 県 課 5 授 徒 理 6 生 徒 理 3 本 学 業 徒 理 6 生 後 妻 課 3 本 学 業 課 6 生 後 妻 課 5 授 後 妻 課 6 生 後 妻 課 5 優 強 表 等 6 生 後 妻 罪 数 2 ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま ま	5 名 交長·副校長 7 社会性等 8 個の対援 10 同僚性 11 組織運連接 70 名 交長·副校長 7 社会的別友優性 11 組織運連接 10 同僚運連携 11 担地域校安全 11 組織域校安全
健康 17	(校外における研修)(教育センター) 栄養 県北 県中 県南 相双・いわき 会津 の協力校所属校	教 諭食育推進研修 10月~12月中 (未定)	学校栄養職員採用	S1 基礎形成期 から数え在職 実施しなし と豊かな社会 (校種) S1 基礎形成期 けるために、栄践感を養資質の向 (校種) 小	S2 資質成長期 S2 資質成長期 ● 栄養教諭を ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	S3 資質 S3 資質 S3 資質 C2 中核と S3 資質 C3 対 る食 S3 資質 S3 (S3) S3	充実期 修 研実期 食 で で で で で で で の で の で の で の で の で の に に の に 。	予定人 第4 深値 育の推導 予定人 84 深値	2 教 果 想 2 教 果 想 3 本 學 業 養 優 佳 生 5 授 佳 理 解 5 授 集 理 解 5 授 集 理 解 5 授 集 理 解 5 授 集 理 解 5 授 集 理 解 5 授 集 理 解 5 授 集 理 理 解 5 授 集 理 理 解 5 授 集 理 理 解 5 投 集 理 理 解 5 投 集 理 理 解 5 投 集 理 理 解 5 投 集 理 理 解	5 名 交長·副校長 7 社会 (
健康 17	(校外における研修) 〈教育センター〉 栄養 県北 県南 相双・いわき 会津・南会津 の協力校所属校	教諭食育推進研修 10月~12月中 (未定)	学校栄養職員採用	S1 基礎形成期 から数え在歌とと豊かな社会 と豊かな社会 (校種) S1 基礎形成期 おるた知養う質質のの向 (校種) S1 基礎形成期 に実とも向 (校種) 「した支援体制	S2 資質成長期 S2 資質成長期 ●栄養教諭を進 ●教科等によ 等	S3 資質 S3 資質 字中核と S3 資質 S3 資質 S3 資質 S3 資質 S4 S4 S4 S4 S4 S4 S4 S	充実期 修 で を に に 関す に の の の の の の の の の の の の の	予定 を を を を を を を を を を を を を	2 教 2 教 3 本 4 学 5 接 6 生 2 教 4 学 5 接 4 要 2 妻 3 本 4 要 5 要 6 生 4 要 5 要 6 生 4 要 5 要 6 生 5 要 6 生 5 要 6 生 6 生 7 要 6 生 7 要 6 生 7 要 8 要 8 要 9 要 9 要 9 要 9 要 9 要 9 要 9 要 9 要 9 要 9 要 9 要 9 要 9 </th <th>5 名 交長·副校長 7 社会 6 別 6 標準 7 社会 6 別 7 社会 6 別 9 特 同 6 標準 12 地域 校 2 12 地域 校 2 12 地域 域 2 4 長 一 7 社会 0 对 5 任 2 11 組織 域 攻 4 日 12 地域 攻 4 日 13 学 校長・副校長・副校長・副校長・副校長・副校長・副校長・副校長・副校長・副校長・副</th>	5 名 交長·副校長 7 社会 6 別 6 標準 7 社会 6 別 7 社会 6 別 9 特 同 6 標準 12 地域 校 2 12 地域 校 2 12 地域 域 2 4 長 一 7 社会 0 对 5 任 2 11 組織 域 攻 4 日 12 地域 攻 4 日 13 学 校長・副校長・副校長・副校長・副校長・副校長・副校長・副校長・副校長・副校長・副
健康 17	(校外における研修)(教育センター) 栄養 県北県中県東南相双・いわき会津 の協力校所属校	教諭食育推進研修 10月~12月中 (未定) 教育支援協議会 6/8(1日)	学校栄養職員採用 令和5年度は やもに、幅広い識見性を得させる。 全育が消としての使を教指幅広ので使を を整備となる。 を学校におけるるにある。 を学校におりまるが、一貫の援を必要とするが、一貫の規を必要とするが、またするが、またするのが、またが、またが、またが、またが、またが、またが、またが、またが、またが、また	S1 基礎形成期 から数え在職 またなしなし と豊かな社会 (校種) S1 基礎形成期 けるた知義うとの られるを養質質のの向 (校種) のいまとも向 にて、童生を特別徒のな理とのでは、一次の主なのでは、一次のでは、一次の主なのでは、一次ので	S2 資質成長期 S2 資質成長期 ●栄養教諭を進 ●教科等によ 等 学校管理職・1 S2 資質成長期 ●障がいのあに でのいての理	S3 資質 S3 高 切りした S3 高 切りした S3 高 切りした S4 の の に 解	充実期	予 S4 深信 予 S4 深信 育 る 指 導 人 深信 その り か ま で で か ま で で か ま で で か ま で ま で	2 教果 1 使 2 教果 3 本学業 4 学授業 5 授 6 生生 4 学 2 教果 4 学 5 授 6 生 2 教果 3 本学業 4 学授業 4 学 2 本学業 4 学 5 受生 5 受 4 生 5 受 5 受 5 受 5 受 5 受 5 受 5 受 5 受 5 受 6 生 5 受 5 受 5 受 6 生 5 受 6 生 5 受 7 で 5 受 6 生 5 受 7 で 5 受 6 生 5 受 7 で 5 受 6 生 5 受 7 で 5 で 6 生 5 で 7 で 5 で 7 で 5 で 7 で 5 で 7 で 5 で 8 で 5 で 9 で 5 で 9 で 5 で 9 で 5 で 9 で 5 で 9 で 5 で 9 で 5 で 9 で 5 で 9 で 5 で 9 で 5 で 9	2 名
健康 17	(校外における研修)(教育センター) 栄養 県北中南相及・南会津の協力校所属校 県北 県中 県中 県中	教諭食育推進研修 10月~12月中 (未定) 教育支援協議会 6/8(1日) 5/29(1日) 6/1(1日)	学校栄養職員採用 令和5年度は そ和5年度は ともに、結合として、 をもに、させる。 全育教治導にの使を教治に、を図る 各学校におお実るのが設見を 各の整心を必換の大変内の場所としての場間。	S1 基礎形成期 から数えたなしなし と豊かな社会 (校種) S1 基礎形成期 から数えたがなしない。 (校種) S1 基礎形成期 かられた、主とのの のでは、実には、実施した、、・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	S2 資質成長期 S2 資質成長期 ●進●教科等によ 学校管理職・ S2 資質成長期 ●前のついで理がである。 「のが、理のが、理ができた。 「のが、理ができた。 「のが、理ができた。」 「のが、理ができたいできた。」 「のが、理ができたいできた。」 「のが、理ができた。」 「のが、理ができた。」 「のが、理ができたいできた。」 「のが、理ができたいできたいできた。」 「のが、理ができたいできたいできた。」 「のが、理ができたいできたいできたいできたいできたいできたいできたいできたいできたいできたい	S3 資質 S3 資質 S3 資質 と中核と も 教養 質	充実期 修 研実 た 関 研実 生の び	予 54 深付	1 使 数 2 数 3 本 4 学 5 接 6 生 2 数 3 本 5 接 6 生 2 数 3 本 4 学 5 接 6 生 3 本 5 接 6 生 3 本 6 生 3 本 5 接 5 接 5 表 6 生 3 本 1 表 2 数 3 本 3 本 3 本 3 本 4 表 5 表 6 生 5 表 6 生 5 表 6 生 5 表 6 生 5 表 6 生 5 表 6 生 5 表 6 生 5 表 6 生 7 表 7 ま 8 ま 8 ま 9 ま 9 ま 1 ま 2 ま 2 ま 3 ま 4 ま 5 ま 6 生 6 生 6 生	5 名 交長・副校長 7 社会の別を性態 8 個の別を使き 9 特別の別をできる 10 同様 運連安全 12 地域校を名 3 特別の別をできる 7 社価の別をできる 3 特別の別をできる 11 組織域を名 4 日本の対を表し、副をはいる 7 社会の対を表し、副を表し、副を表し、副を表し、副を表し、副を表し、副を表し、副を表し、副
健康 17	(校外における研修)(教育センター) 栄養 県中南相双・南会津 の協力校所属校 県北 県中南 相談・南会津 の協力を所属校	教諭食育推進研修 10月~12月中 (未定) 教育支援協議会 6/8(1日) 5/29(1日) 6/1(1日) 6/7(1日)	学校栄養職員採用 学校栄養職員採用 令和5年度は ともに、記せる。 食養物論導力にでの使きを必校にと要とするにのが見るとしている。 会整を必校児児を等態が見たでは、 を整めたでに、これでは、 を整めたでは、 を要を必ずり、 を要ををできる。 を可じた。 をでした。 をでをでした。 をでした。 をでした。	S1 基礎形成期 から数えたない。 実施しない。 実施しない。 と豊かな社会 (校種) S1 基礎形成期 から数えたない。 ないない。 S1 基礎形成期 から数えたい。 ない、実施しない。 S1 基礎形成別に、実との の数のの数のの数のの数のの数のの数のの数のの数のの数のの数のの数のの数のの数	S2 資質成長期 S2 資質成長期 ●進●教 等 学校管理職・ S2 資質成長期 ●前のつ連続に ●前のつ連続に ●前ので連続の が、四のが、四のが、四のが、四のが、四のが、四のが、四のが、四のが、四のが、四の	S3 資質 S3 資質 S3 資質 と中 を 会 で は S3 資質 と 中 を 会 で は S3 変質 見いた で 保 多 要 の の の の の の の の の の の の の の の の の の	充実期 修 研実 た 関 で 研実 童援 学具 なと	予 54 深信 大 深信 大 深信 を な で と な で は な で か な か か か か か か か か か か か か か か か か	1 使 教 県 都 2 教 県 郡 3 本 学 業 徒 6 生 生 2 教 県 郡 5 授 徒 理 6 生 後 2 本 学 業 徒 5 授 後 表 2 本 学 業 徒 5 授 生 5 授 生 5 受 本 学 数 6 生 ま 5 受 本 学 数 6 生 ま 5 受 本 学 類 6 生 ま 5 受 素 5 受 素 5 受 素 6 生 ま 5 受 素 6 生 ま 7 テ ま 6 生 ま 7 テ ま 8 テ 類 9 日 ま	5 名
健康 17	(校外における研修)(教育センター) 栄養 県北中南相及・南会津の協力校所属校 県北 県中 県中 県中	教諭食育推進研修 10月~12月中 (未定) 教育支援協議会 6/8(1日) 5/29(1日) 6/1(1日)	学校栄養職員採用 学校栄養職員採用 令和5年度は ともに、おおいます。 会養教育にない。 会教育のでは、本のでは、本のでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きなでは、大きないでは、大きないでは、大きないは、大きないは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	S1 基礎形成期 から数を上ない。 実施しない。 と豊かな社会 (校種) の数での数での数での数での組入する。 「は、定整育提やなの対して、定整育提やなの対して、定整育提やなのがである。」 「は、定整育提供のは、一、関題では、一、関題では、一、関題では、一、関題では、一、関題では、一、関題では、一、関題では、一、関題では、一、関題では、一、関題では、一、関題では、一、対して、、一、は、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	S2 資質成長期 ● 第	S3 資質 と	充実 り で で で で で で で で で で で で で で で で で で	予 54 深 付	2 数 2 数 3 4 5 接 4 5 5 接 4 5 5 5 4 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 6 5 5 5 6 5 6 5 7 5 8 5 8 5 8 5 8 6 9 6 9 6 9 7 9 7 9 8 9 8 9 8 10 9 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	5 名 交長・副校長 7 社会の別を性態 8 個の別を使き 9 特別の別をできる 10 同様 運連安全 12 地域校を名 3 特別の別をできる 7 社価の別をできる 3 特別の別をできる 11 組織域を名 4 日本の対を表し、副をはいる 7 社会の対を表し、副を表し、副を表し、副を表し、副を表し、副を表し、副を表し、副を表し、副
健康 17	(校外における研修)(教育センター) 栄養 県中南相双・南会津 の協力校所属校 県北 県中南 相談・南会津 の協力を所属校	教諭食育推進研修 10月~12月中 (未定) 教育支援協議会 6/8(1日) 5/29(1日) 6/1(1日) 6/7(1日)	学校栄養職員採用 学校栄養職員採用 令和5年度は ともに、記せる。 食養物論導力にでの使きを必校にと要とするにのが見るとしている。 会整を必校児児を等態が見たでは、 を整めたでに、これでは、 を整めたでは、 を要を必ずり、 を要ををできる。 を可じた。 をでした。 をでをでした。 をでした。 をでした。	S1 基礎形成期 から数を施しない。 実施しない。 と豊かな社会 は、一ない。 「大きない」と の数では、またの数ででは、一ない。 の数での組織では、またの数での組織では、またのでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	S2 資質成長期 S2 資質成長期 ●進 ・ 教 ・ 学校管理職・ が ・ ので、 で、 ので、 で、 ので、 で、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので	S3 資質 と	充	予 54 深 付	2 数 2 数 3 4 5 接 4 5 5 接 4 5 5 5 4 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 6 5 5 5 6 5 6 5 7 5 8 5 8 5 8 5 8 6 9 6 9 6 9 7 9 7 9 8 9 8 9 8 10 9 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	5 名

		———————— 研修名·講座名		(校種)			予定人		名
No.	場所	期日・日数	B	S1 基礎形成期 的	S2 資質成長期 内	S3 資質充実期 容	\$4 深化		校長・副校長
	,. ,			(校種)	特支		予定人		〔·能力 40 名
19	県立特別支援等	学校医療的ケア実施	函教員研修会	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深(校長·副校長
特支	特別支援 教育センター	4/4 (1日)	県立特別支援学校 が医療的ケアを実施 要な基本研修を実施 ア実施教員の養成を	するために必 回し、医療的ケ	会福祉士及び	介護福祉士	法施行	2 教養等3本県課4 学び構た5 授業実践	9 特別支担
		<u> </u>	₩\±####	(校種)	 特支	(研修	予定人	<u>数</u>)	20 名
20	県立特別支援与	学校生徒指導担当者	首連絡協議会	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	\$4 深(比発展期	校長·副校長
特支	特別支援 教育センター	5/26 11/24 (2日)	県立特別支援学校 指導上の諸問題に な研修を実施するこ 的な立場にある教員 上させ、幼児児童生 種類や程度に応じた 改善に資する。	関する専門的 とにより、指導 の指導力を向 徒の障がいの	導の留意事項 ●各学校によ 組状況と課題	等 3ける生徒指	導の取	2 教養等 3本県課 4学び構た 5授業実践	
21	海 式指道(F	国語·算数)担当教」	昌研修会	(校種)	/]\	(研修	予定人	数)	30 名
۷1		当中 开双/但当我	東川廖玄	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	\$4 深化		校長·副校長
教セ	教育センター	5/30 (1日)	複式指導(国語・算数対し、複式学級におや生活指導等の研修力の向上を図る。	ける学習指導	●複式指導の 級における指 学級における 級における国 作成に関する	尊上の諸問題 指導の実際、 語・算数の指	、複式 複式学 導計画	2 教 養 等 3 本 県 課 是	扎 11組織運営
				(校種)	<u> </u> 中	(研修	予定人	坐 行)	84 名
22	免許夠	卜教科担任教員研修	多会	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期			校長·副校長
教セ	教育センター オンライン	音楽 5/17·5/24 美術 5/17-5/18(1班) 5/25-5/26(2班) 技術 5/18·5/24(1班) 5/19·5/25(2班) 家庭 5/17-5/18(1班) 5/25-5/26(2班) 体育 5/23-5/24 (2日)	中学校の免許外の記 る教員に対し、学習 研修を行い、指導力 とともに、教育活動な る。	指導に関する の向上を図る	●学習指導 ⁰ 標・内容・指導 上の諸問題 議、演習、実習	算上の留意点 発のための	、指導	3 本 県 課 是 4 学 び 構 な 5 授 業 実 路	第8個の対応
23	松長 σ	ためのマネジメント記	帯 広	(校種)	小·中·高·特	支 (研修	予定人	数)	60 名
教セ	教育センター オンライン	6/8-6/9 (2日)	組織マネジメントの系 ることにより、変化に い学校づくりの考え に付け、さらに危機 対応や知識を習得す 理職としての意識の[対応した新し 方と手法を身 管理に対する るとともに、管 句上を図る。	●学校組織マム・マネジメン 策、学校問題応等	ト、福島県のの未然防止・	リキュラ 教育施 早期対	1 使 命 感 等 2 教 養 等 3 本 県 課 是 4 学 び 構 常 5 授 業 実 8 6 生 徒 理 角	13学校安全
24	教頭 σ)ためのマネジメントii	帯 座	(校種)	小中·高·特		予定人		60 名
教セ	教育センター オンライン	8/31-9/1 (2日)	組織マネジメントの勇ることにより、変化にい学校づくりの考えに付け、さらに危機対応や知識を習得す理職としての意識の[対応した新し方と手法を身管理に対するるとともに、管	ム・マネジメン 策、学校問題 応、地域と共に	ト、福島県のの未然防止・こある学校 等	リキュラ 教育施 早期対 :	1 使命感 2 教 養 3 本 県 課 是 4 学 び 構 素 5 授 業 実 監 6 生 徒 理 角	12地域連接
25	小・中学校に	おけるキャリア教育	実践講座	(校種)	小中		予定人		名·中13 名
	教育センター	9/4 (1日)	小・中学校の教員に 社会人・職業人として 童生徒を育成するさ 在り方について研修 校においてキャリア るための指導力の向	「自立できる児 テャリア教育の 「を行い、各学 教育を推進す	待、キャリア発 ンセリング、基 育む教育課程	た学校教育・ 達理論とキャリ 礎的・汎用的 、自校におけ 習活動の取組 を取り入れた	┃ けて、	2 教養 3本県課品 4学び構想 5授業実践	表 10 同 僚 to 表 11 組織運営 2 12 地域連接 12 地域連接 2 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 1
教セ									13学校安全

	研修名·講座名							(研修予定人数) 名				
No.				S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	\$4 深化		校長·副			
	場所	期日・日数	目	的	P				質·能力			
26	特別支援等	学級等新任担当教	員研修会	(校種)	小·中	T	予定人数		200	名		
			1	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	\$4 深化		校長·副村			
	○共通研修	1日					-	1使命原	Š 等 7 社 会	往等		
	環境創造センター(コミュタン福島)	4/19(県北・会津・南会津) 4/25(県中・県南・相双)						2 教 養	等 8 個 の)対応		
	○地区別研修	(1日)	今年度、新たに小・ロ		●特別支援教	対育の実際、児	童生	3本県部	果題 9 特別	刂支 援		
	県北	10/24	援学級担任及び通総担当になった教員に		徒の理解、自	立活動の指導	、学級	4 学 び 権	構想 10 同	僚 性		
	県中	10/25	支援教育に関する基	礎的事項に		程の編成等の 経営や交流及		5 授 業 男	実践 11組制	載運営		
	県南	10/17	ついての研修を通し 教育に携わる教員と		同学習等の実	民践に基づく研		6生徒理	里解 12地均	或連携		
	会津•南会津	10/19	実践力の向上を図る		議		ŀ		13学村	交安全		
	相双	10/26		-			ŀ					
	TH//	10, 20										
特セ	 ○校内における研修	(0.11)			●各学校の計	L面ルトフ						
नि ए	○枚内における姉修	(2日)		(校種)			2414	KL \				
27	特別支援学績	及担当教員(経験三	年)研修会	(1)(12)	小·中		予定人数		60	名		
		1	1	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	\$4 深化		校長·副			
	(地区別研修)	1日	特別支援学級担当	の経験が通算				1 使 命 愿	Š 等 7 社 会	: 性等		
	県北•相双	8/31	3年目の教員経験の)ある小・中学		Y /m ~ **/	fn ~ /	2 教 養	等 8 個 の) 対応		
	県中・県南	8/30	校特別支援学級担て、特別支援教育に					3本県部	果題 9 特別	支援		
	会津•南会津	8/29	な内容を踏まえた学	級経営や学習	共同学習に関	引する講義・演	習	4 学 び 棹	構想 10 同	僚 性		
			指導についての研修 己の教育実践を振り					5 授 業 男	実践 11組織	載運営		
			この教育美践を振り 援教育に携わる教員			.本にした妍先		6 生 徒 理	里解 12地均	或連携		
特セ			力の向上を図る。	,			F		13学村			
10 0		<u> </u>	<u> </u>	(校種)	小·中	(研修	_ 予定人数	⊌ († `)	130	名		
28	小·中学校特別	支援教育コーディネ	ーター研修会	(1又1至) S1 基礎形成期	7、 T S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化	_	校長·副和			
	(Ido E Ed FF (4r)	4.0		31 奉從形成期	32 貝貝瓜技期	33 貝貝兀夫州	34 床化					
	(地区別研修)	1日							Š 等 7 社 会			
	県北	5/24	合理的配慮や校内	古塔休制にへ		教育の最新の				- 73 70		
	県中	5/18	いての研修を通して					3本県計	果題 9 特別	亅支 援		
	県南	5/23	ブ教育システムの理				画活用	4 学 び 権	萬想 10 同	僚性		
	会津•南会津	5/17	別支援教育に関わる			:莪 に関する講義	• 演習	5授業員	 践 11組線	載運営		
	相双	5/30		>1·1±2±00		目に関する研究		6生徒理	里解 12地均			
特セ							Ī		13学村	交安全		
00			5 TT 16 A	(校種)	高	(研修	予定人数	数)	44	名		
29	尚寺学佼符別:	支援教育コーディネ・	ーダー研修会	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	\$4 深化	発展期	校長·副和	校長		
	(地区別研修)	1日					•	1 使 命 愿	Š 等 7 社 会	主性等		
	県北	5/11			●特別支援	教育の最新の	動向や	2 教 養	等8個の)対応		
	県中・県南	次年度の実施	合理的配慮や校内		高等学校に	おける特別支	援教育		果題 9 特 別			
	会津•南会津	5/11	いての研修を通して ブ教育システムの理									
		,	別支援教育に関わる				IEM 111 / 11					
	相双	5/11	ターとしての実践力の	の向上を図る。		に関する講義			実践 11組組			
4+ 1	いわき	次年度の実施			●合伙の取乱	1に関する研究	肋莪	り生徒場	里解 12 地域			
特セ	環境創造センター(コミュタン福島)			(() ==>		1			13学村			
30	特別支援学校特	別支援教育コーディネ	ーター研修会	(校種)	特支		予定人数		25	名		
				S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化	発展期	校長·副和	校長		
								1使命原	Š 等 7 社 会	注性等		
			 特別支援教育コーラ	ディネーターの			*I . / . A	2 教 養	等8個の) 対応		
		,	役割や地域のニース	ズ、有効なコー	●本県の特別	別支援教育の 育コーディネー		3本県部	果題 9 特別	亅支 援		
	特別支援教育センター	5/10 (1日)	ディネートの在り方: び合う研修を通して		役割、地域支	援等に関する	講義	4 学 び 柞	構想 10 同	僚 性		
		(1 🗆)	育コーディネーター			ける校内支援、 引する研究協議		5 授 業 男	貞践 11組紀	 歳運営		
			力の向上を図る。		仮収組に関	引りつ(町九) 励譲		6 生 徒 玛	里解 12地域	 或連携		
特セ							ŀ		13学村			
				(校種)	 特支	(研修		数)	26	名		
31	特別支	<mark>援学校養護教諭研</mark>	修会	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化		校長·副科			
				○ - □E NC //2 /2079]	0. 灵灵风区剂	○○ 只只儿天州	- · / · · ·		核等 7 社会			
							-					
			 障がいのある児童生	徒の理解と対	●国や本県の	の特別支援教	育の動		等8個の			
		8/1	応、県の特別支援	教育の現状や	向や課題等の)講義			果題 9 特別			
	特別支援教育センター	(1日)	施策等を研修し、特護教諭としての資質					4 学 び 権	構想 10 同	僚 性		
			護教諭としての賃貸	貝の円工を凶	体的な収組、いての協議	未伤上り硃選	ずにづ	5授業男	実践 11組組	哉運営		
								6生徒理	里解 12地域	或連携		
特セ							ľ		13学村	校安全		
			•		•							

		(校種)	名								
No.		研修名·講座名		S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期		校長·副校長			
	場所	期日・日数	I	的	ļ ,			資子 資子 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			
32	特別支援学校訪問	問教育・医療的ケア担	当教員研修会	(校種)	特支		予定人数) -	- 名			
02	19799 7 12 17 12 17			S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期	校長·副校長			
							1 使 命	感等7社会性等			
			国や県の特別支援					奏等8個の対応			
			施策、特別支援学校	とにおける訪問	のある児童生	徒理解等に関	する講3本県	課題 9 特 別 支 援			
	特別支援教育センター		※ 令和5年	度は実施し	しない		Jケア ^{4 学 び}	構想 10 同僚性			
			の次所の中しナロフ		BB. Jany Till der Lide	⇒¥-	組に5授業	実践 11組織運営			
			の資質の向上を図る	0	関する研究協	譲	6 生 徒	理解 12地域連携			
特セ								13学校安全			
33	特別支持	6 学校実習助手等研	H.修会	(校種)	特支		予定人数)	- 名			
	10 70 70	女子以大百切 1 寸 1		S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期	校長·副校長			
							1 使 命 感 等 7 社				
	特別支援教育センター				●国や本県の	7件別去授券		奏 等 8 個 の 対 応			
				· <u>往の理</u> 級し共		7付別又饭쬓	3本県	課題 9 特 別 支 援			
			※ 令和5年	- 度は美肔	しない		· —	構想 10 同僚性			
			1 20		ての協議		つい 5授業	実践 11組織運営			
							6 生 徒	理解 12地域連携			
特セ								13学校安全			
34	通級 指	<mark>導教室担当教員研</mark>	修会	(校種)	小·中	(研修	予定人数)	40 名			
	HI WHEN	TATELIAN	194	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期	校長·副校長			
			通級による指導の役	な研修を通し	動の指導、教 任との連携に		1 使 命	感等 7 社会性等			
		が 7/11 ミュタン福島) (1日)				お 道の 理解	2教 1	奏等8個の対応			
	理培創性センター					室経営、保護		課題 9 特別支援			
	(コミュタン福島)		て、通級による指導技				4学び				
			の実践力の向上を図]る。		け組み、 静師による講義		実践 11組織運営			
							6生徒	理解 12地域連携			
特セ				•		,		13学校安全			
35	特別支援学	校教務主任·学部主	事研修会	(校種)	特支	(研修	予定人数) -	25 名			
	1933212 1	XIXWIE THE	70102	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期	校長·副校長			
							1 使 命	感等 7 社会性等			
	特別支援教育センター 6/1 (1日)		 本県の教育行政上	の其木的重項	●粉終主任Ⅰ	が学部主事	の職務 2 教 1				
		'	や、教務主任及び	学部主事の役	と役割、期待つ	すること等の講	義 3本県	課題 9 特別支援			
			割、学校マネジメント研修を通して、教務				田につ				
			主事としての資質の		●仅務連番にいての講義・注		5 授業				
							6生徒	理解 12地域連携			
特セ	it							13学校安全			

③ 職能研修Ⅲ

	研修名・講座名 場 所 期日・日数 目 自			(校種)		(研修	(研修予定人数)			
No.				S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発	き と	校長·副校長	
				的	内 容			資質·能力		
36	福島県公立学校長研修会(地区別研修会)			(校種)	重) 小·中·高·特支 (研修予定人			数) 名		
30				S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発	養展期	校長·副校長	
	県北	未定(半日)							7 社会性等	
	県中	未定(半日)	久学校が 蛙布なる	特色ある教育を実現し に、本県教育を小・中・ 広い視野から展望し、本 策の十分な理解ととも に対応した具体的な実 月確にする。			2	教 養 等	8個の対応	
	県南	未定(半日)	ていくために、本県教 高という幅広い視野か 県教育施策の十分 に、それらに対応した					本県課題	9特別支援	
	会津	未定(半日)						学び構想	10 同僚性	
	南会津	未定(半日)						授業実践	11組織運営	
	相双	未定(半日)	践課題を明確にする				6	生徒理解	12地域連携	
義高	いわき	未定(半日)							13学校安全	

(3) 専門研修

① 専門研修 I

	TT W. 47 =# rh. 47			(校種)		(研修	予定人数	女)	名
No.		研修名·講座名		S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	\$4 深化	発展期	校長·副校長
	場所	期日 (日数)	目	的	内				質·能力
1	幼稚園	園教育課程研究協 認	議会	(校種)	幼		予定人数		280 名
				S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期			校長・副校長
	各地区 県北	9/21	/上44日によりよっ 払っ	太洲 和 中 七			-	2 教養	
	県中	9/21	幼稚園における教育 の諸問題に関する			音要領の趣旨	- 44 -	3本県課	
	県南	9/28	実施することにより、	教員の指導力	を図るとともに	こ、教育課程	実施上		想 10 同僚性
	会津•南会津	9/29	の向上と幼稚園教育 の徹底を図り、本県			習意点につい	` └ 励 퍥 🗕		践 11組織運営
	相双	9/27	充実・改善に資する		21170		6	 3 生 徒 理	解 12地域連携
義務	いわき	9/22							13学校安全
2	小学村	交教育課程研究協認	議 会	(校種)	/]\	(研修	予定人数		470 名
_			<u> </u>	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	\$4 深化		校長・副校長
	各教育事務所 県北				●教育課程-			使命感	等 7社会性等 等 8個の対応
	県中 県中	未定	小学校における教育					. 秋 食 	要の値の対応
	県南	(半日~1日)	の諸問題に関する」実施することにより、		ついての講義	&•授業参観•	研究協力	4 学 び 構	
	会津	(H 1 H)	の向上と学習指導		硪守と囲しし		要領の		践 11組織運営
	南会津		徹底を図り、本県小	学校教育の充	趣旨の徹底を 前半の学校記	・凶のとともに 方問の評価等	- 、 十 /文 L		
	相双		実・改善に資する。		半の教育課程	呈実施上の留	意点に		13学校安全
義務	いわき				ついて協議を	行う。 			
3	中学校	交教育課程研究協議		(校種)	+	1.71.12	予定人数		260 名
	各教育事務所		1	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	\$4 深化	発展期	校長・副校長
	県北				●教育課程-			2 教養	等8個の対応
	県中	未定	中学校における教育		の教科道徳、間及び特別	総合的な字 活動につい	習の時 2		
	県南	(半日~1日)	の諸問題に関する事実施することにより、		義•授業参観	•研究協議等	₽を通し ⊿	4 学 び 構	
	会津	(111.,	の向上と学習指導	要領の趣旨の	にお回るしい	『導要領の趣 た。 年度前	旨の徹 5		践 11組織運営
	南会津		徹底を図り、本県中	学校教育の充	校訪問の評価	Bに、平及前 m等から後半	の教育の	 3 生 徒 理	!解 12地域連携
	相双		実・改善に資する。		課程実施上♂				13学校安全
義務	いわき				議を行う。				
4	高等	<mark>学校教育課程講習</mark>	会	(校種) S1 基礎形成期	高·特支	(研修 S3 資質充実期	予定人数 S4 深化		400 名 校長·副校長
	県内5地区			- · ± · · · · · · · · · · · · · · · · ·	22/22/11	~~	1	使命感	
			+ W W L+ W 32 H2 H	έ≕ / ε) = - \ .			2	2 教養	等8個の対応
	県北		高等学校学習指導 て、その趣旨の徹底		●学習指導要		/1敗ルで_		題 9 特別支援
	県中・県南	未定	高等学校教育の充	実・改善に資	図るとともに教 諸問題につい	教育課程実施 いて研究協議を	2 />	4学び構	* 想 10 同 僚 性 * 践 11組織運営
	会津 いわき		する。		HE INJUSTICE ST	C 191 7 L 100 H3 C			解 12地域連携
高校	相双							/ I W 4	13学校安全
5		5. ************************************	b 羊 : # · · ·	(校種)	特支	(研修	予定人数	女)	40 名
O .	特別又拨 7	学校教育課程運営品	以普朗座	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	\$4 深化	発展期	校長·副校長
			特別支援学校にお	ける教育課程			1	使命感	等7社会性等
			実施上の諸問題にな研修を実施するこ			有比 安坎		教養	等8個の対応
		0 /10	的立場のある教員の				11年上3	本県課	見題 9 特別支援
	特別支援教育センター	8/18 (1日)	上を図るとともに、					単び構	想 10 同僚性
		(,	児童生徒の障がい に応じた教育課程の			お等につい	ての研5	授業実	践 11組織運営
			実施及び管理に努	め、特別支援			6	3 生徒理	解 12地域連携
特支			教育の改善充実に資						13学校安全
6	特別支	援学級教育課程研	修会	(校種) S1 基礎形成期	小·中 \$2 資質成長期	(研修 S3 資質充実期	予定人数 S4 深化		270 名 校長·副校長
	知的障がい			○□ 垄旋形队别	○2 貝貝バ技期	○○ 貝貝兀夫期	04 /未16分		校長・副校長
	県北	11/10(半日)		- 40			2		等8個の対応
	県中	10/14(半日)	小学校及び中学校の級における教育課程			温成 宝饰	答冊 L 3		見題 9 特別支援
	県南	10/23(半日)	実施上の諸問題に	ついて研修す	の留意事項に	ついて	4	早び構	想 10 同僚性
	会津•南会津	11/7(半日)	ることにより、特別ラ				· · · · · · -		践 11組織運営
	相双	11/2(半日)	教員の資質の向上 級における教育の改			⊭前 囲い以書	وا, ۸ر یاو	生徒理	12地域連携
	いわき	10/25(半日) 病弱·身体虚弱、自閉症·情	する。						13学校安全
	弱視 難應 肢体不足甲 湯				1				
特支	弱倪、難聴、肢体不自田、別 緒障がいは、令和5年度は3								

② 専門研修Ⅱ

No.						/ //	ater X	
		研修名·講座名		(校種) S1 基礎形成期	S2 資質成長期 S3 資	(研修予定人 質充実期 S4 深		名 ·副校長
110.	場所	期日(日数)		的	内	容	資質·能	
			<u> </u>	(校種)	<u></u> 幼	 【研修予定人		
7	幼	<mark>児教育実技研修会</mark>		S1 基礎形成期	1			· 副校長
ŀ				01 圣旋形成剂	02 負負成政刑 00 負	真儿类病 07 /木	1使命感等7	
	ᆙᆘᆖᄗᄔᅔᄠᄻᆇ							固の対応
	地区別研修							専別支援
	県北	1日	幼稚園教育要領に		●幼児教育の指導	「内容について	-	-
	県中·県南	(未定)	が達成できるようぽい、指導力の向上を		の講義、実技 等			同僚性
	会津・南会津 相双・いわき		(10 (175) 1112					組織運営
羊 邓	10/X · V · 47G							地域連携
義務				(++1 + 1		/ TT MT Z 📥 1		学校安全
8	地域支援セ	ンター特別支援教	育研修会	(校種) S1 基礎形成期	小·中·高 S2 資質成長期 S3 資	(研修予定人 質充実期 S4 深		名 ·副校長
	特別支援学校地域支援センターの計画による	1日		0. Ench/2000	01 XXMX/// 00 X	XJUXM 0 1 //		生会性等
	県北	未定						固の対応
	県中	未定	小学校・中学校及び		●特別な支援を必り	要とする児童生		
	県南	未定	における特別な支援 児童生徒への指導		徒への指導支援の	在り方や進め	4 学 75 構 相 10	同僚性
	会津•南会津	未定	や進め方、学級経		方について		C 120 AM CD DA 11	
	相双	未定	研修することにより、	教員の資質向	●学習指導の改善 研究協議 等	等についての	6 生 徒 理 解 12	
	いわき	未定	上と授業の改善・充	実に資する。	加元 防战 守			学校安全
法士	マ ・	水 足					10	于1000年
NX	况免 心兒 及件不自由 州初			(校種)	<u> </u> 	(研修予定人	数) 40	名
9	体育·保健体i	育指導力向上研修!	具中央研修	(1又1至) S1 基礎形成期	1			一 ·副校長
				01 圣诞形风州	02 貝貝风政州 00 貝	貝儿天州 04 床	1使命感等7	
			県内の小学校・中学	学校及び高等	●幼児の運動遊び	コース		
			学校•特別支援学校	における体育	●器械運動系コー	ス		固の対応
	県営あづま総合	0./00	指導者の資質の向			ース		寺別支援
	運動公園体育館	6/26	に、各教育事務所行る体育・保健体育技					同僚性
			修県地区別研修の			ス		組織運営
*			する。		●保健コース			地域連携
建康				(11 ====)		1/		学校安全
10	体育:保健体育	, 指導力向上研修県	地区別研修	(校種)	小·中·高·特支	(研修予定人		名
	タ州本東改正の計画により	- 10		S1 基礎形成期	S2 資質成長期 S3 資	質充実期 S4 深		·副校長
	各教育事務所の計画による 県北	1日 未定			●幼児の運動遊び	コース	1 使命感等 7 神 2 教 養 等 8 年	
	県中	未定			●器械運動系コー		3本県課題9年	固の対応
		永足 8/2	体育担当教員に対 力を高める研修を行	し、実技指導	●ボール運動系コー	ース	4 学 び 構 想 10	
	県南 会津・南会津		の充実に資する。	V 、 件 月 扣 等	●水泳コース			組織運営
	相双	水 足					5 坪 孝 宇 建 1 1	旭城走召
建康	们从	土宁			●武道(柔道)コージ	ス		44.48.36.46
) 注 》	いわキ	未定 7/28			●武道(柔道)コージ ●保健コース	ス	6 生 徒 理 解 12	地域連携
	いわき	7/28		(松種)	●保健コース	_	6 生 徒 理 解 12	学校安全
11			A協議会	(校種) S1 基礎形成期	●保健コース 小· 中· 高 *****	(研修予定人	6 生徒理解 12 13 数) 750	学校安全 名
11	小·中·高学	7/28 <mark>学校体育担当者連絡</mark>	<mark>各協議会</mark>	(校種) S1 基礎形成期	●保健コース 小· 中· 高 ******	(研修予定人	6 生徒理解 12 13 数) 750 化発展期 校長	学校安全 名 ·副校長
11	小・中・高学 各教育事務所の計画による	7/28 <mark>学校体育担当者連絡</mark> 1∃	各協議会		●保健コース 小· 中· 高 *****	(研修予定人	6 生徒理解 12 13 数) 750 化発展期 校長 1 使命感等 7 社	学校安全 名 ·副校長 社会性等
11	小・中・高号 各教育事務所の計画による 県北	7/28 <mark>学校体育担当者連絡</mark> 1日 4/27		S1 基礎形成期	●保健コース //·中·高 *** S2 資質成長期 S3 資	(研修予定人	6 生徒理解 12 13 数) 750 化発展期 校長 1 使命感等 7 7 2 教 養 等 8 f	学校安全 名 ・副校長 生会性等 固の対応
11	小・中・高号 各教育事務所の計画による 県北 県中	7/28 <mark>学校体育担当者連絡</mark> 1 日 4/27 5/11	小・中・高の学校体	S1 基礎形成期 育担当者の共	●保健コース //·中·高 *** S2 資質成長期 S3 資	【研修予定人 質充実期 S4 深	6 生 徒 理 解 12 13 数) 750 化 発展期 校 長 1 使 命 感 等 7 才 2 教 養 等 8 们 3 本 果 課 題 9 寸	学校安全 名・副校長 社会性等 間の対応 寺別支援
11	小・中・高号 各教育事務所の計画による 県北 県中 県南	7/28 <mark>学校体育担当者連絡</mark> 1 日 4/27 5/11 5/9		S1 基礎形成期 育担当者の共	●保健コース //·中·高 ****** S2 資質成長期 S3 資	【研修予定人 質充実期 S4 深	6 生 徒 理 解 12 13 13 数) 750 化 発展期 校 長 1 使 命 懸 等 7 7 2 教 養 等 8 6 3 本 県 課題 9 4 4 学 び 構 想 10	学校安全 名・副校長 社会性等 固の対応 寺別支援 同僚性
11	小・中・高号 各教育事務所の計画による 県北 県中 県南 会津・南会津	7/28 <mark>学校体育担当者連絡</mark> 1 日 4/27 5/11 5/9 4/21	小・中・高の学校体 通理解を図り、一貫	S1 基礎形成期 育担当者の共	●保健コース //·中·高 ****** S2 資質成長期 S3 資	【研修予定人 質充実期 S4 深	6生徒理解 12 13 数) 750 化発展期 校長 1 使命感等 7 7 2 教 養 等 8 何 3 本県課題 9 4 4 学 び 構想 10 5 授業実践 11	学校安全 名・副校長 社会性等 個の対応 時別支援 同僚性 組織運営
	小・中・高号 各教育事務所の計画による 県北 県中 県南 会津・南会津 相双	7/28 2校体育担当者連絡 1 日 4/27 5/11 5/9 4/21 4/26	小・中・高の学校体 通理解を図り、一貫	S1 基礎形成期 育担当者の共	●保健コース //·中·高 ****** S2 資質成長期 S3 資	【研修予定人 質充実期 S4 深	6 生徒理解 12 13 数) 750 化発展期 校長 1 使命感等 7 7 2 教養等 8 f 3 本県課題 9 4 4 学び構想 10 5 授業実践 11 6 生徒理解 12	学校安全 名・副校長 社会性等局の対支援 同の対支援 同僚性 組織運営
	小・中・高学 各教育事務所の計画による 県北 県中 県南 会津・南会津 相双 いわき	7/28 P校体育担当者連絡 1 日 4/27 5/11 5/9 4/21 4/26 5/10	小・中・高の学校体 通理解を図り、一貫 を構築する。	S1 基礎形成期 育担当者の共 した指導体制	●保健コース /N·中·高 **** \$2 資質成長期 \$3 資 ●体力向上講義、私	【(研修予定人 質充実期 S4 深 研究協議	6 生徒理解 12 13 数) 750 化発展期 校長 1 使命感等 7 4 2 教 養 等 8 4 3 本 県 課題 9 4 4 学 び 構想 10 5 授業 実践 11 6 生 徒 理解 12 13	学校安全名 名 · 副校長 生 会性 等
11 建康 12	小・中・高学 各教育事務所の計画による 県北 県中 県南 会津・南会津 相双 いわき	7/28 2校体育担当者連絡 1 日 4/27 5/11 5/9 4/21 4/26 5/10 え方」を働かせ、深い	小・中・高の学校体 通理解を図り、一貫 を構築する。	S1 基礎形成期 育担当者の共 した指導体制 (校種)	●保健コース /N·中·高 ***** \$2 資質成長期 \$3 資 ●体力向上講義、 小·特支	(研修予定人 質充実期 S4 深 研究協議	6 生 徒 理解 12 13	学校安全名中国 经银行 电电子 医电子 医电子 医电子 医电子 医电子 医电子 医电子 医电子 医电子
建康	小・中・高学 各教育事務所の計画による 県北 県中 県南 会津・南会津 相双 いわき	7/28 P校体育担当者連絡 1 日 4/27 5/11 5/9 4/21 4/26 5/10	小・中・高の学校体 通理解を図り、一貫 を構築する。	S1 基礎形成期 育担当者の共 した指導体制	●保健コース /N·中·高 ***** \$2 資質成長期 \$3 資 ●体力向上講義、 小·特支	(研修予定人 質充実期 S4 深 研究協議	6 生 徒 理解 12 13 750 化 発展期 校 長 1 使 命 感 等 7 7 2 教 養 等 8 6 3 本 県 課 題 9 4 4 学 び 構 想 10 5 授 業 実 践 11 6 生 徒 理解 12 13 数) 20 化 発展期 校 長	学校安全名。·副校長 社会の対立 接 間の別別 僚 運営 組織運営 学校安全 ・副校長
建康	小・中・高学 各教育事務所の計画による 県北 県中 県南 会津・南会津 相双 いわき	7/28 2校体育担当者連絡 1 日 4/27 5/11 5/9 4/21 4/26 5/10 え方」を働かせ、深い	小・中・高の学校体 通理解を図り、一貫 を構築する。	S1 基礎形成期 育担当者の共 した指導体制 (校種)	●保健コース /N·中·高 ***** \$2 資質成長期 \$3 資 ●体力向上講義、 小·特支	(研修予定人 質充実期 S4 深 研究協議	6 生 徒 理解 12 13	学校安全 名・副校長 生 自の別支援 性 時の別支援 性 動物域連連 学校安全 ・副校長
建康	小・中・高学 各教育事務所の計画による 県北 県中 県南 会津・南会津 相双 いわき	7/28 2校体育担当者連絡 1 日 4/27 5/11 5/9 4/21 4/26 5/10 え方」を働かせ、深い	小・中・高の学校体通理解を図り、一貫を構築する。	S1 基礎形成期 育担当者の共 した指導体制 (校種) S1 基礎形成期	●保健コース / ハ·中·高	(研修予定人 質充実期 S4 深 研究協議 (研修予定人 質充実期 S4 深	6 生 徒 理解 12 13	学校安全 名・副校長 当校長 当校長 当校日対 所 領 運 連 接 を の 別 り 係 運 連 連 り り り り り り り り り り り り り り り り り
建康	小・中・高学 各教育事務所の計画による 県北 県中 県南 会津・南会津 相双 いわき 「言葉による見方・考	7/28 校体育担当者連絡 1 日 4/27 5/11 5/9 4/21 4/26 5/10 え方」を働かせ、深い 学校国語講座	小・中・高の学校体通理解を図り、一貫を構築する。 学びを実現する小 「言葉による見方・ませることと、付けたい	S1 基礎形成期 育担当者の共 した指導体制 (校種) S1 基礎形成期 ラえ方」を働か 力を付けるた	●保健コース 小·中·高 ****** \$2 資質成長期 \$3 資 ●体力向上講義、 小·特支 \$2 資質成長期 \$3 資 ●「言葉による見力 かせる国語科授業	(研修予定人 賃充実期 S4 深 研究協議 (研修予定人 賃充実期 S4 深	6 生 徒 理解 12 13 数) 750 化 発展期 校長 1 使 命 感 等 7 2 2 教 養 等 8 4 4 学 び 構 想 10 5 授 業 実践 11 6 生 徒 理解 12 13 数) 20 化 発展期 校長 1 使 命 感 等 7 2 教 養 等 8 4 3 本 県 課題 9 4 4 学 び 構 想 10 4 4 学 び 様 選 4 4 学 び 様 想 10 4 4 学 び 様 選 4 4 学 び 様 想 10 4 4 学 び 様 選 4 4 学 び 様 想 10 4 4 学 び 様 2	学校安全名 名 (
建康	小・中・高学 各教育事務所の計画による 県北 県中 県南 会津・南会津 相双 いわき	7/28 校体育担当者連絡 1 日 4/27 5/11 5/9 4/21 4/26 5/10 え方」を働かせ、深い 学校国語講座	小・中・高の学校体通理解を図り、一貫を構築する。 学びを実現する小 「言葉による見方・ませることと、付けたいめの授業の在り方に	S1 基礎形成期 育担当者の共 した指導体制 (校種) S1 基礎形成期 きえ方」を働かい力を付けるた ついて研修を	●保健コース 小·中·高 ****** \$2 資質成長期 \$3 資 ●体力向上講義、 小·特支 \$2 資質成長期 \$3 資 ●「言葉による見力 かせる国語科授業 ●「言葉による見力 かせる見き	(研修予定人 質充実期 S4 深 研修予定人 質充実期 S4 深 (研修予定人 質充実期 S4 深 デ・考え方」を側	6 生 徒 理解 12 13 数) 750 化発展期 校長 1 使命 感等 7 2 教 養 等 8 4 4 学 び 構 想 10 5 授 業 実践 11 6 生 徒 理解 12 13 数) 20 化 発展期 校長 1 使 命 感等 7 4 2 教 養 等 8 4 4 学 び 構 想 10 4 4 学 び 構 想 10	学校安全 名 ・副校長 ・副会の別の原連連連 ・副校性対応援性 ・副校性対応援性 ・副校 ・副校性対応援性 ・副校 ・副校 ・副を ・副を ・副を ・副を ・副を ・一、 ・一、 ・一、 ・一、 ・一、 ・一、 ・一、 ・一、 ・一、 ・一、
建康	小・中・高学 各教育事務所の計画による 県北 県中 県南 会津・南会津 相双 いわき 「言葉による見方・考	7/28 校体育担当者連絡 1 日 4/27 5/11 5/9 4/21 4/26 5/10 え方」を働かせ、深い 学校国語講座	小・中・高の学校体通理解を図り、一貫を構築する。 学びを実現する小 「言葉による見方・ませることと、付けたい	S1 基礎形成期 育担当者の共 した指導体制 (校種) S1 基礎形成期 きえ方」を働かい力を付けるた ついて研修を	●保健コース 小·中·高 ****** \$2 資質成長期 \$3 資 ●体力向上講義、 小·特支 \$2 資質成長期 \$3 資 ●「言葉による見力 かせる国語科授業	(研修予定人 質充実期 S4 深 研修予定人 質充実期 S4 深 (研修予定人 質充実期 S4 深 デ・考え方」を側	6 生 徒 理解 12 13 数) 750 化 発展期 校長 1 使命 感等 7 2 数	学校安全 名長 ・副校長 ・副会の別僚運連接安全 ・副会の別僚運連接安全 ・副会の別僚運連接安全 ・副会の別僚運連接安全 ・副会の別僚運連接 ・副会の別僚運連接 ・副会の別僚運連接
建康	小・中・高学 各教育事務所の計画による 県北 県中 県南 会津・南会津 相双 いわき 「言葉による見方・考	7/28 校体育担当者連絡 1 日 4/27 5/11 5/9 4/21 4/26 5/10 え方」を働かせ、深い 学校国語講座	小・中・高の学校体通理解を図り、一貫を構築する。 学びを実現する小 「言葉による見方・ませることと、付けたいめの授業の在り方に	S1 基礎形成期 育担当者の共 した指導体制 (校種) S1 基礎形成期 きえ方」を働かい力を付けるた ついて研修を	●保健コース 小·中·高 ****** \$2 資質成長期 \$3 資 ●体力向上講義、 小·特支 \$2 資質成長期 \$3 資 ●「言葉による見力 かせる国語科授業 ●「言葉による見力 かせる見き	(研修予定人 質充実期 S4 深 研修予定人 質充実期 S4 深 (研修予定人 質充実期 S4 深 デ・考え方」を側	6 生 徒 理解 12 13	学校安全 名・副校長 当校長 当校長 当校長 当の別度 第 運連抄を 名 長 等の別度 第 運連抄を名 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日
建康 12 数セ	小・中・高号 各教育事務所の計画による 県北 県中 県南 会津・南会津 相双 いわき 「言葉による見方・考 教育センター	7/28 P校体育担当者連絡 1 日 4/27 5/11 5/9 4/21 4/26 5/10 え方」を働かせ、深い 学校国語講座 9/4 (1日)	小・中・高の学校体 通理解を図り、一貫 を構築する。 学びを実現する小 「言葉による見方・ませることと、付けたい めの授業の在り方に 行い、その指導力を	S1 基礎形成期 育担当者の共 した指導体制 (校種) S1 基礎形成期 ラえ方」を働かいかかけいのいて研修を 高める。	●保健コース 小·中·高 ******* \$2 資質成長期 \$3 資 ●体力向上講義、 小・特支 \$2 資質成長期 \$3 資 ●「言葉による見力 かせる国語科授業 かせる授業づくり 第	(研修予定人 質充実期 S4 深 研究協議 (研修予定人 質充実期 S4 深 で考え方」を働 で考え方」を働	6 生 徒 理解 12 13	学校安全 名
<mark>建康</mark> 12 数セ	小・中・高号 名教育事務所の計画による 県北 県中 県南 会津・南会津 相双 いわき 「言葉による見方・考 教育センター	7/28 P校体育担当者連絡 1 日 4/27 5/11 5/9 4/21 4/26 5/10 え方」を働かせ、深い 学校国語講座 9/4 (1日)	小・中・高の学校体 通理解を図り、一貫 を構築する。 学びを実現する小 「言葉による見方・ませることと、付けたい めの授業の在り方に 行い、その指導力を	S1 基礎形成期 育担当者の共 した指導体制 (校種) S1 基礎形成期 ラントラートリントのいてのいたのでである。 (校種)	●保健コース 小·中·高 ******* \$2 資質成長期 \$3 資 ●体力向上講義、 小・特支 *** \$2 資質成長期 \$3 資 ●「言葉による見見 ** かせる国語科よる見力 かせる授業 がくり ** 中・特支 ** ・・特支 ** ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(研修予定人 質充実期 S4 深 研修予定人 質充実期 S4 深 デ・考え方」を側 デ・考え方」を側 デ・考え方」を側	8 生 徒 理解 12 13 数) 750 化 発展期 校 長 1 使 命 感 等 7 相 2 教 養 等 8 相 3 本 県 課題 9 相 4 学 び 構 想 10 5 授 業 実践 11 6 生 徒 理解 12 数 20 化 発展期 校 長 1 使 命 感 等 7 相 2 教 養 等 8 相 切 3 本 県 課題 9 相 4 学 び 構 想 10 5 授 業 実践 11 6 生 徒 理解 12 数 3 本 県 課題 9 相 4 学 び 構 想 10 5 授 業 実践 11 6 生 徒 理解 12 13 数) 16	学校安全 名長 等成 技性 対す 接 で 運 連 4 全 名 長 等 成 技 性 対 支 接 で 運 連 4 全 名 長 等 成 技 性 対 支 接 で 運 連 4 全 名 長 等 成 技 性 ご 対 支 接 で 運 連 4 全 名 長 等 成 せ で ぎ せ で さ は す な た で ご す か こ か こ か こ か こ か こ か こ か こ か こ か こ か
建康 12 数セ	小・中・高号 名教育事務所の計画による 県北 県中 県南 会津・南会津 相双 いわき 「言葉による見方・考 教育センター	7/28 P校体育担当者連絡 1 日 4/27 5/11 5/9 4/21 4/26 5/10 え方」を働かせ、深い 学校国語講座 9/4 (1日)	小・中・高の学校体 通理解を図り、一貫 を構築する。 学びを実現する小 「言葉による見方・ませることと、付けたい めの授業の在り方に 行い、その指導力を	S1 基礎形成期 育担当者の共 した指導体制 (校種) S1 基礎形成期 ラえ方」を働かいかかけいのいて研修を 高める。	●保健コース 小·中·高 ******* \$2 資質成長期 \$3 資 ●体力向上講義、 小・特支 *** \$2 資質成長期 \$3 資 ●「言葉による見見 ** かせる国語科よる見力 かせる授業 がくり ** 中・特支 ** ・・特支 ** ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(研修予定人 質充実期 S4 深 研修予定人 質充実期 S4 深 デ・考え方」を側 デ・考え方」を側 デ・考え方」を側	8 生 徒 理解 12 13	学校安全 名長 等
建康 12 数セ	小・中・高号 名教育事務所の計画による 県北 県中 県南 会津・南会津 相双 いわき 「言葉による見方・考 教育センター	7/28 P校体育担当者連絡 1 日 4/27 5/11 5/9 4/21 4/26 5/10 え方」を働かせ、深い 学校国語講座 9/4 (1日)	小・中・高の学校体 通理解を図り、一貫 を構築する。 学びを実現する小 「言葉による見方・ませることと、付けたい めの授業の在り方に 行い、その指導力を	S1 基礎形成期 育担当者の共 した指導体制 (校種) S1 基礎形成期 ラントラートリントのいてのいたのでである。 (校種)	●保健コース 小·中·高 ******* \$2 資質成長期 \$3 資 ●体力向上講義、 小・特支 *** \$2 資質成長期 \$3 資 ●「言葉による見見 ** かせる国語科よる見力 かせる授業 がくり ** 中・特支 ** ・・特支 ** ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(研修予定人 質充実期 S4 深 研修予定人 質充実期 S4 深 デ・考え方」を側 デ・考え方」を側 デ・考え方」を側	6 生 徒 理 解 12 13 数) 750 化 発展期 校 長 1 使 命 感 等 8 4 4 学 び 構 想 10 5 授 業 実 践 11 6 生 徒 理 解 12 13 数) 20 化 発展期 校 長 1 使 命 感 等 8 4 4 学 び 構 想 10 5 授 業 実 践 11 6 生 徒 理 解 12 13 数) 16	学校安全名長 単元 超時間 同組地学校安全名長 単元 超域域 安全 を 日本
建康 12 数セ	小・中・高号 名教育事務所の計画による 県北 県中 県南 会津・南会津 相双 いわき 「言葉による見方・考 教育センター	7/28 P校体育担当者連絡 1 日 4/27 5/11 5/9 4/21 4/26 5/10 え方」を働かせ、深い 学校国語講座 9/4 (1日)	小・中・高の学校体 通理解を図り、一貫 を構築する。 学びを実現する小 「言葉による見方・ ³ せることと、付けたい めの授業の在り方に 行い、その指導力を	S1 基礎形成期 育担当者の共 した指導体制 (校種) S1 基礎形成期 ラえ方」を働かいたけの所修を 高める。 (校種) S1 基礎形成期	●保健コース 小·中·高 ***********************************	(研修予定人 質充実期 S4 深 研修予定人 質充実期 S4 深 が考え方」を側 が考え方」を側 が考え方」を側 で考え方」を側 であまります。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である	6生徒理解 12 13	学校安全 名長 等 応援性対 支 係 運 連 安全 名長 等 応援性対 支 係 運 連 安全 名長 等 応援性対 支 係 運 連 安全 名長 等 応援性 対 支 僚 運 連 安全 名長 等 応援性 対 支 僚 運 連 安全 長 等 応援性 対 支 僚 運 連 安全 長 等 応援性 対 元 教 の 別 同 織 域 校 安全 長 等 応援性 対 元 教 の 別 同 織 域 校 空 声 な 名 と い の 別 の 別 の 別 の 別 の 別 の 別 の 別 の 別 の 別 の
建康 12 数セ	小・中・高号 名教育事務所の計画による 県北 県中 県南 会津・南会津 相双 いわき 「言葉による見方・考 教育センター	7/28 P校体育担当者連絡 1 日 4/27 5/11 5/9 4/21 4/26 5/10 え方」を働かせ、深い 学校国語講座 9/4 (1日)	小・中・高の学校体 通理解を図り、一貫 を構築する。 学びを実現する小 「言葉による見方・ませることと、付けたい めの授業の在り方に 行い、その指導力を	S1 基礎形成期 育担当者の共制 (校種) S1 基礎形成期 ラントウントンでは のでは、 のでは、 のでは、 のでは、 ででは、 のでは、 ででは、 のでは、	●保健コース 小·中・高 ******* \$2 資質成長期 \$3 資 ●体力向上講義、 小・特支 \$2 資質成長期 \$3 資 ●「言葉による見見業 かせる授業づくり なわせる授業がくりなる 中・特支 \$2 資質成長期 \$3 資 ●「言葉による見えまる見えままる見えままる。	(研修予定人 質充実期 S4 深 研修予定人 質充実期 S4 深 が考え方」を側 が考え方」を側 が考え方」を側 で考え方」を側 であまります。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である。 である	6生徒理解 12 13 750 化発展期 校長 1 使命 ※ 等 8 付 3 本県課題 9 年 4 学び構想 10 5 授業実践 11 6 生徒理解 12 13 数) 20 化発展期 校長 1 使命 ※ 等 8 付 5 授業実践 11 6 生徒理解 12 13 数) 16 化発展期 校長 1 使命 ※ 等 8 付 5 授業実践 11 6 生徒理解 12 13 数) 16 化発展期 校長 1 使命 ※ 等 8 付 5 授業実践 11 6 生 後 理解 12 13 数) 16 化発展期 校長 1 使命 ※ 等 8 付 3 本県課題 9 年 1 3 3 本民 1 3 3 和民 1 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	学校安全 名長 等応援性対支 (報道) 安全 名長 等応援性対支 (報道) 安全 名長 等応援性対支 (報道) 安全 の別 (報道) 安全 名長 等応援性対 安全 名長 等成 接性 対 支 (報道) 建安全 名長 等 成 接性 対 支 (報道) 安全 名長 等 成 接 (は) が 表 (は) が 表 (は) が 表 (は) が 表 (は) が 表 (は) が 表 (は) が 表 (は) が 表 (は) が 表 (は) が 表 (は) が 表 (は) が 表 (は) が 表 (は) が 表 (は) が 表 (は) が 表 (は) が ま
建康 12 数セ	小・中・高号 名教育事務所の計画による 県北 県中 県南 会津・南会津 相双 いわき 「言葉による見方・考 教育センター	7/28 校体育担当者連絡 1 日 4/27 5/11 5/9 4/21 4/26 5/10 え方」を働かせ、深い 学校国語講座 9/4 (1日)	小・中・高の学校体 通理解を図り、一貫 を構築する。 学びを実現する小 「言葉による見方たい めの授業の在り方と ではることと、付けたい ではることと、付けたい の授業のを実現す	S1 基礎形成期 育担当者の共制 (校種) S1 基礎形成期 ランカーのいてのある。 (校種) S1 基礎形成期 ランカーのいる。	●保健コース 小·中·高 ******* \$2 資質成長期 \$3 資 ●体力向上講義、 小・特支 *** \$2 資質成長期 \$3 資 ●「言葉による授業 ** ●「言葉に語科よるり ** 中・特支 ** \$2 資質成長期 \$3 資 ●「言葉に話科る見力 ** かせる授業 ** ・特支 ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **	(研修予定人 質充実期 S4 深 研修 S 定人 質充実期 S4 深 で 考え え 方 」 を 働 質充実期 S4 深 で 考え え 方 」 を 働 質充実期 S4 深	6生徒理解 12 13	学校を名長 等成 指性 固 寺 同 組 地 学 ・副 生 固 寺 同 組 地 学 ・副 生 固 寺 同 組 地 学 ・副 全 の 別 同 織 域 校 校 会 の 別 同 織 域 校 校 会 の 別 同 織 域 校 校 校 会 の 別 原 運 連 安 名 長 等 成 援 性 声 援 性 声 授 性 声 景 で 選 性 一 数 で ま か ま 性 一
建康	小・中・高号 名教育事務所の計画による 県北 県中 県南 会津・南会津 相双 いわき 「言葉による見方・考 教育センター	7/28 P校体育担当者連絡 1 日 4/27 5/11 5/9 4/21 4/26 5/10 え方」を働かせ、深い 学校国語講座 9/4 (1日) 「日)	小・中・高の学校体 通理解を図り、一貫 を構築する。 学びを実現する小 「言葉による見方たと めの授業の在り方に 行い、その指導力を による見方とと、付けたい ではなことと、付けたい	S1 基礎形成期 育担当者の共制 (校種) S1 基礎形成期 ランカーのいてのある。 (校種) S1 基礎形成期 ランカーのいる。	●保健コース 小・中・高 ******* 「S2 資質成長期 S3 資 ●体力向上講義、 ・・特支 ** 「S2 資質成長期 S3 資 ●「言葉による授業 ** ・・特支 ** ・・特支 ** ・・特支 ** ・・特支 ** ・・特支 ** ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	(研修予定人 質充実期 S4 深 研修 S 定人 質充実期 S4 深 で 考え え 方 」 を 働 質充実期 S4 深 で 考え え 方 」 を 働 質充実期 S4 深	6生徒理解 12 13 数) 750 化発展期 校長 1 使命感等 7 7 2 教 業 等 8 1 3 本 県課題 9 4 4 学び構想 10 5 授業実践 11 6 生徒理解 12 13 数) 20 化発展期 校長 1 使命	学校 名長 等応援性 ブリー 副生 固 寺 同組地学 副生 固 寺 同組 地学 副生 固 寺 同組 地学 副生 固 寺 同組 地学 で 一部会の別 の に で 一部会の別 の に で 一部会の別 の に で 一部会の別 の 原 運 連 安 名 長 生 対 支 係 運 連 接 全 名 長 等 応 援 性 営 損 全 名 ま で 援 性 営 損 全 名 ま で 援 性 営 損 全 名 ま で 援 性 営 損 全 名 ま で 援 性 営 性 営 性 営 性 営 性 営 性 営 性 営 性 営 性 営 性
建康 12 数セ	小・中・高号 名教育事務所の計画による 県北 県中 県南 会津・南会津 相双 いわき 「言葉による見方・考 教育センター	7/28 P校体育担当者連絡 1 日 4/27 5/11 5/9 4/21 4/26 5/10 え方」を働かせ、深い 学校国語講座 9/4 (1日) 「日)	小・中・高の学校体 通理解を図り、一貫 を構築する。 学びを実現する小 「言葉による見方たい めの授業の在り方と ではることと、付けたい ではることと、付けたい の授業のを実現す	S1 基礎形成期 育担当者の共制 (校種) S1 基礎形成期 ランカーのいてのある。 (校種) S1 基礎形成期 ランカーのいる。	●保健コース 小·中·高 ******* \$2 資質成長期 \$3 資 ●体力向上講義、 小・特支 *** \$2 資質成長期 \$3 資 ●「言葉による授業 ** ●「言葉に語科よるり ** 中・特支 ** \$2 資質成長期 \$3 資 ●「言葉に話科る見力 ** かせる授業 ** ・特支 ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **	(研修予定人 質充実期 S4 深 研修 S 定人 質充実期 S4 深 で 考え え 方 」 を 働 質充実期 S4 深 で 考え え 方 」 を 働 質充実期 S4 深	6生徒理解 12 13 数) 750 化発展期 校長 1 使命	学校 名長 等応援性対支 僚 運携 全名 長 等応援性 対支 僚 運賃 安 名長 等応援性 対支 僚 運賃 安 名長 性対支 僚 運賃 安 名長 性対支 僚 運運 安 名長 性対 交 僚 運運 連安 名長 性対 交 僚 運運 連安 名長 性 対 た 援 性 三 損 全 名 し 等 応 援 性

		研修名·講座名		(校種)		(研修)	予定人数)	
No.				S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期	
	場所	期日(日数)	目	的	力	容		<u>資質·能力</u>
14		受業改善に結び付く)評価問題作成・研	⊅≇	(校種)	中·高·特支 S2 資質成長期	S3 資質充実期	予定人数) S4 深化発展期	12 朝 校長·副校县
-	四部件の	/ <u>計画问题TF/以"明</u> 	九神圧	31 基礎形成期	32 貝貝瓜技期	33 貝貝兀夫州		市感等 7社会性
			評価問題の作成を	通して作問力	●適切な評価	と評価問題の		養等8個の対
	*** * * * * *	0 /= 0 /0	の向上を図るととも			16 14 1 37 5		具課題 9 特別支
	教育センター オンライン	8/7-8/8 (2日)	流を深めながら検記により、今、求められ			の指導と評価	山問題 4学で	が構想 10 同僚
	.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	(= 1.7	問題の在り方につ	いて考察を深	●説明的文章	教材の指導に		美実践 11組織道
** 1-1			め、授業の改善を図	る。	て等		6 生 征	走理解 12地域道
教セ	主体的, 批評的	 で深い学びのための	 の言語活動な	(校種)	 中·高·特支	(研修3	予定人数)	13学校安
15		る国語科授業づくり		S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期	
-	111000		HI J ALL				1 使 f	市感等 7 社会性
			主体的・対話的で活			話的で深い学	をびの 2 教	養等8個の対
	教育センター	10/5-10/6	する理解を深めると 型読解力の視点に		■ DICA 刑 誌 船	7力の視点に。	よる授 ^{3 本 県}	具課題 9 特別支
	オンライン	(2日)	選」や「言語活動の			のたりもについ		が構想 10 同僚
			た授業づくりの研修			け話的で深い:	学ィド リファ	実践 11組織週
教セ			的な指導力の向上を	に凶る。	のための言語	舌動の構想 等	等	走理解 12地域通 13学校安
	地域表材の数	」 女材化を通して授業	 が楽 くかろ	(校種)		(研修予	_ 予定人数)	16
16	75~2640 V 43	社会科講座	W-#U\&\	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期	
			111 S			!	1 使 6	市感等 7社会性
			地域素材の教材化物のもつ独特の性質		●応与刀•刊降	断力・表現力を	を育む 2 教	養等8個の対
	教育センター	7/21	的特殊性」と他地域	はにも見られる	反業づくり	・地域素材を	477. % n±:	具課題 9特別支
	オンライン	7/24 (2日)	「一般的共通性」といく授業づくりの研		間を位置づける	る単元構想	4字(が構想 10 同僚
		(21)	元を構想する力と授				H In 1/674	集実践 11組織選 走理解 12地域選
教セ			図る。		V 7 月午1人 (C FI) () i	二 以 和 守	0 ± 1/	13学校多
	地理歴史科(_ cおける地理総合・ <u>B</u>	歴史総合の	(校種)	 高·特支	(研修う	- 予定人数)	12
17		授業づくり講座		S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期	y 校長·副校县
					• +1 • W > =	1. +v > 1> 10		市感等 7社会性
			新学習指導要領に			万・考ス万を側	- ,,,	
	教育センター	8/22	科目における「主体	的・対話的で		CT +	本ま、 3 本男	具課題 9特別支
			深い学び の視点を	・取り入れた授	●忠有刀•刊牌	ガブ・表現刀を	月む 4学で	が構想 10 同 僚
	4X H CV /	(1日)	深い学び」の視点を 業づくりの研修を行		●忠考力・刊度 授業づくり		4字7	が構想 10 同僚 美実践 11組織道
	WH CV				●忠考刀・刊的 授業ズノN		4字7	美実践 11組織選 走理解 12地域選
教セ		(1日)	業づくりの研修を行向上を図る。	い、授業力の	● 応考力・刊度 授業づくり ● 地理歴史科 的な講義 等	教育に関する	4字で 専門 5授業 6生命	集実践 11組織選 走理解 12地域選 13学校安
教セ 18	社会科·地理歷史	(1日) 科・公民科における	業づくりの研修を行向上を図る。 社会に参画する	い、授業力の	● 思考力・刊版 授業づくり ● 地理歴史科 的な講義 等 中・高・特支	教育に関する	專門 5 授第 6 生 6 予定人数)	集実践 11組織選
	社会科·地理歷史	(1日)	業づくりの研修を行向上を図る。 社会に参画する	い、授業力の	● 応考力・刊度 授業づくり ● 地理歴史科 的な講義 等	教育に関する	專門 5 授第 6 生命 5 大数 5 大数 5 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	漢実践 11組織選 走理解 12地域選 13学校安 12 切 校長・副校長
	社会科·地理歷史	(1日) 科・公民科における	業づくりの研修を行向上を図る。 社会に参画する	い、授業力の (校種) S1 基礎形成期	● 芯	教育に関する	專門 5 授第 6 生命 5 大数 5 大数 5 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	集実践 11組織選 12地域選 13学校安 12 12 財 校長・副校長 7社会性
	社会科·地理歷史	(1日) <mark>科・公民科における 育成する授業づくり</mark> 講	業づくりの研修を行向上を図る。 社会に参画する	い、授業力の(校種)S1 基礎形成期+・公民科にお	● 芯	教育に関する (研修う 33 資質充実期	事門 5 授募 6 生 6 分	集実践 11組織選 12地域選 13学校多 12 12 財 校長・副校士 12 財 校長・副校士 8 個の対
	社会科·地理歷史	(1日) 科・公民科における	業づくりの研修を行向上を図る。 社会に参画する 整 社会科・地理歴史和 ける社会に参画する に育ませることの意	い、授業力の (校種) S1 基礎形成期 +・公民科におる意識を生徒 義とその指導	● 社会に参画の	教育に関する (研修予 S3 資質充実期 iする意識を育 意義と指導法	専門 5 授業 6 生 名	集実践 11組織選 12地域選 13学校安 12 切 校長・副校長 前 厳等 7社会性 養 等 8個の対 表 課題 9 特別支 5 株 想 10 同僚
	社会科・地理歴史力を	(1日) 科・公民科における 育成する授業づくり請	業づくりの研修を行向上を図る。 社会に参画する 体座 社会科・地理歴史 ける社会に参画す	い、授業力の (校種) S1 基礎形成期 +・公民社を生導る 義とその研修を づくりの研修を	● 社会に参画の	教育に関する (研修予 S3 資質充実期 iする意識を育 意義と指導法	専門 5 授業 6 生名 5 授業 6 生名 5 授業 6 生名 5 授業 7 日東 1 日東 2 教 3 本 男 4 学で 5 授業 5 授	*実践 11組織選 12地域選 13学校 5
18	社会科・地理歴史力を	(1日) 科・公民科における 育成する授業づくり請	業づくりの研修を行向上を図る。 社会に参画する 体座 社会科・地理歴史和 ける社会に参画する に育ませることの意法について、授業・	い、授業力の (校種) S1 基礎形成期 +・公民社を生導る 義とその研修を づくりの研修を	● 芯	教育に関する (研修予 S3 資質充実期 iする意識を育 意義と指導法	専門 5 授業 6 生名 5 授業 6 生名 5 授業 6 生名 5 授業 7 日東 1 日東 2 教 3 本 男 4 学で 5 授業 5 授	* 実践 11組織選 主理解 12地域選 13学校タ 12 加 校長・副校長 高感等 7社会性 養 等 8個の対 景課題 9特別支 が構想 10 同 僚 業実践 11組織選 主理解 12地域選
18	社会科・地理歴史 力をす 教育センター	(1日) 科・公民科における 育成する授業づくり 9/4 (1日)	業づくりの研修を行向上を図る。 社会に参画する 体 社会に参画する 社会科・地理歴史 ける社会に参画す に育ませることの意 法について、授業・ 行い、授業力の向上	(校種) S1 基礎形成期 中・公民融を生指導る る義ととの指修を で図る。	● 法	教育に関する (研修予 S3 資質充実期 iする意識を育 意義と指導法 iする力を育り	専門 5 授事 6 生名 5 授事 6 生名 5 授事 7 で 3 本男 7 で 5 授事 6 生名 5 使事 6 生名 6 使事 6 生名 6 使事 6 生名 6 使事 6 使	*実践 11組織選 12地域選 13学校 5
18	社会科・地理歴史 力をす 教育センター	(1日) 科・公民科における 育成する授業づくり請	業づくりの研修を行向上を図る。 社会に参画する 体 社会に参画する 社会科・地理歴史 ける社会に参画す に育ませることの意 法について、授業・ 行い、授業力の向上	い、授業力の (校種) S1 基礎形成期 +・公民社を生導る 義とその研修を づくりの研修を	● 芯	教育に関する (研修予 S3 資質充実期 iする意識を育 意義と指導法 iする力を育り	専門 5 授業 6 生名 5 授業 6 生名 5 授業 6 生名 5 授業 7 日東 1 日東 2 教 3 本 男 4 学で 5 授業 5 授	大
18	社会科・地理歴史 力をす 教育センター	(1日) 科・公民科における 育成する授業づくり 9/4 (1日)	業づくりの研修を行向上を図る。 社会に参画する 体 社会に参画する 社会科・地理歴史 ける社会に参画す に育ませることの意 法について、授業・ 行い、授業力の向上	い、授業力の (校種) S1 基礎形成期 +・公民科にお る意とその指を をとその研修を を図る。 (校種)	● 表	教育に関する (研修う S3 資質充実期 iする意識を育 意義と指導法 iする力を育り	専門 5 授事 6 生 6 を 7 を 7 を 7 を 7 を 7 を 7 を 7 を 7 を 7 を	大樓 10 向 僚 12 地域 13 学校 5
18	社会科・地理歴史 力をす 教育センター	(1日) 科・公民科における 育成する授業づくり請 9/4 (1日) 活動の充実を図る技	業づくりの研修を行向上を図る。 社会に参画する 体座 社会科・地理歴史 社会社会に念せることの意法について、授業・ 行い、授業力の向上 大学では、対策を	(校種) S1 基礎形成期 ・公意ととの研修を ・公認を生導を が図る。 (校種) S1 基礎形成期	● 大学 (1) では、	教育に関する (研修う S3 資質充実期 (する意識違を 意義と指導法 (する力を育り (研修う S3 資質充実期	専門 5 授業 6 生 6 を 7 を 7 を 7 を 7 を 7 を 7 を 7 を 7 を 7 を	大 集実践 11組織選 12地域短 13学校 9 12
18	社会科・地理歴史力をする 対象 オーマンター 第数科「数学的	(1日) 科・公民科における 育成する授業づくり 第 (1日) 活動の充実を図る技	業づくりの研修を行向上を図る。 社会に参画する 体座 社会科・地理歴史 ける社会に念との業・ 行い、授業力の向上 と 数材の本質をとらえ 学的活動を充実させ	(校種) S1 基礎形成期 ・公意とと指して を図る。 (校種) S1 基礎形成期 こを図る。	● 大学 (1) では、	教育に関する (研修う S3 資質充実期 iする意識導を 言義と力を育ら S3 資質充実期 数学的活動の	専門 5 授業 6 生名 5 授業 6 生名 5 授業 7 大 5 授業 7 大 5 授業 7 大 5 授業 6 生名 5 授業 7 大 5 任 2 教	* 実践 11組織選 12地域技 12地域技 12地域技 12 13学校タ 12 13学校タ 12 13学校タ 7社会性 8 個の対 8 等 8 個の対 8 業 課題 9 特別支 第 2 課題 12地域選 13学校タ 32 14 15 15 15 15 15 15 15 15 15 15
18	社会科・地理歴史 力をす 教育センター	(1日) 科・公民科における 育成する授業づくり 第 (1日) 活動の充実を図る技 【I班]8/4・8/7 (2日) 【I班]8/4・8/8	業づくりの研修を行向上を図る。 社会に参画する 体座 社会和・地理歴史 社会社会にあること授 に育ませるて、授業力の向上 を 教材の本質をとらえ 学的に考える資質・能	い、授業力の (校種) S1 基礎形成期 中・公意とと指している。 を図る。 (校種) S1 基礎形成期 るとと竜のが授種 なり、カを可が授業	●授業 で (で を 数 が の の を ま を で で で で で で で で で で で で で で で で で	教育に関する (研修予S3 資質充実期 iする意識をを言う義と指導法iする力を育り (研修予S3 資質充実期 数学的活動の(教材分析と数	専門 4 学で表現する 5 授業 6 生名 6 生名 3 本男で表現する 7 成する 4 学で表現する 6 生名 2 教男で表現する 7 女学の 4 学で表現する 7 女子の方式を表現する 4 学でまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	* 実践 11組織選 12地域技 12地域技 12地域技 12地域技 12地域技 12地域技 12地域 5 8 6 8 6 9 7 社会性 13学校 5 3 2
18	社会科・地理歴史 力をする 教育センター	(1日) 科・公民科における 育成する授業づくり記 9/4 (1日) 活動の充実を図る搭 【1班]8/4・8/7 (2日)	業づくりの研修を行向上を図る。 社会に参画する 体座 社会科・地理歴史 ける社会に念との業・ 行い、授業力の向上 と 数材の本質をとらえ 学的活動を充実させ	い、授業力の 「校種」 「大種」 「大型では、 「大力では、 「一な 「一な 「一な 「一な 「一な 「一な 「一な 「一な	● 大学 (1) で (1)	教育に関する (研修予S3 資質充実期 iする意識をを言う義と指導法iする力を育り (研修予S3 資質充実期 数学的活動の(教材分析と数	専門 5 授妻 6 生名 5 受妻 6 生名 5 受妻 6 生名 5 受妻 7 を 7 を 6 生名 5 受妻 7 を 7 を 7 を 7 を 7 を 7 を 7 を 7 を 7 を 7	* 実践 11組織選 12地域選 12地域 13学校 5
18	社会科・地理歴史 力をする 教育センター	(1日) 科・公民科における 育成する授業づくり 第 (1日) 活動の充実を図る技 【I班]8/4・8/7 (2日) 【I班]8/4・8/8	業づくりの研修を行向上を図る。 社会に参画する 整 社会に参画する を 社会に参画する を 社会に参画する を 社会ない。 社会を はたることである。 とだっている。 を ない、授業力の向上 を ない、授業力の向上 を ない、授業力の方法を ない、表対の方法を ない、表対の方法を ない、表対の方法を ない、表対の方法を ない、表対の方法を を を ない、表対の方法を ない、表述を ない、表述	い、授業力の 「校種」 「大種」 「大型では、 「大力では、 「一な 「一な 「一な 「一な 「一な 「一な 「一な 「一な	●授業 で (で を 数 が の の を ま を で で で で で で で で で で で で で で で で で	教育に関する (研修予S3 資質充実期 iする意識をを言う義と指導法iする力を育り (研修予S3 資質充実期 数学的活動の(教材分析と数	専門 5 授妻 6 生名 5 受妻 6 生名 5 受妻 6 生名 5 受妻 7 を 7 を 6 生名 5 受妻 7 を 7 を 7 を 7 を 7 を 7 を 7 を 7 を 7 を 7	* 実践 11組織選 12地域技 12地域技 12地域技 12地域技 12地域技 12地域技 12地域 5 8 6 8 6 9 7 社会性 13学校 5 3 2
18 教セ 19 教セ	社会科・地理歴史力をする 教育センター 教育センター オンライン	(1日) 科・公民科における 育成する授業づくり 第 (1日) 活動の充実を図る技 【I班]8/4・8/7 (2日) 【I班]8/4・8/8	業づくりの研修を行向上を図る。 社会に参画する 体座 社会に参画する 体座 社会に参画する 体座 社会科・地理歴史を ける行うできると、一般 大きない、授業力の向上を 教材の本質を充資を からさらさらい。 教材の本質をを実質を かられば、 教材の本質ををできる。 おいてものの向上を図る	い、授業力の 「校種」 「大種」 「大型では、 「大力では、 「一な 「一な 「一な 「一な 「一な 「一な 「一な 「一な	●授業 で (で を 数 が の の を ま を で で で で で で で で で で で で で で で で で	教育に関する (研修う S3 資質充実期 iする意識導を i 表と力を 育成 (研修う S3 資質充実期 数学的活動の (ツ) (教材分析と数等	専門 5 授妻 6 生名 5 受妻 6 生名 5 受妻 6 生名 5 受妻 7 を 7 を 6 生名 5 受妻 7 を 7 を 7 を 7 を 7 を 7 を 7 を 7 を 7 を 7	* 実践 11組織選 11組織選 11組織選 11名
18 教セ 19	社会科・地理歴史力をする 力をする 教育センター 教育センター オンライン	(1日) 科・公民科における 育成する授業づくり 第	業づくりの研修を行向上を図る。 社会に参画する 体座 社会に参画する 体座 社会に参画する 体座 社会に参画する 体座 社会をしませた。 はたい、授業方のの大変である。 教材のないで、 対のないで、 はいで、 はいで、 はいで、 はいで、 はいで、 はいで、 はいで、 は	(校種) S1 基礎形成期 い、授業力の S1 基礎形成期 い公意ととの研修 (校種) S1 基礎形成期 おる義とりのる。 (校種) S1 基礎形成期 なととして、数質形成力をそのです。 なととものかいた。	● 大字 (教育に関する (研修う S3 資質充実期 iする意識導を i 表と力を 育成 (研修う S3 資質充実期 数学的活動の (ツ) (教材分析と数等	事 4 字 表	大大大 14 14 14 15 16 16 16 16 16 16 16
18 教セ 19 教セ	社会科・地理歴史力をする 力をする 教育センター 教育センター オンライン	(1日) 科・公民科における 育成する授業づくり 9/4 (1日) 活動の充実を図る技 【I班]8/4・8/7 (2日) 【I班]8/4・8/8 (2日)	業づくりの研修を行向上を図る。 社会に参画する 体座 社会に参画する 体座 社会に参画する 体座 社会に参画する 体座 社会をしませた。 はたい、授業方のの大変である。 教材のないで、 対のないで、 はいで、 はいで、 はいで、 はいで、 はいで、 はいで、 はいで、 は	い、授業力の (校種) S1 基礎形成期 ・公意ととの話とのの。 (校種) S1 基礎形成期 おたで図る。 (校種) S1 基礎形成期 おたりのる。 (校種)	● 持期	教育に関する (研修う S3 資質充実期 する意識導をを指導を指導を指導を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を	専門 4字 5 授業 6 生名 3 本学でまる 4 学授業 4 学授業 5 投機 5 女子 5 女子 2 教男 5 投機 5 投機 5 投機 5 投機 6 生命 5 投機 6 生命 5 投機 6 生命 5 投機 6 大機 7 大機 8 大機 9 大機 1 大機 2 大機 2 大機 2 大機 2 大機 3 大機 4 大機 5 大機 6 大機 7 大機 8 大機 9 大機 1 大機 2 大機 2 大機 3 大機 4 大機	* 実践 11組織 23
18 教セ 19 教セ	社会科・地理歴史力をする 力をする 教育センター 教育センター オンライン	(1日) 科・公民科における 育成する授業づくり 9/4 (1日) 活動の充実を図る技 【I班]8/4・8/7 (2日) 【I班]8/4・8/8 (2日)	業づくりの研修を行向上を図る。 社会に参画する 整 社会に参画する を 社会に参画する を 社会に参画する を 社会ない。 はたるでは、 はたい、授業がののでは、 ない、授業がのが、 ない、 を 教材のない。 ないでは、	い、授業力の 「校種」 「大種」 「大力で、 「大力で 「大力で 「大力で 「大力で 「大力で 「大力で 「大力で 「大力で 「大力で 「大力で 「一な 「 「 「 「 「 「 「 「	● 大字 (ベッカラ)	教育に関する (研修予S3 資質充実期 である意識導を有意義と打を育り) (研修予S3 資質充実期 を表します。 (研修予S3 資質充実期 数学的活動の(教材分析と数等 である。)	事 4 字 3 本 9 で 3 本 9 を 9 を 3 本 9 を 9 を 9 を 3 本 9 を 9 を 9 を 3 本	* 実践 11組織選 12 地域 12 地域 12 地域 13 学校 5
18 教セ 19 教セ	社会科・地理歴史力を言 力を言 数育センター 教育センター オンライン 教える授業が数	(1日) 科・公民科における 育成する授業づくり 9/4 (1日) 活動の充実を図る技 【I班]8/4・8/7 (2日) 【I班]8/4・8/8 (2日)	業づくりの研修を行向上を図る。 社会に参画する 体座 社会に参画する 体座 社会に参画する 体座 社会に参画する 体座 社会をしませた。 はたい、授業方のの大変である。 教材のないで、 対のないで、 はいで、 はいで、 はいで、 はいで、 はいで、 はいで、 はいで、 は	い、授業力の 「校種」 「大種形成期 ・公意とりのる。 「校種」 「大力、」。 「校種」 「大力、」。 「校種」 「大力、」。 「校種」 「大力、」。 「校種」 「大力、」。 「校種」 「大力、」。 「大力、、」。 「大力、、一、、一、、一、、一、、一、、一、、一、、一、、一、、一、、一、、一、、一	● 大学 中	教育に関する (研修う S3 資質充実期 iする意識導を 意義と指導法 iするので (研修う S3 資質充実期 数学的活動の (教材分析と数等 (研修う S3 資質充実期 (研修う S3 資質充実期 科が目指すれ	事 4 字 3 5 授 4 6 生 4 数 上 4 字 2 5 女 2 4 字 2 6 生 4 5 授 4 5 女 2 4 字 2 5 女 2 4 字 2 5 女 2 4 字 2 5 女 2 4 字 2 6 生 4 5 授 4 7 女 2 4 字 2 8 女 2 4 字 2 9 女 2 3 本 9 1 女 3 4 字 3 1 女 3 4 字 3 2 女 4 4 字 3 3 本 9 4 字 3 3 本 9 4 字 3 4 字 3 4 字 3 5 子 4 5 子 5 6 生 4 5 子 5 7 日 5 5 子 5 8 日 5 5 子 5 9 日 5 5 子 5 9 日 5 5 子 5 9 日 5 5 子 5 9 日 5 5 子 5 9 日 7 5 子 5 9 日 7 5 日 5 9 日 7 5 日 5 9 日 7 5 日 5 9 日 7 5 日 5 9 日 7 5 日 5 9 日 7 5 日 5 9 日 7 5 日 5 9 日 7 5 日 5 9 日 7 5 日 5 9 日 7 5 日 5 9 日	大大大 1 1 1 1 1 1 1 1
18 教セ 19 教セ	社会科・地理歴史力をする 力をする 教育センター 教育センター オンライン	(1日) 科·公民科における 育成する授業づくり 第 9/4 (1日) 活動の充実を図る技 【I班]8/4・8/7 (2日) 【II班]8/4・8/8 (2日)	業づくりの研修を行向上を図る。 社会に参画する 体座 社会に参画する 体座 社会に参画する 体座 社会をしまする ・地にあることである ・地にあるに、大力のがに、大ののができると、でのができる。 本性ののができるが、ないのができる。 本がいたりののののができる。 本がいたりののののができる。 本がいたののののがいたが、数学のの行りがいたができる。 本がいたののでは、おいてののでは、おいてののでは、おいてののでは、おいてのできる。 本がいたのできる。 本がいたのできる。 本がいたが、数学ののでは、おいてのできる。 本がいたのできる。 本がいたい、 本がいたのできる。 本がいたいのできる。 本がいたいのできる。 本がいたのできる。 本がいたいできる。 本がいたのできる。 本がいたいできる。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	い、授業力の 「校種」 「大種形成期 「大道では、 「は、 「は、 「は、 「は、 「は、 「は、 「は、 「	●授●的 S2 資	教育に関する (研修う S3 資質充実期 (研修う S3 資質充実期 (研修う S3 資質充実期 (研修す S3 資質充実期 (の) (教材) (教材と数等 (研集期 の) S3 資質充実期 (研修う S3 資質充実期 (研修う S3 資質充実期 (の) S3 資質充実期 (研修う	専門 4 字 接 5 長生 6 生 6 生 2 本学 6 生 4 字 接 5 長生 4 字 接 5 女 5 長生 2 本学 4 字 接 5 女 2 本学 6 生 4 字 接 5 女 4 字 接 6 生 5 日本 6 生 5 日本 7 日本 2 本学 8 日本 3 本学 6 生 4 字 接 7 日本 4 字 接 8 日本 4 字 接 9 日本 4 字 接 1 日本 4 字 接 1 日本 4 字 接 2 日本 4 字 接 3 日本 4 字 接 4 日本 4 字 接 4 日本 4 字 長 5 日本 4 字 長 6 日本 4 字 長 7 日本 4 字 長 8 日本 4 字 長 9 日本 4 字 長 1 日本 4 字 長 1 日本 4 字 長 2 日本 4 字 長 3 日本 4 字 長 4 日本 4 字 長 5 日本 4 字 長 6 日本 4 字 長 7 日本 4 字 長 8 日本 4 字 長 9 日本 4 字 長 1 日本 4	* 実践 11組織選 12 世級 12 世級 12 世級 12 世級 13 学校 5
18 教セ 19 教セ	社会科・地理歴史力を言 力を言 数育センター 教育センター オンライン 教える授業が数	(1日) 科·公民科における 育成する授業づくり 第 9/4 (1日) 活動の充実を図る技 【I班]8/4·8/7 (2日) 【I班影/4·8/8 (2日) いら子どもが学ぶ授 学科授業改善講座 11/24	業づくりの研修を行向上を図る。 社会に参画する 体座 社会に参画する 体座 社会に参画する 体座 社会をしまする ・地にあることである ・地にあるに、大力の活ったが、 がからに、大のの話ったが、 なりのがあるののののがあるが、 なりののののがあるが、 なりののののがあるが、 なりののののが、 なりののののが、 なりののののが、 なりののののが、 なりののののが、 なりののののが、 なりののののが、 なりのののが、 なりのののが、 なりのののが、 なりのののが、 なりののが、 なりのが、 なりのが、 なりのが、 なりのが、 なりのが、 なりのが、 なりのが、 なりのが、 ないが、 ないが、 ないが、 ないが、 ないが、 ないが、 ないが、 ない	い、授業力の 「校種」 「大種形成期 「大道では、 「は、 「は、 「は、 「は、 「は、 「は、 「は、 「	● 大型 (1) では、	教育に関する (研修う S3 資質充実期 (研修う S3 資質充実期 (研修う S3 資質充実期 (研修す S3 資質充実期 (の) (教材) (教材と数等 (研集期 の) S3 資質充実期 (研修う S3 資質充実期 (研修う S3 資質充実期 (の) S3 資質充実期 (研修う	事 1 5 6 4 7 3 4 7 3 4 5 6 4 5 6 2 3 4 5 6 2 3 4 7<	* 実践 11組織選 12 世級 12 世級 12 世級 12 世級 13 学校 5
18 教セ 19	社会科・地理歴史力を言 力を言 数育センター 教育センター オンライン 教える授業が数	(1日) 科·公民科における 育成する授業づくり 第 9/4 (1日) 活動の充実を図る技 【I班]8/4·8/7 (2日) 【I班影/4·8/8 (2日) いら子どもが学ぶ授 学科授業改善講座 11/24	業づくりの研修を行向上を図る。 社会に参画する 体座 社会に参画する 体座 社会に参画する 体座 社会をしまする ・地にあることである ・地にあるに、大力のがに、大ののができると、でのができる。 本性ののができるが、ないのができる。 本がいたりののののができる。 本がいたりののののができる。 本がいたののののがいたが、数学のの行りがいたができる。 本がいたののでは、おいてののでは、おいてののでは、おいてののでは、おいてのできる。 本がいたのできる。 本がいたのできる。 本がいたが、数学ののでは、おいてのできる。 本がいたのできる。 本がいたい、 本がいたのできる。 本がいたいのできる。 本がいたいのできる。 本がいたのできる。 本がいたいできる。 本がいたのできる。 本がいたいできる。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	い、授業力の 「校種」 「大種形成期 「大道では、 「は、 「は、 「は、 「は、 「は、 「は、 「は、 「	●授●的 S2 資	教育に関する (研修う S3 資質充実期 (研修う S3 資質充実期 (研修う S3 資質充実期 (研修す S3 資質充実期 (の) (教材) (教材と数等 (研集期 の) S3 資質充実期 (研修う S3 資質充実期 (研修う S3 資質充実期 (の) S3 資質充実期 (研修う	事 1 5 6 4 7 3 4 7 3 4 5 6 4 5 6 2 3 4 5 6 2 3 4 7<	大大大 1 1 1 1 1 1 1 1

		研修名·講座名		(校種)			予定人数)		名
No.	場所			S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展		<u>.</u>
		期日・日数 の 評価に対応する高 等	1 .	的 (校種)	高·特支		予定人数)	<u>資質·能力</u> 16	名
21		単元・授業づくり講座	471XM711	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展		
教セ	教育センター	8/28 (1日)	観点別学習状況の るための単元・授業 通じて、生徒の学習 見取る力、ならびに ントカの向上を図る。	づくりの研修を 状況を的確に 授業マネジメ	から総括まで ●観点別学習 する単元・授	習状況の評価 業づくり 学習に取り組	の計画 2 教 (2 教 に対応 4学 な態度 5 授)	命感等 7 社会性	応援性営携
	新課程に	:対応した高等学校勢	以 数学科	(校種)	 高·特支	(研修	_ 予定人数)		名
22		充計授業づくり講座		S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展	期 校長·副校县	
教セ	教育センター	10/2 (1日)	中学校・高等学校・ 視し、統計的探究フ した生徒の問題解 につながる授業づく 用した指導法の研修 識見と指導力の向上	°ロセスを意識 快や意思決定 りと、ICTを活 逐を行い、その	●ICTを活用 ●統計的探? Cサイクル)を	した指導法 究プロセス(P] 意識した生徒 決定につなが	型 2 教 3 本 9 PDAC の問題 る授業 5 授 9	命感等 7 社会性 養等 8 個の対 具課題 9 特別支 構想 10 同僚 業実践 11組織選 建理解 12地域選	応 援 性 営 携
23		目を輝かせて学びを	進める	(校種)	小·特支	T	予定人数)		名
	Į.	<mark>里科授業づくり講座</mark> 「		S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展		_
教セ	教育センター	8/10 (1日)	児童が関心や意欲: 考え方を自在に働か 力を育む授業の在り 研修を行い、その識 向上を図る。	っせて資質・能 方についての	●問いを引き察、実験の工	と出す事象提 夫	2 ネや観 3本 4学 かせる 5授	県課題 9 特別支び構想 10 同僚	応援性営携
0.4	B-1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1	 	₩	(校種)	 中·特支	(研修		10	名
24	見万・考え万を豊	łかにする中学校理科	教材つい講座	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展	期 校長·副校長	Mil
教セ	教育センター	8/9 (1日)	生徒が見方・考え方めの観察・実験の指に伴う教材づくりのの研修を行い、そのの向上を図る。	導法や、それ 工夫について	指導法や教材	片・考え方を働	実験の 3本! かせる 5 授:	命感等 7 社会性	応援性営携
25	科学的に探究する	る力を育成する理科		(校種)	中·高·特才	と (研修	予定人数)	16	名
教セ	教育センター	7/20 (1日)	単元づくりや授業~ 実践的な研修を通し物・現象を科学的に に必要な資質・能力 導力を高める。	て、自然の事 探究するため	的な講義等 ●科学的に持	というないと関す なったないで関す	る専門 3本 育成す 4学 5授	期 校長・副校長・副校長・副校長・副校長・副校長 巻 8 個の対	等応援性営携
26	宣笙兴	· 校理科観察·実験	達	(校種) 高·	特支 ※理科実習	助手対象(研修	予定人数)	20	名
20	विस्		T	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展		
教セ	教育センター	前期:7/13 後期:8/7	「主体的・対話的で 視点を取り入れた物 物、地学に関する観 を行い、自然の事 学的に探究するた。 質・能力を育成する る。	1理、化学、生 な・実験の研 ない・現象を科 ない必要な資	の視点を取り 生物、地学に	入れた物理、	2 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	命感等 7 社会性養等 8 個の対 景課題 9 特別支 ば構想 10 同僚 業実践 11組織選 達理解 12地域週 13学校安	応援 性 営 携
27	主体的に表現する	る児童を育てる小学	校外国語講座	(校種)	小·特支		予定人数)	_	名
教セ	教育センター	11/2 (1日)	言語活動を中心に授業の在り方につめ、授業の改善を図	いて理解を深	●学習指導 の授業の在り	算の成果と課題 要領が求める。 方 表現する児童	1使 2 教 2 教 3 本 4学 を育て 5 授	命感等7社会性	等応援性営携

		 研修名·講座名		(校種)		(研修	予定人数)	名
No.	III			S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期	校長·副校長
	場所	期日・日数 学習状況の評価のた	•	的 (校種)	中・高・特支			Y質·能力 16 名
28		ーマンス評価実践講		S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期	校長・副校長
	前期: 教育センター	前期: 7/13	パフォーマンス課題 する力を高める実践 して、観点別学習状	的な研修を通 況の評価を適	●外国語科に ス課題とループ	在り方 こおけるパフォ ブリック	3 本県 4 学 び	 等 8 個の対応課題 9 特別支援構想 10 同僚性
教セ	後期: オンライン	後期: 9/29	切に行う力を高める。		●外国語科に ス評価の在りフ		6 生徒	
29		力、表現力を育成		(校種)	中·高·特支		予定人数)	16 名
	火 記	吾授業づくり実践講 母	<u>é</u> I	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期 1 使 命	校長・副校長
教セ	教育センター	10/2 (1日)	教科書を活用した言 方について理解を終 力を育成するための 図る。	深め、資質・能	●外国語指導●教科書を注	用した指導法	2 教 ³ 3 本 県 4 学 び	等等 8 個の対応 課題 9 特別支援 構想 10 同僚性 実践 11組織運営
30		ための英語スキル向	5 上研修	(校種)	中·高	(研修	予定人数)	30 名
30	关 品教員の	パンはカの大品スイルト	-1 T.M. IS	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	<u> </u>	校長·副校長
	前期: 教育センター	前期: 8/4	ョーロッパ 共 通 i (CEFR)でB2レベル 獲得を目指す中学	レの英語力の	●ilフーンガラ	スキルとリーラ	1 使命 2 教 ³ ディング 4 学び	奏 等 8 個の対応 課題 9 特別支援
-	中期: 教育センター	中期: 10/16	の英語教員に対し、 向上させる研修を行 語で行うための英語	い、授業を英 力の向上を図	●スピーキングスキルの向_ ● 授業に生か		イティン 5授業 6 生 徒	実践 11組織運営 理解 12地域連携
教セ	後期: オンライン	後期: 11/24	るとともに、本県の美 実に資する。					13学校安全
31	ICTで変わる音	·楽の授業づくり講座	(小学校編)	(校種) S1 基礎形成期	小·特支 S2 資質成長期	S3 資質充実期	予定人数) 84 深化発展期	小16 名 校長·副校長
教セ	教育センター	11/1 (1日)	音楽の授業におけ 的な活用法について 末等の演習や講義・ 学び、授業力の向上	、タブレット端 協議を通して	□ 本事利にも		0 平 県	 等8個の対応 課題9特別支援 構想10同僚性 実践11組織運営
32	ICTで変わる音楽(の授業づくり講座(中学	:・高等学校編)	(校種)	中·高·特支		予定人数)	中高16 名
教セ	教育センター	11/13 (1日)	音楽の授業におけ 的な活用法について 末等の演習や講義・ 学び、授業力の向上	、タブレット端 協議を通して	□□・本本利にも		用の視 3 本県 4 学び	等 8 個の対応課題 9 特別支援構想 10 同僚性実践 11組織運営
33	児童・生徒が音楽	* を好きになる!歌『	唱抬遵法 講座	(校種)	小·中·高·特		予定人数)	16 名
教セ	教育センター	11/8 (1日)	コロナ禍でも児童生: 唱をする楽しさを味る音楽授業の在り方 技演習等を通して学 と指導力を高める。	わうことのでき 「について、実	●コロノ愉に いて ● 卒源お捉き		1 使命 2 教 才 導につ 3 本県	等 8 個の対応課題 9 特別支援構想 10 同僚性実践 11組織運営
34		·判断力·表現力を		(校種)	中·高·特支	(研修	予定人数)	12 名
04		旨導法講座(ギター)		S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期	校長·副校長
教セ	教育センター	10/19 (1日)	器楽における技能が て表現意図を表すた のとなるよう、思考力 現力を育む指導法。 を深め、指導力の向	めに必要なも カ・判断力・表 について理解	●思考力・刊 器楽指導	力 力	4 学 び	等 8 個の対応課題 9 特別支援構想 10 同僚性実践 11組織運営
<i></i>					İ			, , , , , ,

, I		——————— 研修名·講座名		(校種)	1		予定人数)	名
No.	場所	期日・日数		S1 基礎形成期 的	S2 資質成長期 グ	S3 資質充実期 容		_{校長・副校長} 質・能力
		77,1	<u>'</u>	(校種)	/ 小·特支			12 名
35	楽しみながら力を	を伸ばす図画工作和	斗指導法講座	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	1	校長·副校長
教セ	教育センター	10/24 (1日)	創造することの楽し 思考・判断し、表現 形的な創造活動の を育てる図画工作の について、授業実 を通して学び、その を高める。	するなどの造 基礎的な能力 指導の在り方 浅事例の演習	●図画工作科の	の授業づくり 等	1 使命 2 教 ∄ 3 本県 4 学び 5 授業 6 生徒	等 8 個の対応 課題 9 特別支援 構想 10 同僚性 実践 11組織運営
36	創造性を育む図	 画工作・美術の鑑賞	上 賞指導法講座	(校種)	小・中・高・特		予定人数)	12 名
			1	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期 1 使命	校長・副校長 7 社会性等
教セ	福島県立美術館	11/1 (1日)	小学校図画工作、中校美術の鑑賞の指義や演習を通して、鑑賞の意義等を理美術館と連携しながの在り方や教材研び、その識見と指導	導に関する講 教育における 解する。また、 ら鑑賞の指導 究の仕方を学	■感性を働か●学校と美術いて●響賞教育の	いせるプログラス 「館の連携活動 Oこれから 等	2 教 3 本 県	等 8 個の対応 課題 9 特別支援 構想 10 同 僚 性 実践 11組織運営
37	創告性を資	すむ美術の表現指導	法講座	(校種)	中·高·特才		予定人数)	10 名
] "	AND IT C		TARTE	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期		校長·副校長
教セ	教育センター オンライン	10/12-10/13 (2日)	中学校・高等学校 指導について学び 講義、鑑賞演習を通 育における表現の する。また、表現の する。まが、の仕方 識見と指導力を高め	、制作演習や 動して、美術教 意義等を理解 指導の在り方 を学び、その	●表現の発想		1 使命 2 教 ∄ 3 本 県 4 学 び 5 授業 6 生 徒	課題 9 特別支援 構想 10 同僚性 実践 11組織運営
00	# + T 1		_=#	(校種)	高·特支	(研修	:予定人数)	11 名
38	発想と打	技法を学ぶ書道実技	講坐	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期	校長·副校長
教セ	教育センター	10/27 (1日)	書に関する見方・ せ、書の伝統と文化 る資質・能力を育成 導に関する講義や 諸技法や構想、鑑 び、その識見と指導	と豊かに関わ するための指 寅習を通して、 賞の仕方を学	●書道の表現	記鑑賞 等	1 使命 2 教 1 3 本 県 4 学 び 5 授業 6 生 徒	等 8 個の対応 課題 9 特別支援 構想 10 同 僚性 実践 11組織運営
39	海部が共工な川	見童生徒のための体	- 杏化道: # 位	(校種)	小·中·高·特	支 (研修	:予定人数)	30 名
39	連動が古子なり	た里生使のための14	N 月 拍 导	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期	校長·副校長
教セ	教育センター	8/9 (1日)	運動が苦手な児童: 背を向ける一次的; て理解するとともに ド・スポーツ」の考え 体育の授業づくりの: しながら学び、実践 高める。	な原因につい 、「アダプテッ 方を踏まえ、 ポイントを体験	徒への体育指 ●運動が苦言	髪を必要とする 旨導 手な児童生徒	児童生 2 教 3 3 本 県 4 学 び	課題 9 特別支援 構想 10 同僚性 実践 11組織運営
40	1 ↓ 1 ⇔端また日	用した保健体育の	四業づ仏法広	(校種)	小·中·高	(研修	予定人数)	20 名
40	「八」日細木でた	1用した体度体育の	以来 ノい時圧	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期	校長·副校長
教セ	教育センター	11/10 (1 日)	保健体育の授業に 端末の効果的な活 いて授業実践事例 て学び、指導力の向	用の仕方につ の演習を通し	用のポイント ●1人1台端 育の授業構想 ●1人1台端		SICT活 2 教 3 3 本県 保健体 4 学び 5 授業	課題 9 特別支援 構想 10 同僚性 実践 11組織運営
41		力を高める技術科講		(校種) ※	中·特支 中学校免許外教科担任	任受講可 (研修	予定人数)	10 名
+	(情報	B·エネルギー変換約	編)	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期	校長·副校長
教セ	教育センター	8/10、8/22 (2日)	中学校技術科の教: な基礎的・基本的な 習得し、実践的な指 図る。	:知識と技術を	技術に関する ●技術分野ルグに関する指	におけるプログ 導の在り方 -変換の技術・	情報の 2 教 3 項 グラミン 4 学び	課題 9 特別支援 構想 10 同 僚 性 実践 11組織運営
<i>></i> /\ _			I		1			- 7 00 0 =

10 10 10 10 10 10 10 10			——————— 研修名·講座名		(校種)		(研修	予定人数)		ŕ
全型 実際科の指導力向上をかざす (長藤 今正人数) 10 10 10 10 10 10 10 1	No.	II						S4 深化発展		校長·副校長
基接 基本講座(被服編) 日東的成 ② 東京美國 日東の大阪 日東の大阪		, ,						7 T L W L		
教育センター 8/9 28名本語像の・東本的シ密教社 12 年代 12 日本 1	42						-	1		
数百センター 8.79 8.7			· 基本再座 (S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期			交長·副校長 7 社会性
43	教セ	教育センター		必要な基礎的・基本 能を習得し、実践的	的な知識と技	の課題 ●主体的・対 実現を図る家履 ●生活を豊か	話的で深い 医科教育	指導上 2 ^新 学びの 4学 布を用 ^{5 授}	て養等 県課題 び構想 業実践	8個の対 9特別支 10同僚
報告の表現 3		クタル関ナス ナ	と道の女中なみぞナ	安克科莱布	(校種)	中·高·特支	(研修	予定人数)	1	
数音センター	43		百等の元夫を の ご 9	多庭俗講座	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展	期	校長·副校長
(Python-JavaSoript鋼) 51 基度形成期 52 資政疾期 53 資政疾期 54 受免受限期 55 支援政疾期 55 受担党 55 元	教セ			保育分野の専門的 能、指導法について	りな知識や技 学び、実践的	上の課題 ●これからの保育 ●今日の幼児教 ●保育分野の授	育学習に求めら 育について	2 割 3 本 れるもの 4 学 5 授	て養等 県課題 び構想 業実践	8個の対 9特別支 10 同僚
Si 基連邦域 Si 変質成数 Si 変質成数 Si 変質成数 Si 変質成数 Si 変質成数 Si 変数を発展 Si 変数を発展 Si 変数を発展 Si 変数を発展 Si ze xi	11	問題の発見・解決	央に向かうプログラミ	ング指導講座	(校種)	高·特支	(研修	予定人数)	4	10 1
高等学校情報料におけるプログラ	44				S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展	期	校長·副校長
学校教育相談基本講座	教セ	教育センター		ミング指導法の研修題の発見・解決型の 観点別学習状況の 定など、専門的な知	を通して、問 の授業づくり、 評価の場面設	と指導上の課題 ●プログラミン: ●問題の発見 り ●観点別学習	題 グ指導の在り ・解決型の授	首指導 2 [*] 3 本 2 [*] 5 授 5 授	養等 県課題 び構想 業実践	10 同僚
S 美雄形成期 S 養殖形成期 S 養殖用集期 S 変化発展期 S 変化発展 S 変数 S S 変数 S S 交数 S S S S S S S S S	4 E	24 1		7	(校種)		(研修	予定人数)	4	10 4
数を	45	子化	义	E	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展	期	校長·副校長
大田 11/13	教セ	教育センター		技能について実践	的な研修を行	接		相談面 3 本 4 学 5 授	て養等 県課題 び構想 業実践	8個の対 9特別支 10 同僚 11組織運
教育センター	46			対組む	(校種)		(研修	予定人数)	2	20 4
学校教育相談を実施・運営する上	70		教育相談実践講座		S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展	期	校長·副校長
A	教セ	教育センター		で必要な理論と技能となる。	能について実	●解決思考ア ●解決思考ホ	プロート ワイトボードミ	2 教 3 本 ーティ 5 授	て 養 等 県課題 び構想 業実践	8個の対 9特別支 10 同僚 11組織運
数前と児童生徒の信頼関係及び 児童生徒相互の好ましい人間関係が関係をでいて、演習を中心とした実践的な研修を行い、その指導力を高める。 本学の構造 1使命感等 7.2 数 養 等 8.4 表別	47		노····································		(校種)		(研修	予定人数)	4	10 4
数	4 /	人间関係づくりに	土かりアめ・開発的	教育怕談 講座	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展	期	校長·副校長
A8 スマホ時代のいじめの理解と対応講座	教セ	教育センター	,	児童生徒相互の好係づくりに役立つ子教育相談活動につ中心とした実践的な	ましい人間関 ・防・開発的ないて、演習を :研修を行い、	●校種共通編 ●校種別編		2 3 3 本 4 学 5 授	て 養 等 県課題 び構想 業実践	8個の対 9特別支 10同僚 11組織運
***********************************	48	スマホ時代	このいじめの理解と対	応講座		※実習助手受講可				- ,
教セ 13			10/16	いじめ防止対策推め防止基本方針に めな対応の在り方と 状について理解す 然防止、早期対応	進法及びいじ 基づいた組織 、いじめの現 るとともに、未	いじめ防止すの現状理解いじめ対応と	対策推進法と	1 使 2 射 いじめ 3 本 4 学 5 授	● 命感等 ス 養 等 県課題 び構想 業実践	8個の対 9特別支 10 同僚 11組織運

No.	場所不登	研修名·講座名 期日・日数		S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	\$4 深化	化発展期	校長·	ᆒᄽᇀᆝ
49		期日・日数					•			
49	不登		<u> </u>	的	小・甲・局・特支		7		質·能	
		校の理解と対応講	座	(校種)	※実習助手受講		予定人		50	名
				S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	54 深1	化発展期 1 体 会 🕏	_	副校長
教セ	教育センター	9/27 (1日)	不登校についての。 方とその指導援助の ついて実践的な研修 に不登校児童生徒 めの力を高める。	の在り方などに を行い、実際	●不登校の理			1 使命2 教養3 本県 調本4 学び様5 授業 実6 生徒 理	等 8 個 見 9 特 想 10 以 11 組 2 解 12 地	の対応 別支援 同僚性 組織運営
-				(校種)	小·中·高·特支 ※実習助手受講	. (研修	予定人	数)	30	名
50	校務処理	に生かす表計算活	用講座	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期		化発展期	校長·	副校長
教セ	教育センター	10/24 (1日)	校務処理におけるまな機能についての9を行い、その技術とる。	実践的な研修				1 使命感 2 教養 3 本県課 4 学び構 5 授業実 6 生徒理	等 8 個 題 9 特 想 10 以 以 以 以 以 以 以 以 以 以	会性等 の対応 同僚性 関 織運 携 世域連携
E 1		よのIOTエロ中吐き	生命(美数で)	(校種)	小·中	(研修	予定人	.数)	30	名
51		:めのICT活用実践語	再座(莪務糸)	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	\$4 深化	化発展期	校長・	副校長
教セ	教育センター	11/6 (1日)	タブレットPC等の取:おける効果的な活用業力向上を図るととCTの活用を推進で導力を高める。	法を学び、授 もに、校内でI	●効果的なI のポイント	CT活用事例 操作法	と活用	1 使命感 2 教養 3 本県 講 4 学 び 構 5 授業 実 6 生徒 理	等 8 個 見 9 特 想 10 是 践 11 約 1 解 12 均	会性等 の対支援 同僚運進 地域 逆数 を が変性 の が変性 の の の の の の の の の の の の の の の の の の の
52	極業も向上のため	bのICT活用実践講座	(古体県状玄)	(校種)	高	(研修	予定人	.数)	30	名
52	授耒川門上の/50	りのし 活用夫践講座	(高寺子校系)	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	\$4 深化	化発展期	校長·	副校長
教セ	教育センター	10/31 (1日)	タブレットPC等の取 おける効果的な活用 業力向上を図るとど CTの活用を推進で 導力を高める。	l法を学び、授 もに、校内でI	●効果的なI のポイント	CT活用事例 操作法	と活用	1 使命息2 教養3 本県調4 学び構5 授業集6 生徒理	等 8 個 見 9 特 見 10 見 11 編 1 2 出	会性等 同の対支援 同僚運営 地域連携 せず交全
53	グル	活用するクラウドサー	-ビフ宇建護広	(校種) 小	中·高·特支 ※実習即	カ手受講可 (研修	予定人	.数)	30	名
55	グループラエアで	西田 9 もつ フラドサー	こへ天成講座	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	\$4 深化	化発展期	校長·	副校長
教セ	教育センター	7/21 (1日)	校内グループウ: Google Workspace の活用法を学び、れ を推進するための知 める。	for Education 交務の情報化	● 校内グループリ ● 校内グルー 用	ェアの概要 ープウェアとし 交内共有サイト		4字ひ棟	等 8 個	会性等 同の支援 同僚運 地域連携 世域安全
	エジもたちが す	と とえ合い、高め合う	――――――――――――――――――――――――――――――――――――	(校種)	<u> </u> 小·中·特3	5 (研修	予定人	数)	40	名
54	1 6 0/2/9/1/9	学級活動講座	1 10X C - 7 (10)	S1 基礎形成期	S2 資質成長期			化発展期		副校長
教セ	教育センター	7/21 (1日)	自主的・実践的な質問の充実を図るため 方についての研修を 見と指導力の向上を	学級活動の時 の指導の在り ごでい、その識	学級活動にト子どもたちう特別活動	こおける指導の が支え合い、 が支え合い、	つポイン 高め合	1 使命感 2 教 養 3 本 県 課 4 学 び 構	等 7 社 等 8 個 計 題 9 特 計 想 10 計 器 11系 1 2 解 12 的	会性等 の対応 別支援 同僚性 組織運営 地域連携
EE	<u>+</u> + + + + + + + + + + + + + + + + + +	上《茶本化海上产	上業体	(校種)	小·中·高·特	支 (研修	予定人	.数)	16	名
55	放 射線・	防災教育指導力向.	上再座	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	\$4 深(化発展期	校長·	副校長
教セ	コミュタン福島 福島県環境創造セン ター交流棟	8/4 (1日)	放射線・防災教育の 指導のポイントを学 校行事等における! 想する研修を通して 指導力の向上を図る	充実に向けた び、授業、学 指導内容を構 、、その識見と	●放射線教育 ●指導内容 <i>0</i>	「		1 使 命 感 を を を を を を を を を を を を を を を を を を	等 7 社 等 8 個 見 9 特 想 10 以 11 以 12 以 12	会性等 の対応 別支援 同僚性 組織運営 地域連携

		——————— 研修名·講座名		(校種)		1	予定人数)	名
No.		期日・日数		S1 基礎形成期 的	S2 資質成長期 大	S3 資質充実期 容	S4 深化発展期	校長・副校長
	72.1	****	<u> </u>	(校種)	<u> </u>	, H	 予定人数)	₹質·能力 30 名
56		が自己の生き方を表 習·探究の時間授業		(1) (1)		1,9112	1	· · ·
教セ	教育センター	12/1 (1日)	探究の見方・考え大 断的・総合的な学習 して、よりよく課題を の生き方を考えて 質・能力を育成する の向上を図る。	を行うことを通 解決し、自己 いくための資	●総合的な学 授業づくり ●総合的な学		2 教 3 本県	構想 10 同僚性 実践 11組織運営
	小学歩プロ	ーーーー Iグラミング教育を取	リスカト	(校種)		(研修	——─ 予定人数)	30 名
57	-1K>F	授業づくり講座	,97(40)=	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期	校長·副校長
教セ	教育センター	8/28 (1日)	プログラミング教育 た指導のポイントを 等における指導内 研修を通して、その の向上を図る。	の充実に向け 学び、各教科 容を構想する	●小学校プロ 要 ●プログラミン	ュグラミング教 ングに関する:	1 使命 2 教 ³ 3 本 県	感等 7 社会性等
58		ある行動力の育成を	目指した		小・中・高・	1	予定人数)	40 名
	情	報モラル教育講座		S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期		校長・副校長 7 社会性等
教セ	教育センター	7/27 (1日)	情報化社会が進展 ターネットの現状をたちに情報モラルシーを身に付けさせたな情報モラル教工とを図る。	理解し、子ども や情報リテラ けるための、新	●インターネッ ●ワークショッ ミュニケーショ ●ワークショッ を育てる授業	ップ「適切で楽 ンを考える」 ップ「責任ある	2 教 il 3 本 県 4 学 び	集 等 8 個の対応課題 9 特別支援構想 10 同僚性実践 11組織運営
59	子どものほ	成長を見取り評価に	生かす	(校種)	小·特支	(研修	予定人数)	30 名
教セ	教育センター	7/14 (1日)	道徳科の授業の充 の評価を生かした実 通して、指導力の向	践的な研修を			4 学 75	 等 8 個の対応 課題 9 特別支援 構想 10 同僚性 実践 11組織運営
60		<mark>成長を見取り評価に</mark>	生かす	(校種)	中·特支		予定人数)	20 名
教セ	教育センター	P 学校道徳科講座 10/19 (1日)	道徳科の授業の充の評価を生かした実通して、指導力の向	践的な研修を	S2 資質成長期 ●評価を生だづくり ●道徳科によ	83 資質充実期 いした道徳科のおける評価の	2 教 3 の授業 4 学び 5 授業	構想 10 同僚性
6.1	美護教諭のため	のお道士白し誰広	(掛色加墨海)	(校種)	小·中·高·特支 ※養護教諭対象		予定人数)	50 名
61	食暖牧訓のため	の指導力向上講座	(水心处固補/	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期	校長·副校長
教セ	教育センター	8/22 (1日)	児童生徒の生命に 置・危機管理を中心 研修を通して、複雑 童生徒の健康課題 専門性と実践力の向	いに、実践的な 多様化する児 解決に向けた	理解 ●学校におい 実際とその対 ●自校の健 協議 等	東課題解決に	る知識 2 教 3 3 本 県 4 学 び	構想 10 同 僚 性 実践 11組織運営
62	養護教諭のため	の指導力向上講座の	(保健教育編)	(校種)	小·中·高·特支 ※養護教諭対象		予定人数)	30 名
教セ	教育センター	11/17 (1月)	主体的・対話的で注点を取り入れたTT 個別の保健指導にな研修を通して、複 児童生徒の健康課 た専門性と実践力の	による授業や 関する実践的 雑多様化する 題解決に向け	実現を目指し ●保健教育/ に向けた協議	た保健教育のこ関する授業	学びの 2 教 3 0在り方 の改善 4 学び	構想 10 同僚性 実践 11組織運営

NI-		——————— 研修名·講座名		(校種)	00 7455 17545		予定人			名
No.	場所	期日・日数		S1 基礎形成期 的	S2 資質成長期 内	S3 資質充実期 容	\$4 深化		_{校長・副} 質・能力	
	,. ,	幼児児童生徒の基礎に	·	(校種)	<u> </u> 幼保こ・小・中		予定人		30	名
63		気づく」から始めよう~		S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	\$4 深化	2発展期	校長·副	
					●発達障がい	Aの特性の理	日 46万 (章葉	1使命原		
			発達障がいのあるst	九児児童生徒	義)		-741 (1114	2 教養		
	特別支援教育センター	7/4	の基礎的な理解と	適切な対応の	●背景·要因 る演習	、支援や対応	に関す	3 本 県 訓 4 学 び 相		原性
	11777	(1日)	仕方について研修を しての専門性の向上		●診断を受け			5 授 業 第		
					後についてきる講義)	える(外部)講	師によ	6生徒理	里解 12地均	域連携
特セ				(校種)	/4/D = /\	(TTI 16-	マ스 1 :	**	13学村	
64		切児・児童のライフステー きた」を未来(あした)へつ		(校/埋) S1 基礎形成期	幼保二·小 S2 資質成長期	S3 資質充実期	予定人		30 校長·副	名 校長
								1使命原		
			発達障がいのある幼	加児・児童のラ	●発達障がい ライフステー			2 教 養	等 8 個 の	り対応
		8/8	イフステージに応し	ごた課題や特	援(講義)	V (=):0 / C	.,	3本県部		
	特別支援教育センター	(1日)	性・困難さへの支援 を行い、幼児・児童		●子どもの可			4 学 び 相 5 授 業 写		僚 性 織運営
			とともに指導力の向。	上を図る。	す教育機会のス検討(協議)	り提供のため	のケー		里解 12地均	
特セ					2、何天自1(1/1/时发)				13学	校安全
65		生徒のライフステージ		(校種)	中·高	(研修	予定人	数)	30	名
	~豊かる	は現在(いま)が未来を	名く~	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	\$4 深化		校長·副	
					● 30 (土 8本.1*)	· n+ 7 4 4 a	n= /	1 使命 8 2 教 養		
			発達障がいのある生 テージに応じた課題		●発達障がいるステージに応				果題 9 特別	
	特別支援教育センター	8/23 (1日)	さに応じた支援につ	いて研修を行	する講義 ●主体的な過	主政決定のた	めの指	4 学 び 相	萬想 10 同	僚性
		(1 H)	い、生徒理解を深め	るとともに、指	導の実際(グ)	レープ協議)	0.2 ¢2 1E	5授業男	実践 11組約	織運営
特セ			(1)3 (1)1122 [1] 00		●外部講師に	よる講義		6生徒理	里解 12地址	
		<u></u>		(校種) 幼·	<u> </u> 保こ・小・中・高	: 特支 (研修	予定人	₩)	30	校安全
66		合うところがスタートラ	イン~	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	\$4 深化		校長·副	
								1使命原		
			 特別な教育的支援	が必要な外国		受の必要な幼児	児児童	2 教 養		り対応
	特別支援教育センター	8/2	児童生徒やその保	護者との教育	●教育相談で		こと	3 本 県 記 4 学 び 相	果題 9 特 B	
	的加久级教育 CV /	(1日)	相談の基本姿勢にを深め、実践力の向		(講義·演習) ■教育相談	の進め方(講	義・演	5授業男		
					習)	· > /C -> > (III)		6生徒期	里解 12地均	域連携
特セ				(11 ==>					13学村	
67		な育相談(応用編) ムでつくる笑顔の相談	-火		保こ・小・中・高			_	30	名
	70-7-	ムでうる大阪の伯	议 ^r	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	\$4 深化		校長・副	
									等 8 個 O	
		0./05	様々な幼児児童生		●組織的に勢 (講義)	で育相談を進め	かるとは	3本県訓	果題 9 特別	削支援
	特別支援教育センター	9/27 (1日)	相談に対して、校内で、情報を整理し、		教育相談にペアレントト		で会ら	4 学 び 柞		僚性
			向上を図る。		支援(外部講			5授業36生徒到		織運営
特セ								0 生 徒 3		域連携 校安全
	指導	に活かすアセスメン	'	(校種) 幼	<u></u> 保こ・小・中・高	·特支(研修	予定人	数)	30	一 名
68		印りたい子どもたちの		S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	\$4 深化		校長·副	
			₩ +n + =+	らい ユュ へ・						
			検査報告書の読み 幼児児童生徒の実		●子ども理解	について、心	理アセ		等 8 個 σ 果題 9 特 β	
	特別支援教育センター	7/21 (1日)	ついて理解をし、日合いや授業への活	々のかかわり	スメントの活用	(講義)		4 学 び 相		
		(11)	て考えることで、実					5 授業 9	実践 11組約	織運営
# + 1			図る。					6生徒到	里解 12地址	
特セ	早期も	いらの一貫した教育す	5摇	(校種) 幼·	 保こ・小・中・高	·特支 (研修	予定人	数)	13学村	校安全 名
69		ニーズの整理と学びの		S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期			校長·副	
								1使命愿	該等 7 社 d	会性等
			幼児児童生徒に適	切わせ道エエッヒ	●教育支援のおいま			2 教養		
	特別支援教育センター	9/12	必要な支援を提供し	ていくための	●教育的二			3 本 県 記 4 学 び 相	果題 9 特 B	別支援
	ロルコス・扱う人日 こくグー	(1日)	方法と連携について 援教育の実践力の「		習) ●一貫した耄	女育支援を宝	現する			
				, — C PA 00	連携の在り方) I) 'a		里解 12地址	
特セ									13学村	校安全

		 研修名·講座名		(校種)		(研修	予定人数	女)		名
No.				S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化多			副校長
	場所	期日・日数		的	<u> </u>	, 1	2 th 1 #		質·能	
70		支援学級の授業の弁 に学べる授業を考え		(校種) S1 基礎形成期	小·中 \$2 資質成長期	S3 資質充実期	予定人数 S4 深化勢		30 校長・	名 副校長
特セ	特別支援教育センター	8/22 (1日)	特別支援学級の授業 経営に関わる応用 通して、実践力の向	養づくりや学級 事項の研修を	●特別支援 ^生 業づくり、学級	学級の教育課 及経営の充実(学級の授業の	程と授 講義) 実際、 5	使命愿 教養	菜等 7 社 等 8 個 果題 9 特 4 想 10 8 認 11 組 上解 12 出	上会性等 目の対応 特別支援 同僚性 組織運営 地域連携 学校安全
	白立活動の指導の	 充実(小学校、中学校	· 喜等学校編)	(校種)	 小·中·高	(研修	予定人数	4)	30	子校女宝
71		と具体的な指導内容		S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化多			副校長
特セ	特別支援教育センター	7/13 (1日)	自立活動の意義や 具体的な指導内容(る研修を通して、自 る指導力の向上を図	の設定に関わ 立活動に関す る。	●実態把握が 容の設定(演 ●自立活動 (協議)	の指導方法の	指導内 4 の工夫 5 6	使命系数 養 教 集 製 学 び 様 男 学 び 様 業 手 登 集 美 重 生 徒 理	等 8 個 果題 9 特	生会性等 の対支援 同僚運営 地域連携 学校
72		指導の充実(特別支		(校種)	特支		予定人数	_	30	名
	~;	<mark>指導事例から学ぶ〜</mark> 		S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	\$4 深化多			副校長
特セ	特別支援教育センター	10/3 (1日)	自立活動の個別の打業実践の協議を通し 指導について探究 自立活動の指導力の	て、効果的なするとともに、	●自立活動 価、自立活動	の指導の工	講義)3 夫と評 と改善 5	教養	等 8 個 果題 9 特 考想 10 民践 11 組 里解 12 出	上会性等 あの対 支援 同僚性営制 制御連携 学校安全
	特別支援学	└ ዾ校における教科指達	算の充実	(校種)	 特支	(研修	予定人数	女)	30	名
73		印的障がい国語編へ		S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化药	発展期	校長·	副校長
特セ	特別支援教育センター	9/21 (1日)	知的障がいのある」 めの各教科につい 省著作教科書の活 践事例についての研 各教科の指導力の向	て、文部科学 用や各校の実 肝修を通して、	学習上の特性本、国語の授 ●各教科の指	いのある児童生と教育的対 生と教育的対 業づくり(講義 旨導実践事例 各教科の指:	応の基 3) の発表	学び構	等 8 個 果題 9 特 	生会性等 間の対応 時別支援 同僚性 組織運営 地域連携 学校安全
74		<mark>べいのある子どもの学</mark>		(校種)	特支	(研修	予定人数	女)	30	名
74	~伝わ	る・伝えたい関係づく	⟨IJ∼	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化药			副校長
特セ	特別支援教育センター	7/5 (1日)	重度・重複障がいの 生徒の行動の見取りい、授業づくりにつ 通して、指導力の向)やかかわり合 いての研修を	教科指導の在 ●児童生徒の)かかわり(協調 の理解と授業	義) 4 きづくり 5	教養	果題 9 特 10	上会性等 動の対応 特別支援 同僚性 組織運営 地域連携 学校安全
75		後学校における授業((校種)	特支		予定人数	_	30	名
	<u>~~~~</u> ~~確かな	<mark>、学びに向かう授業で</mark>	<u> </u>	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化到		校長・	副校長
特セ	特別支援教育センター	9/5 (1日)	カリキュラム・マネジ た特別支援学校によりや評価に関するの 授業構想や学習評 取組に関する知識・ 上を図る。	らける授業づく 肝修を通して、 価、組織的な や実践力の向	の設定と評価 ●カリキュラ↓ えた授業づく による講義)	ヘ・マネジメント りの在り方(外	価規準 講義) を踏ま 部講師 6	2 教養 3 本県部 1 学び構 5 授業 9 5 生徒 理	等 8 個 果題 9 特 想 10	の対応 特別支援 同僚性 組織運営 地域連携 学校安全
76		「能性や個性を伸ば [、] なませい進路は		(校種)	特支		予定人数		30	名
特セ	〜一人一人の多 特別支援教育センター	<mark>5様な幸せと進路実</mark> 10/5 (1∃)	境に向けて〜 障がいのある児童生現に向けた教育活ついて理解を深め主体的な進路決定 導力の向上を図る。	動の在り方に 、一人一人の	\$2 資質成長期●進路指導の●実践発表●卒業後の豊るためには(協		講義) 3 実現す	使命愿	等 8 個 等 8 個 果題 9 特 移 10 電践 11 組 E 解 12 出	副校長 上会性等 あの対応 時別支援 同僚性 組織運営 地域連携 学校安全

		研修名·講座名		(校種)		(研修	予定人数)		名
No.		你修石 神座石		S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展	期 校長·副校	長
	場所	期日・日数	目目	的	Þ	容 容		資質·能力	
77		けるICTの活用(基		(校種)	特支	(研修	予定人数)	30	名
, ,	~やってみよ	う!写真·動画を使 [.]	った授業~	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展	朝 校長·副校	長
	特別支援教育センター	9/8 (1日)	ICT活用の基本を生標準アプリ等の活用の体験的な研修を通授業に活かす視点導力の向上を図る。	方法について 通して、ICTを	●ICT機器活	用について事	4学	K DK KE - 19 33 3	支援 後性
特セ	₩/-+	はなりての活用(内	田佑)	(校種)	特支	(工)	予定人数)	13学校5	
78		けるICTの活用(応		(1) (1)		1			名
	~主体的4	学びを支える実践の	の共有~	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展		
特セ	福島県環境創造セン ター交流棟 「コミュタン福島」	8/10 (1日)	主体的な学習を支え 関する研修を通して 実践力を高めるとと 徒の情報活用能力 めの指導力の向上を	、ICT活用の もに、児童生 を育成するた	用、情報活用 ●実践報告と	能力(講義) 協議 トる先進事例の	3本 4学 の紹介 5授	び構想 10 同 億	対 接 と と と と と と と と と と と と と と と と と と と

③ 専門研修Ⅲ

		研修名·講座名		(校種)		(研修	予定人数)	1	名
No.		训修石 再座石		S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期	校長·副校長	:
	場所	期日(日数)	F	的	ď	容 容	Ì	資質·能力	
79	#= #		<u> </u>	(校種)	幼・小・中・ア	高 (研修	予定人数)	250 4	名
73	184	手担当有则九勋嵌 五	×.	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期	校長·副校長	2
				•	●本県の教育	育課題、県教		感等 7社会性 養 等 8個の対	-
	tel -ta s	4/13-4/14	指導担当者に対し		策、指導の重	点、生徒指導	上の諸 3本県	課題 9特別支	援
	教育センター	(2日)	力と識見を高める研の資質の向上を図る			課程実施上の で改善、教科			
			の負負の同工で囚る	⁷ 0	導、等	以以音、秋竹	6生徒		_
義高								13学校安	
80		中学校教育課程研究		(校種)	幼・小・中・ア	高 (研修	予定人数)	140 4	名
00	各教科等	担当指導主事事前	協議会	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発展期	校長·副校長	:
							1 使 命		等
			お送担かれるお	丰田孙松送	●本県の教育	育課題、学校	管理運2数	養等8個の対	応
	教育センター	8/4	指導担当者に対し 力と識見を高める研						按性
	4A H C V	(1日)	の資質の向上を図る		題、指導計画				
					導、等		6生徒		_
義務								13学校安	全

(4)特別研修

		 研修名·講座名		(校種)		(研修	予定人	数)	名
No.			_	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	\$4 深化		校長·副校長
	場所	期日(日数)	目	的	卢				·能力
1	全国	<mark>へき地教育研究大</mark>	会	(校種)	小中		予定人		2 名
				S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深1		校長·副校長
									7社会性等
					●文部科学征	当及び全国へ	、き批教		8個の対応
			へき地教育に関す		育研究会の計画による。			3本県課題	9特別支援
	姫路市市民会館他	10/12~10/13 (2日)	指導方法等に関すい、担当教員の指導			を会及び協議	会での	4 学び構想	10 同僚性
		(,	図る。	.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	●会場校にお	おける発表会	及び協	5授業実践	11組織運営
					議会での研修	*		6生徒理解	12地域連携
義務									13学校安全
	外国	人児童生徒等に対す	上 する	(校種)	小・中	(研修	予定人	数)	1 名
2		E指導指導者養成在 語		S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期			校長·副校長
								1 使命感等	7社会性等
			学校全体での外国	人児童生徒の				2 教 養 等	8個の対応
			受け入れ体制の整	備、関係機関		去人教職員支	援機構		9特別支援
	一手用块土	10/16~10/19	との連携、日本語技 について、必要な知		の計画による	0		0 平 示 酥 烃	
	三重県津市	(4日)	せ、各学校や地域	における本研	●日本語初界			4 学 び 構 想	10 同僚性
			修内容を踏まえた研 ントを推進する指導					5授業実践	11組織運営
			る。	1 2///				6生徒理解	12地域連携
義務									13学校安全
3	小学校におけ	る外国語教育指導	老姜成研修	(校種)	/]\	(研修	予定人	数)	2 名
0	が子(人)に8517	671四四秋月11年		S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	\$4 深化	上発展期 村	校長·副校長
					- ×1. 1. // >		. I = 12k I#		7社会性等
			小学校の外国語活				.拨機構	2 教 養 等	8個の対応
		教諭、指導主事等導要領における外間		●外国語活動の現状と外 育の今後の方向性		国語教	3本県課題	9特別支援	
			外国語科の実施に	向けた推進方	●新教材の特色を知り、その		-の活用	4 学 び 構 想	10 同僚性
	独立行政法人 教職員支援機構	$2/5\sim 2/7$	策について理解を に、教員の外国語		の具体につい	、て理解する。			€ 11組織運営
	(オンライン)	(3目)	進めるための方策等	等を総合的に	●外国語教 導力向上のた		きめる指	6生徒理解	¥ 12地域連携
			習得させることを通 や地域における研修		●外国語教	育を推進する			13学校安全
			トを推進する指導す		指導者として 成果等をまと				13千枚女王
)			る。		師となるための				
義務				T		Τ			
4	公立義務	<mark>教育諸学校教員長</mark>	期研修	(校種)	小·中 S2 資質成長期	(研修 S3 資質充実期	予定人		15 名 _{校長・副校長}
				S1 基礎形成期	32 貝貝风技制	33 貝貝兀夫州	34 床1		7社会性等
	上越教育大学								
	1年次1名								8個の対応
	2年次2名		学校教育に関する	専門的知識及	●主題研究	(教科教育、	生徒指	3本県課題	9特別支援
		2年	び技能を習得させ	、本県教育の		」、道徳教育、	学校臨	4 学び構想	10 同僚性
	福島大学		推進に資する教員を	で育成する。	床心理)			5授業実践	11組織運営
	1年次5名							6生徒理解	¥ 12地域連携
義務	2年次7名								13学校安全
_		16-20 17-34 be-		(校種)	<u> </u>	(研修	予定人	数)	2 名
5)	権教育推進研修		S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期			校長·副校長
								1 使命感等	7社会性等
								2 教 養 等	8個の対応
	独立行政法人		人権教育に関する						9特別支援
	教職員支援機構	6/21∼6/23 (3∃)	より、人権教育の指	導的立場を担	●独立行政治の計画による		援機構	4 学び構想	10 同僚性
	(オンライン)	機(3日) (3日)	う教員を養成し、人物を表し、人物を含まし、し、しまし、しまし、しまし、しましましましまり。					5授業実践	11組織運営
			7714年70以普·儿天	. പമ്പ്പി				6生徒理解	7 12地域連携
義務									13学校安全
			0		i .				

П				(校種)		(研修	予定人数	数)	名
No.		研修名·講座名		S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	\$4 深化	発展期	校長·副校長
	場所	期日・日数	目	的	内				t·能力
6	孝	女育相談基幹研修		(校種)	小・中		予定人数		1 名
	•••	***************************************	<u> </u>	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	\$4 深化		校長·副校長
							-		等7社会性等
			at at the base to a state of the	- 4-1					等8個の対応
	独立行政法人	5/24~5/26	生徒指導上の諸問るため、より高度な教			上人 教職員支			9特別支援
	教職員支援機構 (オンライン)	(3日)	識と技法を身に付け	る等、教育相				4学び構想	
	(24) (4)		談の指導者の養成を	と図る。				5授業実置	
26.76								6生徒理角	解 12地域連携
義務				(++1 + 1)	ds etc	/ TT 1/47	- Z - L 1 4	uL\	13学校安全
7	生	E徒指導基幹研修		(校種) S1 基礎形成期	小·中 S2 資質成長期	S3 資質充実期	予定人数		各1 名 校長·副校長
				01	02 <u>A</u>	00 gg/L/M	01/2/10		等7社会性等
							-		- 等8個の対応
			生徒指導の原理等め・不登校の問題は						9 特別支援
	独立行政法人 教職員支援機構	8/1~8/30	的、実践的研修を行	い、学校にお	●独立行政法			4 学び構想	
	(オンライン)	(期間中3日)	けるいじめ・不登校なり適切なものとなる		の計画による。				表 11組織運営
			養成を図る。	プエブ旧寺石 ツ					解 12地域連携
義務							ľ	0 主促垤月	13学校安全
				(校種) 都道	府県·市町村教育委員会	の勝員 (研修	予定人数	Kt)	2 名
8	生徒	指導研究推進協議	会	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化		校長·副校長
								1使命感	7社会性等
								2 教 養 等	等8個の対応
			生徒指導問題に関	する生徒指導				3本県課品	9特別支援
	文部科学省 未定 (1日)	研究センターの研究					4 学 び 構 🧵	10 同僚性	
	24E114 H	(1日)	報・普及を図り、生行に資する。	走指導の推進	研究センター	の計画による	-	5授業実置	美 11組織運営
							Ī	6 生 徒 理 旬	解 12地域連携
義務							-	- 1 10 11 1	13学校安全
	ALID:		hite	(校種)	<u></u> 幼・こ	(研修	予定人数	数)	名
9		教育指導者養成研	116	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期			校長·副校長
								1使命感	等7社会性等
			// ID #/- *	レーソート				2 教 養 等	等8個の対応
	独立行政法人	_ ,,	幼児教育の指導者 知識等を習得させ、					3本県課場	9特別支援
	教職員支援機構 ①(つくば市)	9/11~9/13 (3日)	域における本研修	内容を踏まえ	●独立行政法 の計画による。		援機構	4学び構想	想 10 同僚性
	②(オンライン)	(0 4)	た研修のマネジメン 指導者の養成を図る		12 11 12 12 00	5	!	5授業実置	浅 11組織運営
			II () I > X/ACII (,				6生徒理角	解 12地域連携
義務							Ī		13学校安全
10		NIE全国大会		(校種)	小·中·高	(1711)	予定人数		各1 名
'		· IIII Z E // Z		S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	\$4 深化		校長・副校長
							ļ		7社会性等
			NIE実践者及びNI						等 8個の対応
	愛媛県	8/3-8/4	る教師、新聞社のN対象に、教師間の			片人日本新問	協合の		9特別支援
	(松山市)	(2日)	師と新聞関係者との	の情報交換等	計画による。		ľ		3 10 同僚性
			を行うことを通し、NI を図る。	E教育の推進				5授業実置	11組織運営
			を図る。				1	6生徒理角	解 12地域連携
義高						1.2			13学校安全
11	全国キャリ	ア教育・進路指導担	当 当者等	(校種) S1 基礎形成期	小·中·高 S2 資質成長期		予定人数 S4 深化		3 名 校長·副校長
		<mark>研究協議会</mark>		01 奉떖形成期	02 頁頁风長期	い 貞貞允美期	04 深化		校長·副校長 第7社会性等
			1 244 4 24 -	Mr 24++ ~ 1-			}		等8個の対応
			小学校・中学校・高 リア教育・進路指導						9 特別支援
	国立オリンピック記念	未定	キャリア教育・進路	指導の在り方	●国立教育政	女策研究所の	計画に		割10同僚性
	青少年総合センター 「「小畑」 について研究協議 行うことにより、今後						ļ.		浅 11組織運営
			育・進路指導の改善				ŀ		解 12地域連携
義高									13学校安全
			1		1				

		—————— 研修名·講座名		(校種)		(研修	予定人	数)	名
No.			1	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	\$4 深化		校長·副校長
H	場所	期日・日数	目	的	<u> </u>		· Д Ф Т		<u>f·能力</u>
12	教	<mark>職員等中央研修①</mark>)	(校種) 小· S1 基礎形成期	中·高 校長·教頭·中 S2 資質成長期	S3 資質充実期			17 名 校長·副校長
				01 圣妮加州	02 負負成政刑	00 負負儿失病	0+ /		7社会性等
			校長、副校長・教頭	[、中堅教員、					・ 多個の対応
	Xh 六分形计 I		教職経験10年前後し、学校の管理運営					3本県課題	9特別支援
	独立行政法人 教職員支援機構	6~2月 (5日)	どの諸問題について	、それぞれの	●独立行政治 の計画による	去人教職員支	接機構	4 学び構想	10 同僚性
	(つくば市)	(9 日)	職務に必要な研修高めるとともに指導		ショ 画による	0		5授業実践	表 11組織運営
			る。	カツ川上で囚				6生徒理角	12地域連携
義高									13学校安全
13	数	職員等中央研修②)		√·中·高 事務		予定人		3 名
``	32.			S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	\$4 深作		校長·副校長
			小学校・中学校・義						7社会性等
			高等学校の事務局 の共同実施における						事 8 個の対応
	独立行政法人	_	役割を担う担当者ま	たはそれに準					图 9 特別支援
	教職員支援機構	6~12月 (5日)	じるものであって、				援機構	4 学 び 構 想 5 授 業 実 路	
	(つくば市)	(3 14)	中核として活躍が期	引待されるもの	77 17 11 10 10	0		6生徒理解	
			に対して職務に必要して、職見を高めると					O I W Z	13学校安全
義高			の向上を図る。	C0(-1147)					TOTKSI
	-t- Alle -t		Is -t- alle	(校種)	<u> </u>	(研修	予定人	<u>数</u>)	8 名
14	産業·情報	報技術等指導者養	叹 事業	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	\$4 深作	上発展期	校長·副校長
						•	•	1使命感等	第 7社会性等
								2 教 養 等	賽8個の対応
			産業技術の高度化					3本県課題	9 特別支援
	大学、研究所等	未定	領に対応した産業技 野について研修を行				援機構	4 学び構想	10 同僚性
			しての資質の向上を		シリ 園 にその	0		5授業実践	表 11組織運営
								6生徒理角	12地域連携
義高									13学校安全
15	七五11-	ア 教育指導者養成 で	工校	(校種)	小·中·高	(研修	予定人	数)	3 名
	4.497	(教育旧等省发风)		S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	\$4 深化	比発展期	校長·副校長
									7社会性等
		0./00 0./00	進路指導担当教員		• Y4 4 X = 71. Y	4 1 #/. FM P +	T22 TW T#		∮8個の対応
	点	6/20~6/23 (1回目)	ア教育に必要な専門得させ、各地域にお						
	富山県富山市	8/22~8/25	踏まえた研修の講師	万等としての活			5.		10同僚性
		(2回目)	動や各学校への指 資質の向上を図る。	専助目をする					表 11組織運営 解 12地域連携
義高								0 土 化 垤 8	13学校安全
			_	(校種)		(研修	予定人	数)	3 名
16	伝統	在音楽指導者研修会		S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期			校長·副校長
								1使命感等	等7社会性等
			音楽を担当する各:	地域における				2 教養等	等8個の対応
		+ 🖶	指導者等に対し、常	学習指導要領				3本県課品	9特別支援
	東京都	未定 (2日)	の趣旨を踏まえ、F 楽について解説や記		●文化庁の割	計画による。		4 学び構想	10 同僚性
		, , ,	研修を行い、学校は	こおける音楽					兆 11組織運営
			教育の改善・充実を	凶る。				6生徒理角	12地域連携
義高				/11 ***		Γ		N// >	13学校安全
17		な活用した鑑賞教		(校種)	中・高		予定人		1 名
	九天	<mark>のための指導者研</mark>		S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	54 深作		校長·副校長 第7社会性等
			A =	W I + 6 - 12 -					等 8 個の対応
			全国の小・中・高等学						9 特別支援
	独立行政法人	8/7~8/8	してグループ討議等	筝を行うことに		去人国立美術	館の計		10同僚性
	国立美術館	0/1 0/0	より、学校と美術館はを図るとともに、美術		画による。				表 11組織運営
			鑑賞教育の充実を図						¥ 12地域連携
義高								<u> </u>	13学校安全
		1	1		L				

, I		研修名·講座名		(校種)			予定人		名
No.		期日・日数	目	S1 基礎形成期 的	S2 資質成長期 内	S3 資質充実期 容	\$4 深化		_{交長・副校長} ・能力
	24 721		<u> </u>	(校種)			予定人		能力 6 名
18	学校	組織マネジメント研	修	S1 基礎形成期		S3 資質充実期	\$4 深化		交長·副校長
義高	独立行政法人 教職員支援機構 ①(つくば市) ②(オンライン)	①6/12~6/14 (1回目) ②8/1~8/31 (2回目期間中3日間)	各学校や当該地域 的な役割を集たすぐ ジョンの構築、学校 現化をマネジントー 見を活用し、各学校 おいて、教職員の 推進する力、を育成 的とする。	く、1)学校ビ教育目標の 教育目標の見 な取組を推進 や当該地域に 専門性向上を	●独立行政法 の計画による。	:人教職員支	援機構:	2 教 養 等 3 本県課題 4 学び構想 5 授業実践	7 社会性等 8 個の対応 9 特別支援 10 同僚性 11組織運営 12地域連携 13学校安全
		£ 65 20 -5 17 36 16		(校種)	<u>l</u> 小·中 校長·教	牧頭 (研修	- 予定人	数)	4 名
19	Į.	道徳教育推進研修		S1 基礎形成期		S3 資質充実期			交長·副校長
義高	独立行政法人 教職員支援機構	11/8~11/10 (3日間)	発達段階に応じた抗点化や道徳教育推設した指導体制の確料道徳の趣旨と内容指導の充実等につうことにより、道徳教めの中核となる指導道徳教育の一層の3	進教師を中心 立、特別のいま 容に基づいれた いて研修を行う 育を進めるた 者を養成し、		:人教職員支	援機構	2 教 養 等 3 本県課題 4 学び構想 5 授業実践	! 10 同僚性
00	人口士体业	<u> </u>		(校種)	高	(研修	予定人	数)	1 名
20	至国局寺学	交家庭クラブ指導者	養以講座	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	\$4 深化	発展期	交長·副校長
高校	国立オリンピック記念 青少年総合センター (東京都)	8/3~8/4 (2日間)	家庭クラブ顧問に対における学校家庭クの運営について研うことにより、指導者向上を図るとともに習の充実を図る。	フラブ活動とそ 究討議等を行 としての資質				1 使命感等2 教養等3 本県課題4 学び構想5 授業実践6 生徒理解	9 特別支援 10 同僚性 11組織運営
21	夕 国宣笙学	交農業クラブ指導者	· 善	(校種)	高	(研修	予定人	数)	1 名
	王国同寺子	文展来ソノノ相等を	食 以神庄	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	\$4 深化	発展期	交長·副校長
高校	未定	8月予定 (3日間)	農業クラブ連盟の雇業クラブ活動とその ※クラブ活動とその 必要な知識・技術を 導者としての資質に 業クラブの充実に資	運営について :習得させ、指 可上を図り、農	●文部科学省 校校長会、日	本字校農業	高等学	2 教 養 等	9 特別支援
22	运 机1-	よる指導実施校研	收入	(校種)	高	(研修	予定人	数)	6 名
^	- ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	よる旧号天他仪研	№ 五	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	\$4 深化	発展期	校長·副校長
高校	実施校等	未定	通級による指導の領で、事例や課題の領協議することで、通の充実を図る。	共有等を行い	て			2 教養等 3本県課題 4学び構想 5授業実践	
23	体育·保	健体育指導力向上	 □研修	(校種)	小·中·高		予定人		7 名
健康	宮城県仙台市	東部プロック) 5/24~5/26 (3日)	体育指導者の資質 とともに、体育・保健 向上研修における打 を図る。	建体育指導力			0	1 使命感等 2 教養等 3 本県課題 4 学び構想	交長·副校長 7 社会性等 8 個の対応 9 特別支援 10 同 僚 性 11組織運営 12地域連携

		—————— 研修名·講座名		(校種)		(研修予)		名
No.	111	T		S1 基礎形成期			4 深化発展期	校長·副校長
	場所	期日・日数	目	的	力	容		質・能力
24	体力向上。	マネジメント指導者養	k成研修	(校種)	幼・小・中・高	(研修予)		4 名
		I		S1 基礎形成期	S2 資質成長期 S	33 資質充実期 S4	4 深化発展期	校長·副校長
								等7社会性等
							2 教 養	
	独立行政法人		児童生徒の体力向 画・立案、研修講師		●独立行政法。	1 粉聯呂士極出	松 # #	題 9 特別支援
	教職員支援機構	12/1~12/28	学校への指導・助言			八	^{茂1再} 4 学 び 椿	想 10 同僚性
	(オンライン)		員の養成を目的とす				5授業集	践 11組織運営
							6生徒理	解 12地域連携
健康								13学校安全
0.5				(校種)	<u>小·中</u>	(研修予)	_ 定人数)	各1 名
25	食	育指導者養成研修		S1 基礎形成期	S2 資質成長期 S	3 資質充実期 S4	4 深化発展期	校長·副校長
				<u>.</u>		<u> </u>	1 使命感	等7社会性等
							2 教 養	
			当林において<u></u>本 本	ナサルナット				
	独立行政法人		学校において食育 め各地域での研修		●独立行政法。	人教職員支援株	3 本県 調 後構	
	教職員支援機構 (オンライン)	10/4~10/6	実施、指導助言を行			(1)(1)(1)(1)(1)(1)	グリー4 学び 椿	‡想 10 同 僚 性
	(ペイノコイ)		成を図る。				5授業集	践 11組織運営
							6生徒理	解 12地域連携
健康								13学校安全
0.0	冷中	北本北道土羊子加	M-	(校種)	小·中·高	(研修予)	定人数)	3 名
26	健康	教育指導者養成研	16	S1 基礎形成期	S2 資質成長期 S	3 資質充実期 S4	4 深化発展期	校長·副校長
				•	•	'	1 使 命 感	等7社会性等
							2 教 養	等8個の対応
							3 木 旦 調	題 9 特別支援
	独立行政法人 教職員支援機構	10/10~10/12	健康教育に関する	専門的研修を	●独立行政法。	人教職員支援村		
	教賦貝又抜機博 (オンライン)	10/10~10/12	行いその指導力の向	可上を図る。	の計画による。			
	(,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,							選 11組織運営
							6生徒理	解 12地域連携
健康								13学校安全
27	学龄	<mark>安全指導者養成研</mark>	修	(校種)	小·中·高	(研修予)	定人数)	4 名
- '	于汉	文工旧夺日投 从明		S1 基礎形成期	S2 資質成長期 S	3 資質充実期 S4	4 深化発展期	校長·副校長
							1 使 命 总	等7社会性等
							2 教 養	等8個の対応
	独立行政法人		安全教育に関する	研修を行い、			3 本 県 誤	題 9特別支援
	教職員支援機構	8/1~8/31	学校安全(交通安全			人教職員支援相	幾構 4 学 び 樟	想 10 同僚性
	(オンライン)	, ,	災害安全)に関する に資する。	5教育の允美	の計画による。		5 授 業 建	践 11組織運営
			() 00					解 12地域連携
/z+ r==							0 1 1/2 /3	
健康				(ユナガエ)	-1-	/TT 1/2 7 -	- 1 ***	13学校安全
28	学校給食の衛	生管理に関する指	導者講習会	(校種)	/\\	(研修予5 3 資質充実期 S4		1 名
				S1 基礎形成期	S2 資質成長期 S	○ 貝貝允夫期 S4	1	校長・副校長
								等7社会性等
			学校給食における	食中毒防止の			-	等8個の対応
	国立オリンピック記念		親点から学校給食(3本県調	見題 9 特別支援
	青少年総合センター	7/1(土)	る業務の指導的立	場にある者を	●文部科学省の	の計画による。	4 学 び 樟	想 10 同僚性
	(オンライン)		対象として食中毒関専門的知識の習得				5授業集	践 11組織運営
			一つ コーノハトロボッン 日 1子で	- ICI.의			6生徒理	解 12地域連携
健康							<u> </u>	13学校安全
				(校種)	 特支	(研修予)	 定人数)	6 名
29	国立特別支	援教育総合研究所	専門研修	S1 基礎形成期		3 資質充実期 S4		校長·副校長
								等7社会性等
					●専門研修		-	等8個の対応
	独立行政法人	第一期 5/8~7/7	特別支援教育を知	当する数量に	(1)視覚障がい・		 	題 9 特別支援
	国立特別支援教育	第二期 9/6~11/10		及び技術を習	【貝に「不自由・病配数会コーフ 3			
	総合研究所(株領加土)	第三期 1/10~3/14	得させ、その資質及	及び指導力の	(2)発達厚かい	雨 早//*\(\ * -ス		
	(横須賀市)	(2か月)	向上を図る。		(3)知的障がいま			践 11組織運営
µ+							6生徒理	
特支								13学校安全

		TT		(校種)		(研修	予定人数)		名
No.		研修名·講座名		S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発	展期	校長·副校長
	場所	期日・日数	目	的	内	容 容		資質	·能力
30	交流及18共同	学習推進指導者研	开空位議会	(校種)	特支	(研修	予定人数)		2 名
	ス//ii/スぴ/八円		VI JUMBS ZZ	S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発		校長·副校長
			note 10	(b) p+ 10			_		7社会性等
			障がいのある児童生ない児童生徒とのる				_	敦 養 等	
	独立行政法人 国立特別支援教育	11/22	学習を推進する立	場にある教職	●独立行政法	去人国立特別	- 古塚粉		9特別支援
	総合研究所	(1日)	員の研究協議を通おける交流及び共	じ、各地域に 同学翌レ暗が		所の計画による	0. 4 5	せび構想	
	(横須賀市)		いのある児童生徒へ					受業 実践	
1+			を図る。				6 5	三徒 理解	12地域連携
特支		* but 710777	700: 7	/ 土土 でエ)	4+	/ TT 1/4	7 7 1 1 1 1 1		13学校安全
31		育におけるICT活用 音導者研究協議会	用に関わる	(校種)	特支		予定人数)		1 名
	1	i <mark>导有</mark> 研究協議会		S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発		校長·副校長
			障がいのある幼児り 切な指導支援を行				<u> </u>		7社会性等
	独立行政法人		CT活用をはじめと					教養等	
	国立特別支援教育	7/27~7/28	機器等活用につい		●独立行政法	去人国立特別	- 古塚粉	に 保 課 想	9特別支援
	総合研究所	(2日)	場にある教職員の福通じ、教育支援機器		育総合研究所	斤の計画による) ₀		
	(横須賀市)		関する専門的知識	を深め、各地				要業実践	
此土一			域における指導支持	援の充実を凶			0 3	E 徒 理 解	
特支	<u> </u>	シャナン・マンス タブ・ファンス タブ・ファ	-	(校種)	<u> </u>	(TT 1/2	 予定人数)		13学校安全 2 名
32		ዾ <mark>校における通級に</mark> 関わる指導者研究は		S1 基礎形成期	同 S2 資質成長期	S3 資質充実期	アルハ剱/ S4 深化発		2 名 校長・副校長
	<u> </u>			01 坐爬形成剂	02 負負风及粉	00 黄黄儿头痴		命感等	1
			- kt 24 1- 1- 1- 1 - 1	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\			_	牧養等	
	独立行政法人		高等学校における 導に関し、指導的立				_		9特別支援
	国立特別支援教育	8/31~9/1	員による研究協議等	穿を通じ、担当			支援教	せび構想	
	総合研究所 (横須賀市)	(2目)	者の専門性の向上がにおける通級による		育総合研究	斤の計画による	0.	受票 実践	
	(風)東東市/		図る。	旧寺の九天で				: 徒理解	
特支									13学校安全
	特別支:	 慢学校「体育・スポ		(校種)	<u> </u> 特支	(研修	_ 予定人数)		1 名
33		践指導者協議会		S1 基礎形成期	S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発	展期	校長·副校長
			died to the Notice of the	. //			1 個	命感等	7社会性等
			特別支援学校におりポーツ活動に関して				2	教 養 等	8個の対応
			にある教員等による	実践交流•情			3 2	県 課 題	9特別支援
	独立行政法人 国立特別支援教育		却大協力活ドナ 月		. L				10 同僚性
	総合研究所		※ 令和4年		ш	ź			11組織運営
	(横須賀市)		ツ活動の充実を図り						12地域連携
			加と生涯学習への基				<u> </u>	- W	13学校安全
特支			の資質・能力の向上	を図る。					107052
				(校種)	<u> </u> 特支	(研修	 予定人数)		2 名
34	京	t <mark>業支援実践研修</mark>		S1 基礎形成期	17 又 S2 資質成長期	S3 資質充実期	S4 深化発		校長·副校長
					//////////	22,550,00			7社会性等
							_		8個の対応
	独立行政法人		特別支援学校にお						9特別支援
	高齢・障害・求職者	未定	を担当している教員 就業支援に関する			よ人高齢・障害	₹•求職		
	雇用支援機構 (会場未定)	(1日)	駅 美文 援 に 関する ご 習得を 図り、 キャリン		者雇用支援機	後構の計画に.	にる。		10同僚性
	(宏場木疋)		を目指す。				<u> </u>		11組織運営
4+							6 4	三徒 理 解	12地域連携
特支									13学校安全

Ⅱ 研究学校(地区)指定計画

1 はじめに

教育活動の展開に当たっては、「計画・実施・評価」のサイクルの中で、学校や教師が創意工 夫等による改善を加えることにより、更に効果的にすることが必要である。

このため、各学校では、地域や学校あるいは児童生徒の実態に関する調査、これまで実施して きた教育活動についての評価等を通して、効果的な教育活動の展開を図るよう研究実践に努めな ければならない。

学習指導要領に基づく教育課程の実施に当たって、総合的、実践的かつ先導的研究開発に関する参考資料を各学校において整備することは、重要なことである。

したがって、県教育委員会は、文部科学省の研究学校(地区)指定のほか、地域の実情等を考慮しながら、計画的に研究学校(地区)を指定して研究を委嘱し、その研究成果の普及を図り、個々の学校の創意ある教育活動の展開を促進・援助する。

2 研究学校(地区)指定計画の構想

(1) 研究学校(地区) 指定

研究学校(地区)指定は、学校種別、規模、地域の実情等を考慮して行う。

(2) 研究領域

研究領域は、学校経営全般にわたるが、各教科・道徳・特別活動等の調整を図り、研究学校 (地区)における全教職員が研究参加できる領域となることを原則とする。

(3) 研究の促進・援助

研究学校(地区)指定においては、開発に重点を置いた研究を推進するために、所管する課が次の事項について研究学校(地区)に対し、指導・援助する。

- ① 研究の進め方について
- ② 研究過程における実践について
- ③ 研究の総括的な評価の在り方について
- ④ 研究成果のまとめ方について

(4) 研究成果の普及

所管する課は、研究成果や情報を学校が継続して組織的に利用できるように、普及活動の強化を図り、その成果が各学校の実践に生かされるようにする。

(5) 経費

県教育委員会は、市町村立学校に対し、研究学校の調査・研究に必要な経費として、定める 額を補助する。

(6) その他

研究学校(地区)の詳細な実施要領は所管する課が作成し、指定学校(地区)に配付する。

3 研究学校(地区)指定事業計画

(1) 文部科学省研究学校(地区) 指定事業計画

課	No.	事業名	目 的	指定期間	研究学校(地区)
義務教育課	1	人権教育開発 事業	人権意識を培うための教育の在り方について、県教育委員会との連携・協力の下で幅広い観点から実践的な研究を行い、人権教育に関する指導方法等の改善及び充実に資する。	令和5年度	川内村 川内小中学園
高校教		スーパーサイ エンスハイス クール事業	科学技術・理科・数学教育を重点的に行う学校をスーパーサイエンスハイスクール (SSH) として指定し、理科・数学に重点を置いたカリキュラム開発や大学・研究機関等との効果的な連携方策についての実践研究を行う。	平成31年度 令和5年度 令和3年度 令和7年度 令和4年度 令和4年度 令和8年度	安積高等学校 会津学鳳中学校 •高等学校 福島高等学校
育課	3	WWI T	福島における原子力災害からの復興を果たし、持続可能な社会を創造していくグローバル・リーダーの資質・能力の育成に取り組む学校を拠点校に指定し、探究と海外研修を軸とし、また、大学と連携したグローバル人材育成のカリキュラムの開発・実践、その体制整備を支援する。県内外におけるグローバル人材育成を担う連携校や海外連携校や国際機関等とも目的と情報を共有し、ネットワークを形成していく。	令和5年度 ~ 令和7年度	ふたば未来学園 中学校・高等学校 (予定)

Ⅲ 予定刊行物

(関係課・各センター主管予定刊行物)

⊐m	3.7	71 /~ 11 h		・各センター主管	
課	No.	刊行物名	内容	発行月日	規格
	1	外国語教育だより English Wind	小学校及び中学校等の外国語 教育に係る情報提供	不定期	Web 配信
義務教育	2	道徳のとびら	道徳教育家庭用リーフレット	年2回(予定)	A 4 Web 配信
教育課	3	道徳のかけ橋	道徳教育教員用リーフレット	年2回(予定)	Web 配信
	4	道徳の礎	道徳教育推進校実施報告書	令和6年 3月	A 4 Web 配信
義務教育課•	1	学校教育指導の重点	令和5年度学校教育指導の重 点	令和5年 2月	Web 配信
高校教育課	2	令和5年度福島県教職員特選論文集	教職員研究論文の優秀作品集	令和6年 2月	Web 配信
義務・高校・特	3	福島県版ICT活用ハンドブック2022	ICT活用実践例及びICT活用ス キルチェック表	令和5年 4月	A 5
	1	初任者・新規採用者研修の手引 (幼稚園・こども園教諭、小・中学校 教諭、高等学校教諭、養護教諭、学校 栄養職員)	初任者・新規採用者研修の手 引書	令和5年 3月	Web 配信
教育セ	2	初任者・新規採用者研修テキスト (幼稚園・こども園教諭、小・中学校 教諭、高等学校教諭、養護教諭、学校 栄養職員)	初任者・新規採用者指導教員 のためのテキスト	令和5年 3月	Web 配信
ンター	3	初任者・新規採用者研修 研修資料	初任者・新規採用者指導教員 のための研修資料	令和5年 3月	W e b 配信
	4	2年次教員フォローアップ研修の手引 (小・中学校教諭、高等学校教諭)	2年次教員フォローアップ研 修の手引書	令和5年 3月	Web 配信

課	No.	刊行物名	内 容	発行月日	規格
	5	5年経験者研修の手引 (小・中学校教諭、高等学校教諭、 小・中学校養護教諭、県立学校養護教 諭)	5年経験者研修の手引書	令和5年 2月	Web 配信
	6	中堅教諭等資質向上研修の手引 (幼稚園・こども園教諭、小・中学校 教諭、高等学校教諭、小・中学校養護 教諭、県立学校養護教諭、学校栄養職 員)	中堅教諭等資質向上研修の手 引書	令和5年 2月	Web 配信
教育セ	7	所報ふくしま「窓」	教育関係者の提言や教育研究 等についての紹介及び教育セ ンターからの案内	令和5年10月 令和6年 3月	Web 配信
ンター	8	研究紀要	本県の喫緊の課題に関する調 査研究等についての結果報告 及び提言	令和5年 3月	A 4
	9	小・中学校初任者研修メンター方式 による校内研修についてVol. 2	小・中学校初任者研修のメンター方式におけるメンターチームを活用した校内研修の実践例	令和5年 3月	A 4
	10	カリキュラム・マネジメントガイド	カリキュラム・マネジメント 推進のための提案と小・中学 校における実践事例	令和5年 3月	A 4
	1	初任者研修の手引 (特別支援学校教諭)	初任者・新規採用者研修の手 引書	令和5年 3月	Web 配信
	2	2年次教員フォローアップ研修の手引 (特別支援学校教諭)	2年次教員フォローアップ研 修の手引書	令和5年 3月	W e b 配信
特別支援教	3	5年経験者研修 ー研修の手引ー (特別支援学校用)	5年経験者研修の手引書	令和5年 3月	Web 配信
教育センター	4	中堅教諭等資質向上研修 一研修の手引一 (特別支援学校用)	中堅教諭等資質向上研修の手 引書	令和5年 3月	Web 配信
	5	所報「特別支援教育」	教育関係者の提言及び研究・ 研修・相談事業の案内	令和6年 3月	A 4 Web 配信
	6	研究紀要	特別支援教育の今日的課題に 関するプロジェクト研究及び 教育研究についての報告、本 県の特別支援教育の在り方に ついて提言	令和5年 3月	A 4 W e b 配信

Ⅳその他の研修

※各課、各所が主催する指定研修以外の教職員の資質向上を目的とする研修、協議会等

課	No.	名 称	会場	期日等	対 象	目的・内容
社会教育課	1	地域連携担当教職 員等研修会	県内 7 会場	6月 ~ 11月	小・中・高校・ 特別支援学校の 地域連携担当教 職員等	地域連携担当教職員の役割や社会に開かれた教育 課程の作成等、地域と学校の連携・協働の推進に向 けた研修を行う。
社教・義務	2	読書活動支援者育 成事業	県内 7会場	6月 ~ 12月	司書教諭 学校司書 読書ボランティ ア等	学校図書館の運営や子どもの読書に関わる専門的 な知識・技能について研修し資質向上を図るととも に、学校、公立図書館、読書ボランティア等、子ど もの読書活動を支えるための連携体制の構築を図 る。
	3	不登校・いじめ等対 策域別シンポジウム (スクールカウンセ ラー等地区別研修 会)	県内 6 会場	5月 ~ 8月	小・中学校教育 相談担当者 生徒指導担当者 等	スクールカウンセラー等の有効な活用と不登校児 童生徒への組織的な対応を目指した研修及びいじめ 問題・発達障がい・児童虐待等今日的な課題に対応 する研修を実施することにより、教育相談担当者や 生徒指導担当者の資質向上を図る。
	4	道徳教育地区別推 進協議会	県内 7会場	9月 ~ 12月	小・中・高・特 別支援学校担当 教員 関係指導主事	学習指導要領の趣旨並びに児童生徒、学校、家庭 及び地域等の実態を踏まえ、創意工夫を生かした道 徳教育を推進するための実践研究を行い、その成果を 普及することにより福島県における道徳教育の一層 の充実に資する。
	5	域内学力向上担当 者等研修会	県内 7 会場	未定 (年 1 回)	担当教員 担当指導主事	各学校の授業改善、児童生徒の学習習慣・生活習 慣の確立をねらいとした取組等についての協議等を 行う。
義務教育課	6	理科授業力アップ研 修会	県内 7地区 21会場	未定 (各地区 年3回)	小学校教員 中学校理科担当 教員	全国学力学習状況調査報告書や「授業スタンダード」、「理科学習指導プラン」に基づいた授業研究会を実施し、日々の理科授業の改善向上を図る。
	7	教育相談コーディネーター研修会	県内 4 会場	5月 ~ 11月	小・中・高等学 校の教諭及び養 護教諭	各校において、教育相談コーディネーターを核と したチーム援助の推進に役立てる。
	8	ふくしま教育創造コ ンソーシアム	福島市	11/28	小・中・特別支 援学校の校長及 び教員等	県内の小・中・義務教育学校及び特別支援学校の 実践内容の発信及び共有を図るとともに、有識者等 による講演を基にして、自校の教育課題について協 議することを通して、自校の魅力化・特色化を図る ための方策を見いだしていくことを目的とする。
	9	授業の魅力化応援 オンライン研修会	オンライン	5月~2月	小・中・義務教 育学校の教員等	日頃、先生方が抱えている課題の解消に向けた協 議を行うことで、学習を深め、広げる授業、学習内 容が確実に定着する授業など児童生徒に目指す資 質・能力を育む授業づくりを行うことを目的とす る。
教育センター義務教育課・	10	伝承館での指導法 研修会	伝承館	未定 (年2回)	経験年数11年以下の小・中・義務 教育学校教員(講師も含む。)	伝承館での研修を通して、震災や復興についての課題 探究活動等を行う生徒への指導力の向上を図るととも に、今後の本県の在り方や本県の教育についての考えを 深める。

課	No.	名 称	会場	期日等	対 象	目 的・内 容
	11	外国語指導助手の 指導力等向上研修	福島テルサ	10/31	JETプログラ ムALT 小・中・高等学 校担当教員	ALT及び英語担当教員の指導力向上を図ること を目的とし、講演・講義・分科会等を行う。
	12	英語指導力向上事 業	研修協力校(いわき地区)	9月 ~ 12月	小学校教員 中·高等学校英 語担当教員	CAN-DOリストに基づく小・中・高等学校を通したパフォーマンステストをはじめとした指導法と評価法の研究を行い、授業改善を促進させる。研修協力校における公開授業及び授業研究を行う。
高校	13	教科指導力向上研究会(国·数·英)	オンライン	未定 (各教科年 1回)	県立高校教諭等	大学有識者等を活用し、「言語活動の充実」を意識した、生徒の主体性や思考力・判断力等を育成する授業について、教員等が集い研究する。
教育課	14	地域課題探究活動研修会	オンライン	6月 2月 (年2回)	全県立高等学校 より各校教員1名	地域課題探究活動に関する先進校の事例や各校の現状についての情報を交換し、更なる充実を図る。
	15	情報交換会	オンライン	未定 (年1回)	「ふくしま高校生 学びの変革推進 事業」対象校進 路指導主事、進 路担当者等	事業対象校の進路指導担当者教員等が、本事業の実践報告や各校の進路指導の現状について情報を交換し、その後の進学指導に役立てる。
	16	伝承館での指導法 研修会	伝承館	8月 (年1回)	令和5年度県立 高等学校初任者 研修対象教員	伝承館での研修を通して、震災や復興についての課題 探究活動等を行う生徒への指導力の向上を図るととも に、今後の本県の在り方や本県の教育についての考えを 深める。
	17	地域支援担当者研 修会	特別支援教育センター	4/21 9/1 (年2回)	特別支援学校教員	センター的機能の目的や支援の内容等についての共 通理解を図るとともに、研修・相談支援に関する専門的な 研修を通し、地域支援担当者の資質の向上を図る。
特別支援教育課	18	特別支援学校進路支援チーム会議	特別支援教育センター	5/12 9/7 12/6	特別支援学校教員進路指導担当者等	特別支援学校高等部生徒の一般企業就労や職場定着 等に関する課題解決を図るための研修等を実施し、各校 における進路指導の充実を図る。
	19	医療的ケア実施校看護師等研修会	郡山支援 学校	7/27	特別支援学校教員 看護師(小·中·特別 支援学校)	医療的ケアを必要とする児童生徒の理解と適切な対応 を行うため、より専門的な知識、技能を高める研修を行い、各実施校における医療的ケアの充実に資する。
教育セ	20	小学校理科実験 基礎講座	県内 6会場	5月 ~ 6月	理科の授業を担 当している教 員、及び、今後 理科を担当する 予定の教員	理科の単元のねらいや学習内容を確認する。また、 授業で行う観察や実験について、指導に必要な技能 を身に付ける。
ンター	21	運動身体づくり プログラム講座	県内 6会場	9月 ~ 11月	体育担当者の 動身体づらになる があるでする を感じている はでする をでする をでする をでする をできる をでする をできる をできる をできる をできる をできる をできる をできる をできる をできる をできる をできる をできる をできる をできる をできる をできる できる できる できる できる できる できる できる	運動身体づくりプログラムのねらいや趣旨を確認する。また、基本の動きや発展的な動き等について確認し、指導に必要な技能を身に付ける。

課	No.	名 称	会場	期日等	対 象	目 的・内 容
	22	児童生徒が1人1台 端末を活用する授業 基礎講座	オンライン	12月	小学校・中学 校・義務教育学 校および特別支 援小学部、中学 部で授業を担当 している教員	授業における1人1台端末の活用例の紹介や授業 例を通して授業力の向上を図る。
	23	生徒が1人1台端末を 活用する授業基礎講 座	オンライン	8月 ~ 9月	高等学校または 特別支援高等部 で授業を担当し ている教員	授業における1人1台端末の活用例の紹介や授業例 を通して授業力の向上を図る。
	24	情報科支援プログラム	県内 ※各研修 通知文に て公開	4月~3月	高等学校情報科 「情報 I 」また は「情報 II 」担 当者	県立高等学校「情報Ⅰ」または「情報Ⅱ」授業担当教員向けに、先行事例となるモデル授業を配信する。配信することにより、授業担当教員の授業設計・運営の支援をする。 プログラミング未経験の授業担当者に向けて、プログラミングを基本とするモデル授業を構想し、配信する。
	25	タゼミオンライン	オンライン	12月~2月	県内公私立小・ 中・義務教育・ 高・特別支援学 校教員	テーマに沿ったそれぞれの考えや経験および効果 的な実践についてゲストが語り合う場面を動画配信 し、教員の資質向上の一助とする。
教育セ	26	表現と鑑賞を楽しむ 図画工作・美術講座	教育セン ター	12/2	小・中・高・特別支援学校教員	小学校図画工作、中学校・高等学校美術の表現と 鑑賞の指導に関する講義や演習を通して、学びの意 義等を理解する。また、表現と鑑賞を相互に関連さ せた効果的な指導の在り方や教材研究の仕方を学 び、その識見と指導力を高める。
ンター	27	美術館でアートを楽 しむ鑑賞講座(郡山 市立美術館)	郡山市立 美術館	9/30	小・中・高・特 別支援学校教員	小学校図画工作、中学校・高等学校美術の鑑賞の 指導に関する講義や演習を通して、教育における鑑 賞の意義等を理解する。また、美術館と連携しなが ら鑑賞の指導の在り方や教材研究の仕方を学び、そ の識見と指導力を高める。
		美術館でアートを楽				
	28	しむ鑑賞講座(いわき市立美術館)	いわき市 立美術館		※ 令和5年度	は実施しない
	29	基礎から学ぶクラウド サービス入門講座	教育セン ター	6月3日	FCSアカウント を所有する教員 員(実習教員・ 講師・技能員・ 学校事務職員を 含む)	初心者を対象に、FCSメール(Google Workspace) の操作からクラウドを用いたデータの共有方法を身 に付ける。
	30	授業スキル基礎基本向上講座	教育センター	11月25日	小・中・高校・ 特別支援学校の 教員 (原則ス テージ1)	授業の経験が浅い教員のために(概ね5年以下の ステージ1)、授業スキルの基礎基本を中心に授業 力の向上を図る。事前に動画資料を視聴していただ き、当日に指導案の作成及び模擬授業の演習を行 う。
	31	授業スキルブラッ シュアップ講座	教育セン ター	11月18日	小・中・高校・ 特別支援学校の 教員 (原則ス テージ2)	授業に磨きをかけたい教員のために(概ね6年以上のステージ2)、授業スキルをブラッシュアップして学びの変革を図る。事前に動画資料を視聴していただき、当日に指導案の作成及び模擬授業の演習を行う。

課	No.	名 称	会場	期日等	対 象	目 的・内 容
福島:	32	NITS・福島大学 コラボ研修	福島大学 (オンラ インも含 む)	未定	小·中·義務教育 学校·高等学校 教員	本県の現状を踏まえた「福島ならでは」の教育を 推進するために、様々な視点から課題解決に迫るた めの手立てなどを提案し、「学び続ける教師コミュ ニティ」の構築を目指す。
大学・教職院大	33	教職員研修講座 (1日講座)	福島大学	7月下旬~8 月上旬 (1日)	小·中·義務教育 学校·高等学校 教員	生活科・総合的な学習の時間・総合的な探究の時間についての先行的実践や教員を育てることに関する講話、自己の実践と結び付けた協議を通して、これらの教科等の充実・発展を目指す。
学・教職員支援機	34	教職員研修講座 (1日講座)	福島大学	8月上旬 (1日)	小·中·義務教育 学校·高等学校 教員	道徳科や特別活動について「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を図るために、講話や実践発表を基に協議を行い、困り感や困難さを抱える学級経営の改善を図るとともに、指導方法の充実や発展を目指す。
接 機 構 	35	教職員研修講座 (通年)	オンライン	通年 (全4回)	小·中·義務教育 学校·高等学校 教員	各学校で研修主任として奮闘している先生方がそれぞれの悩みをもちより、同じ立場の先生方と話し合うことで課題を解決することを目的とする。

教職員現職教育担当者会議設置要綱

(平成3年5月18日教育長決裁)

(設置)

第1条 「第7次福島県総合教育計画」の施策の基本方向に基づき、教職員研修の体系的・効果的推進の方途の検討などを行うため、「教職員現職教育担当者会議」(以下「担当者会議」という。)を教育庁内に設置する。

(組織等)

第2条 担当者会議は、下記の者をもって構成する。

教	育	総	務	課			企画主幹兼	副課長	主	任	主	査	担当	管	理	主事
社	会	教	育	課			主	幹	主任	社会	教育	上事	担当	社会	教育	育主事
義	務	教	育	課	課	長	主	幹	主亻	壬 管	理主	事	担当	管	理	主事
									主亻	壬 指	導 主	事	担当	指	導	主事
髙	校	教	育	課	課	長	主	幹	主亻	壬 管	理主	事	担当	管	理	主事
									主亻	壬 指	導 主	事	担当	指	導	主事
特》	削 支	援	教 育	課			主幹兼副	訓課 長	主亻	壬 管	理主	事	担当	管	理	主事
									主亻	壬 指	導 主	事	担当	指	導	主事
健	康	教	育	課			主	幹	主亻	壬 指	導 主	事	担当	指	導	主事
教	育、	せい	ノダ	· —	研究・研	修部長			主亻	壬 指	導 主	事	担当	指	導	主事
特別]支援	教育	セン	ター			企画事業	部長	主化	壬 指	導 主	事				

- 2 担当者会議には、必要に応じ、前項以外の職員を参加させることができる。
- 3 担当者会議は、義務教育課長または高校教育課長が招集し、会議を主宰する。

(協議事項)

- 第3条 担当者会議は、次の事項について協議する。
 - (1) 関係課、教育センター、特別支援教育センターが実施する教職員研修の目的・内容・方法及び日程等に関すること。
 - (2) 教職員研修事業の研修人員に関すること。
 - (3) 研究学校(地区) 指定計画及び研究成果の普及に関すること。
 - (4) 手引、資料等の刊行物の発行に関すること。
 - (5) 調査研究の調整に関すること。
 - (6) その他、教職員研修に関すること。

(宝 施)

第4条 担当者会議において立案された施策については、教育長の決裁を得て実施する。

(庶 務)

第5条 担当者会議の庶務は、西暦における偶数年度については義務教育課において、西暦に おける奇数年度については高校教育課においてそれぞれ処理する。

(その他)

第6条 この要綱に定めるもののほかは、担当者会議の運営に関し必要な事項は義務教育課長 及び高校教育課長が協議して定める。

附則

- 1 この設置要綱は、平成3年5月18日から施行する。
- 2 教職員現職教育企画調整会議設置要綱(昭和61年4月1日施行)・現職教育計画推進委員会設置要綱(平成元年4月28日施行)は廃止する。
- 3 この設置要綱は、平成 5年4月21日から施行する。
- 4 この設置要綱は、平成 7年6月12日から施行する。
- 5 この設置要綱は、平成 8年4月 9日から施行する。
- 6 この設置要綱は、平成 9年6月13日から施行する。
- 7 この設置要綱は、平成11年4月15日から施行する。
- 8 この設置要綱は、平成12年6月16日から施行する。
- 9 この設置要綱は、平成13年4月 1日から施行する。
- 10 この設置要綱は、平成14年4月 1日から施行する。
- 11 この設置要綱は、平成15年4月 1日から施行する。
- 12 この設置要綱は、平成16年4月 1日から施行する。
- 13 この設置要綱は、平成17年4月 1日から施行する。
- 14 この設置要綱は、平成18年4月 1日から施行する。
- 15 この設置要綱は、平成20年4月 1日から施行する。
- 16 この設置要綱は、平成22年4月 1日から施行する。
- 17 この設置要綱は、平成24年4月 1日から施行する。
- 18 この設置要綱は、平成27年4月 1日から施行する。
- 19 この設置要綱は、平成29年4月 1日から施行する。
- 20 この設置要綱は、平成30年4月 1日から施行する。
- 21 この設置要綱は、令和 4年4月 1日から施行する。

研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励の内容・方法等

1 対象となる教員の範囲

教育公務員特例法第22条の5の規定による研修履歴の記録(以下「研修記録の記録」という。」及び同法第22条の6の規定による対話に基づく受講奨励(以下「対話に基づく受講奨励」という。)の対象となる「公立の小学校等の校長及び教員」の範囲は以下のとおりです。

		対象の校種及び教員											
校	種	公立の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、											
		幼稚園及び幼保連携型認定こども園											
職	名	〈小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校〉											
		校長、副校長、教頭、主幹教諭、教諭、養護教諭、養護助教諭、栄養教諭、講師											
		園長、副園長、教頭、主幹教諭(主幹保育教諭、主幹養護教諭、主幹栄養教諭を											
		含む。)、指導教諭(指導保育教諭)、教諭(保育教諭)、助教諭(助保育教諭)、											
		養護教諭、養護助教諭、講師											

- ※ 教員は、再任用(常時勤務、短時間勤務)を含みます。
- ※ 養護助教諭、講師は、常勤(臨時的任用教員、任期付教員)で、任用当初に6月を超 える任用が見込まれる者が受講奨励の対象者となります。

2 研修履歴の記録の目的

研修履歴の記録は、対話に基づく受講奨励の際に当該記録を活用することにより、教員が自らの学びを振り返るとともに、学校管理職等が教員に対して研修の奨励を含む適切な指導助言を行うことで、効果的かつ主体的な資質向上・能力開発に資することを目的としています。

3 研修履歴の記録の範囲

- (1) 必須記録研修等
 - ア 研修実施者が実施する研修

教育センター、特別支援教育センターが主催する研修のほか、教育事務所や県教育委員会が主催するものが想定されます。また、年度途中に企画・実施されるものも含めて、多種多様な研修が含まれるところ、任命権者が実施するおよそ全ての研修の受講履歴が記録の対象となりますが、いわゆる「研修」と称されるものには、資質の向上を目的に行われるものと、事実上の情報提供や説明会に留まるものの双方が想定されますが、後者と判断されるものは記録の対象となりません。

- イ 大学院修学休業により履修した大学院の課程等
- ウ 任命権者が開設した免許法認定講習及び認定通信教育による単位の修得
- (2) その他任命権者が必要と認めるもの(教育公務員特例法第22条の5第2項第4号)に含まれ得る研修等
 - ア 学校現場で日常的な学びとして行われる一定の校内研修・研究等
 - イ 教員が自主的に参加する研修等

教職員支援機構、大学・教職大学院、教科研究会、特別支援教育研究会、民間企業等の 様々な主体が主催する研修・講習等

4 研修履歴の記録の内容

研修名、研修内容、主催者、受講年度、時期・期間・時間、場所(オンラインの場合はその旨)、研修属性(悉皆/希望など)、研修形態(対面集合型/オンデマンド型/同時双方向オンライン型/通信教育型など)、教員育成指標との関係、振り返りや気づきの内容、研修レポート等。

5 研修履歴の記録の方法

教員個人が、県教育委員会が定める所定の様式により電子ファイル及び紙媒体で記録します。

6 研修履歴の記録の時期

対話に基づく受講奨励が行われる面談の時期に教員個人が記録します。

7 研修履歴の記録の閲覧・提供

研修履歴の記録は、年度毎に電子ファイル及び紙媒体で学校管理職が保管し、日常的又は 定期的に、教員個人及び学校管理職が相互に閲覧・提供できることとするとともに、必要に 応じて服務監督権者が閲覧できるものとします。

※国の研修履歴システムを利用する場合、利用できる内容が変わる場合があります。

8 対話に基づく受講奨励の方法・時期

- (1) 学校管理職以外の教員への対話に基づく受講奨励
 - ア 研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励に当たっては、人事評価制度との趣旨の違い には留意しつつ、例えば、人事評価に関わる期首面談や期末面談の機会を活用することが 想定されます。
 - イ 期首面談の場においては、次の(ア)(イ)が考えられます。
 - (ア) 学校管理職は、①指標・教員研修計画や教員個人の職責・経験・適性に照らした人材 育成の観点や、②学校が目指す教育を進めるために必要な専門性・能力の確保などの観 点から、過去の研修履歴を活用した研修受講の奨励(情報提供や指導助言)を行うこと
 - (4) 教員は、①自らの専門職性を高めるために主体的に学びをマネジメントする観点や、 ②学校を支える力を獲得・強化する観点から、自らの資質向上・能力開発のニーズも踏まえた目標設定をすること
 - ウ 期末面談の場においては、次の(ア)(イ)(ウ)が考えられます。
 - (ア) 学校管理職は、当該年度の繁忙状況等を考慮した上での教員個人の資質向上・能力開発の取組状況、OJT や校内研修等の実施状況を踏まえ、研修履歴を振り返りながら、今後の資質向上のための指導助言を行うこと
 - (4) 教員は、研修履歴を活用しつつ、OJT や校内研修、校外研修などによる学びの成果や 自らの成長実感、今後の課題などを振り返ること
 - (ウ) 学校管理職と教員が、これらを通じて、成長段階に応じて指標に定められた資質能力がどれくらい身に付けられているかを確認・共有するほか、次年度以降の資質向上・能力開発の目標を話し合うこと
 - エ このほか、研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励は、①教員の意欲や主体性の尊重、 ②学校組織としての総合的な機能の発揮、③教員個人の人材育成の観点などから、これら が調和した効果的な資質向上・能力開発を行うためのプロセスであることを踏まえ、定型 的な面談のほか、様々な機会をとらえて、対話に基づく受講奨励を行うことが望まれます。

(2) 職や教科の専門性に応じた受講奨励

- ア 養護教諭や栄養教諭など、校内において一人又は少数しか配置されない教員については、 その職特有の専門性に通じた学校管理職が当該学校内にいない場合が想定されます。学校 管理職は、指導主事や他校に在籍する同職種の教員の協力を得て、その職特有の専門的な 指導助言等を依頼するなど、学校内外を通じた継続的な資質向上の推進体制を整えること が望まれます。
- イ 教科の専門性に係る資質向上についても、学校管理職は、自らの専門外の教科指導等に 関し、校内の同じ教科の教員を通じて所属教員の指導状況の把握や指導助言をしたり、あ るいは域内の同じ教科の教員の協力を得て、所属教員に対する指導助言等を依頼したりす るなど、学校内外を通じた継続的な連携協力体制を整えることが有効です。
- (3) 校長等の学校管理職への対話に基づく受講奨励
 - ア 法律に基づく研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励の対象には、校長等の学校管理職も含まれます。校長以外の副校長や教頭については、(1)の例に準じて、基本的に校長が研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励を行うことが想定されます。
 - イ 校長については、一義的には服務監督権者である教育委員会等が、研修履歴を活用した 対話に基づく受講奨励の主体となります。実際には、教育長や教育委員会事務局職員等が 受講奨励の主体となることが考えられ、例えば、人事評価における期首・期末面談の場を 活用した教育長等による受講奨励が想定されます。

9 学校内で行う研修履歴の記録と学校管理職以外の教員による対話に基づく受講奨励

- (1) 学校内で行う研修履歴の記録
 - ア 任命権者が行う研修履歴の記録とは別に、校内研修を中心に、学校現場における組織 的かつ日常的な学びの記録を蓄積し、年間を通じた校内研修の総括の場や職員面談等の 場において、その蓄積された記録を基に振り返り、今後の学校全体としての組織的な学 びの方針・内容等に反映していくことも、教師の資質向上・能力開発のための取組とし て有効です。
 - イ アのような、研修の性質に応じて学校内で研修履歴を記録することも、いわば「学校 としての学びのポートフォリオ」として蓄積・活用していく意味で効果的であり、記録 することが過度な負担になったり、記録すること自体が目的化したりすることがないよ う留意しつつ、積極的に取り組むことが期待されます。
- (2) 様々な主体・機会による対話に基づく受講奨励

教員同士の学び合い文化を醸成する観点から、法律の規定とは直接関係なく、必ずしも研修履歴を活用することを前提とはせずに、例えばミドルリーダーやメンターなど学校管理職以外の教員の協力を得て、対話的な研修の受講奨励を行うことも考えられます。その際、メンターチームを活用した日常的な短い対話の機会や学年会など各学校等に適した様様な機会を活用することが考えられます。

「研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励に関するガイドライン」 (令和4年8月 文部科学省)を参考に作成

◇「研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励」に関する教育委員会の役割分担

1 【研修履歴の作成・提供・閲覧等】

【主幹課】

○ 教育総務課

【所管課】

- 高校教育課(県立高校・県立中学校)
- 特別支援教育課(県立特別支援学校)
- 義務教育課(市町村立学校)
- 市町村教育委員会又は市町村関係部局(市町村立幼稚園等)
- 2【教員研修計画の策定・研修事業の企画・実施】
- 教育総務課、社会教育課、義務教育課、高校教育課、特別支援教育課、健康教育課 ・・・・・・・(育成指標、現職教育計画)
- 県教育センター・・・・・ (研修事業の企画・実施)
- 県特別支援教育センター・・・・・ (研修事業の企画・実施)
- 市町村教育委員会及び中核市における研修所管の関係教育機関
 - ・・・・・・ (県費負担教職員に対する研修事業の企画・実施)
- 3 【受講奨励の実施、学校管理職への指導助言】

【所管課】

- 高校教育課(県立高校・県立中学校)
- 特別支援教育課(県立特別支援学校)
- 市町村教育委員会(市町村立学校)
- 市町村教育委員会又は市町村関係部局(市町村立幼稚園等)
- ※ 研修履歴を活用して行う対話に基づく受講奨励は、法律上、指導助言者である教育委員 会が行うこととされていますが、実際上は、その直接の指導監督に服し、所属職員の日常 の服務監督を行う校長が行います。

入は、原則として令和5年度からとするが、さかて記入してもよい。 本研修・職能研修・専門研修は、必ず記録する。 以外の研修については、全てを記入する必要はな	が、貧質向上に影響のあったものは複数記入してもよい。	受講奨励者 職名 印 任名 日	・ート」の作成日を記入。振り返り、成果等、その都度更新していく。※	最終作成日を記入後、 、て保管		言葉による見方・考え方を働かせるための授業の在り方について学ぶことで、言語活動の設定 参集型 や発問、コーディネートの工夫をしながら授業実践することができた。		<u> </u> 研修は原則として1つ記載すればよいが、複数でも可。	すべての研修にま	- 「その他の研修」においては、教員が目主的に参加する研修も想定されるアイから - 「主催者」「実施方法」も記えする。	、七年日」・ヘルングル)	の研修をまとめて記入しても可。			【学校管理職】(研修の受講を奨励する者) 「研修履歴を活用した対話に其づく受講恐励についた」	「一直では、「「「「「」」」、「「」」、「「」」、「「」」、「」、「」、「」、「」、「」、	1 (研修を受講する者の)経験年数、該当するステージ、役割や 間待される行動等を確認		2 7年度付に付はしたい具具項目と文語9の研修の法にで又抜			
前・養護教諭・栄養教諭用)2019 年3月31日知識・技能を習得する 時期	「ステージの時期」は経験年数に応じて指標に基づいて記入。		専門研修 その他 「研修履歴シー ※ 作成日は、		B 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	・ 校美によりるNCIの活用			五	(8)	(A)	色 の		1.る行動等を確認	、て学校管理職に説明							
副校長・教頭・主幹教諭・教諭・著 <u>免許取得年月日</u> 2019 【 出会い・学ぶ 】 教職に必要とされる知識・	授業におけるICIの活用(基礎) 小学校国語科指導力向上講座	たい資質項目」の内づいて記入。		(4)1 上 右 切 付 修 2 年 次 教員 フォローアップ研修		図書館教育					(4)	【教具】(virjeで文語する者) 「研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励について」		該当するステージを伝え、自己の役割や期待される行動等を確認	今年度特に伸ばしたい資質項目の観点から、次の内容について学校管理職に説明	(1) 今年度特に伸ばしたい資質の内容 (2) 襘質向上のために受講を予定している研修			(3) 研修を受講した後の具体的な状況の確認 /・、 marx ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ンいてこ		
5日 5名 福島 桃子 【基礎形成 期】	() () () () () () () () () ()	「今年度特に伸ばしたい資質項目 容について指標に基づいて記入。	帝 勤務校 主な校内分掌	28	59	30 福島小 4年担任 図書					「お日】(江依た西華ナスサ)		の面談等で行			(1) 今年度特に伸ばしたい資質の内容 (2) 沓質向トのために受講を予定して		(2) どこで (3) どのような	(3) 研修を受講した後			
(例) 234567 1	項目 内谷 内容 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日	「ステージ」及び「今年度特 に伸ばしたい資質項目」は育		基礎形成期 2 2021 2 (概和1~5年) 2 2021 2	教職に必要とされる 知識・特能を	4 2023	5	9	資質成長期 7 (概ね6~10年)	実践に基づき、知識 8	を深め、技能を 高める時期 9	10	11	資質充実期 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12	(概ね11~15年) 視野を広げ、同僚教 13	職員と協働性を 14 14 17 17 17 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18	国の 2 14列 15	16	**に充成的 (概ね16年~) 17	それぞれの立場で リーダーシップを発	揮し、同僚支援する 19 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	時期



教育公務員特例法(抄)

(研修)

- 第21条 教育公務員は、その職務を遂行するために、絶えず研究と修養に努めなければならない。
- 2 教育公務員の任命権者は、教育公務員(公立の小学校等の校長及び教員(臨時的に任用された者その他の政令で定めるものを除く。以下この章において同じ。)を除く。)の研修について、それに要する施設、研修を奨励するための方途その他研修に関する計画を樹立し、その実施に努めなければならない。

(研修の機会)

- 第22条 教育公務員には、研修を受ける機会が与えられなければならない。
- 2 教員は、授業に支障のない限り、本属長の承認を受けて、勤務場所を離れて研修を行うことができる。
- 3 教育公務員は、任命権者の定めるところにより、現職のままで、長期にわたる研修を受けることができる。

(校長及び教員としての資質の向上に関する指標)

第22条の3 公立の小学校等の校長及び教員の任命権者は、指針を参酌し、その地域の実情に応じ、 当該校長及び教員の職責、経験及び適正に応じて向上を図るべき校長及び教員としての資質に関する 指標(以下「指標」という。)を定めるものとする。

(教員研修計画)

- 第22条の4 公立の小学校等の校長及び教員の任命権者は、指標を踏まえ、当該校長及び教員の研修 について、毎年度、体系的かつ効果的に実施するための計画(以下この条において「教員研修計画」 という。)を定めるものとする。
- 2 教員研修計画においては、おおむね次に掲げる事項を定めるものとする。
 - 一 任命権者が実施する第23条第1項に規定する初任者研修、第24条第1項に規定する中堅教諭 等資質向上研修その他の研修(以下この項において「任命権者実施研修」という。)に関する基本的 か方針
 - 二 任命権者実施研修の体系に関する事項
 - 三 任命権者実施研修の時期、方法及び施設に関する事項
 - 四 研修を奨励するための方途に関する事項
- 五 前各号に掲げるもののほか、研修の実施に関し必要な事項として文部科学省令で定める事項 (初任者研修)
- 第23条 公立の小学校等の教諭等の任命権者は、当該教諭等(臨時的に任命された者その他政令で定める者を除く。)に対して、その採用(現に教諭等の職以外の職に任命されている者を教諭等の職に任命する場合を含む。附則第5条第1項において同じ。)の日から一年間の教諭又は保育教諭の職務の遂行に必要な事項に関する実践的な研修(以下「初任者研修」という。)を実施しなければならない。
- 2 任命権者は、初任者研修を受ける者(次項において「初任者」という。)の所属する学校の副校長、 教頭、主幹教諭(養護又は栄養の指導及び管理をつかさどる主幹教諭を除く。)、指導教諭、教諭、主 幹保育教諭、指導保育教諭、保育教諭又は講師のうちから、指導教員を命じるものとする。
- 3 指導教員は、初任者に対して教諭又は保育教諭の職務の遂行に必要な事項について指導及び助言を 行うものとする。

(中堅教諭等資質向上研修)

- 第24条 公立の小学校等の教諭等(臨時的に任用された者その他の政令で定める者を除く。以下この項において同じ。)の任命権者は、当該教諭等に対して、個々の能力、適性等に応じて、公立の小学校等における教育に関し相当の経験を有し、その教育活動その他の学校運営の円滑かつ効果的な実施において中核的な役割を果たすことが期待される中堅教諭等としての職務を遂行する上で必要とされる資質の向上を図るために必要な事項に関する研修(以下「中堅教諭等資質向上研修」という。)を実施しなければならない。
- 2 任命権者は、中堅教諭等資質向上研修を実施するに当たり、中堅教諭等資質向上研修を受ける者の能力、適性等について評価を行い、その結果に基づき、当該者ごとに中堅教諭等資質向上研修に関する計画書を作成しなければならない。

